

TVモデル専用の機能を使うときの必読書!

TVモデルガイド



PC98-NX SERIES
VALUE STAR NX



TVモデルガイド

の読み方

このマニュアルは、構成が3つに分かれています。
やりたいことに応じて、必要なPARTをご覧ください。



「どれどれ、今シーズンの成績は」と
選手のデータをチェックしながら
スポーツ観戦

見る、集める

PART 1

テレビや地上波データ放送
(ビットキャスト放送、ADAMS
放送、文字放送)を見るための
設定やビットキャストブラウザの
使い方を説明しています。



楽しかった夏のキャンプのビデオから
映像を取り込んで一緒にいった仲間に
オリジナルビデオをメール

つくる

PART 2

テレビ映像やビデオ機器の映像
をパソコンに取り込んで、ビデ
オ編集ソフトで加工する手順を
説明しています。

PART 3

PART3では、タイマー機能(Timer-NX)や電源管理
など、TVモデル特有の情報を記載しています。

はじめに

このマニュアルは、TVモデルをお使いの方を対象にしています。

このマニュアルでは、パソコンでテレビや地上波データ放送を見たり、映像をキャプチャするなどの、TVモデル特有の機能や使い方を説明しています。また、指定した時間に自動的にパソコンの電源を入れるタイマー機能や、電源管理、機能仕様など、TVモデル用の説明も記載しています。

このマニュアルで、TVモデルの機能を使いこなし、楽しく活用してください。

1999年10月 初版

このマニュアルの表記について

このマニュアルでは、パソコンを安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています



警告

注意事項を守っていただけない場合、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを示します。



注意

注意事項を守っていただけない場合、人が傷害を負う可能性が想定されること、または物的損害のみ発生が想定されることを示します。



感電注意

注意事項を守っていただけない場合、発生が想定される障害または事故の内容を表しています。左のマークは感電の可能性が想定されることを示しています。このほかに、発火注意、けが注意、高温注意についても、それぞれ記載しています。

このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります



チェック!!

してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているアプリケーションの破壊、パソコンの破損の可能性があります。



パソコンで起きている問題点に対する対処方法を示しています。対処のしかたがいくつかあるときは、この記号の確認事項をチェックして、あてはまるものをさがしてください。



パソコンを使うときに知っておいていただきたい用語の意味を解説しています。



参照

マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。

このマニュアルの表記では、次のようなルールを使っています

【 】 【 】で囲んである文字は、キーボードのキーを指します。

プリンタ、コネクタなど

「プリンター」や「コネクター」などの末尾に付く「ー」を省略して表記しています。これは、パソコンの画面に表示される用語や、パソコン関連書籍などでよく使われている表記に準拠しているためです。

このマニュアルでは、各モデル（機種）を次のような呼び方で区別しています
表をご覧ください。購入された製品の型名とマニュアルで表記されるモデル名を確認してください。

このパソコン、本機 表の各モデル(機種)を指します。

TVモデル テレビ/地上波データ放送を見るための機能やDVD-ROMドライブを搭載したモデルのことです。

型名	型番	表記の区分			
		本体の形状	CD-ROM /DVD-ROM	ディスプレイ	添付アプリケーション
VT500J/1FC	PC-VT500J1FC	コンパクトタイプ・TVモデル	DVD-ROMモデル	液晶ディスプレイセットモデル (15型液晶)	一太郎モデル
VT500J/1FD	PC-VT500J1FD				Office 2000モデル
VT500J/17C	PC-VT500J17C			CRTディスプレイセットモデル (17型CRT)	一太郎モデル
VT500J/17D	PC-VT500J17D				Office 2000モデル

購入された製品の型名、型番の末尾に「9」が付加されている場合は、末尾の「9」を除いて、モデル名を確認してください。

本文中の画面、ホームページ

本文中の画面は、モデルによって異なることがあります。また、実際の画面とは多少異なる場合があります。本文中に使用しているホームページは、実際にご覧になるものと異なる場合があります。

このマニュアルで使用しているアプリケーション名などの正式名称

(本文中の表記)	(正式名称)
Windows、 Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Second Edition Operating System 日本語版
Windows NT 4.0	Microsoft® Windows NT® Workstation operating system Version 4.0
一太郎	Voice一太郎10
一太郎10・花子10パック、 Voice一太郎10・花子10パック	Voice一太郎10・花子10パック(Voice一太郎10、花子10、三四郎9、 ATOK13、VoiceATOK3、Shuriken2.1V、Sasuke2.0)
Office 2000 Personal	Microsoft® Office 2000 Personal (Microsoft Word 2000、 Microsoft Excel 2000、Microsoft Outlook® 2000、Microsoft/ Shogakukan Bookshelf® Basic)
MS-IME2000	Microsoft® IME 2000
インターネットエクスプローラ、 Internet Explorer	Microsoft® Internet Explorer 5

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、ご購入元、最寄りのBit-INN、またはNECパソコンインフォメーションセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。ご購入元までご連絡ください。
- (4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- (5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6) 海外 NEC では、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
- (7) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているMicrosoft® Windows® 98および本機に添付のCD-ROM、DVD-ROM、フロッピーディスクは、本機のみでご使用ください。
- (8) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
- (9) あなたがテレビ放送や録画物などから引用したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows、Windows NT、Outlook、FrontPage Express、DirectShow およびWindowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

「一太郎」「花子」「ATOK」「Voice一太郎10・花子10パック」「VoiceATOK」「Sasuke」「Shuriken」は、株式会社ジャストシステムの登録商標または商標です。

「Voice一太郎10・花子10パック」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、「Voice一太郎10・花子10パック」にかかる著作権、その他の権利は、株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。商標「三四郎」は、株式会社エス・エス・ピーの登録商標であり、株式会社ジャストシステムは商標使用許諾を受けています。

Bitcastおよびビットキャストの名称、ロゴは、株式会社インフォシティの登録商標です。

ADAMS (TV-Asahi Data And Multimedia Service) は、テレビ朝日データ株式会社によるWebデータを配信するデータ多重放送サービスです。

ビットキャストブラウザで表示する地図の作成にあたっては、建設省国土地理院の承認を得て、同院発行の300万分の1日本とその周辺、および50万分の1地方図を使用したものです。(承認番号平8総使、第57号) Ulead VideoStudioは、Ulead Systems, Inc.の商標です。

VirusScanは、米国法人Network Associates, Inc. またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。

ThumbsStudioは、日本電気株式会社の登録商標です。

Intel、Pentiumは、Intel Corporationの登録商標です。

YAMAHAは、ヤマハ株式会社の登録商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

© NEC Corporation 1999

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

輸出する際の注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。

本製品は日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。

また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等を行っていません。

本製品の輸出については、外国為替及び外国貿易法に基づいて通商産業省の許可が必要となる場合があります。

必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。

輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせ下さい。

目次

CONTENTS

PART

1

はじめに	i
このマニュアルの表記について	ii
テレビ/地上波データ放送を見よう	1
テレビを見る準備をする	2
準備するもの	2
アンテナ線の種類を確認する	3
ケーブルにF型コネクタプラグを取り付ける	5
アンテナ線を本体へつなぐ	7
LINE ケーブルを接続する	8
テレビをつける	9
受信チャンネルの設定をしよう	10
チャンネルを設定する	10
コントロールバーを使って操作する	13
チャンネルを変える	14
テレビの音を消す	15
音声を切り替える	15
テレビ映像を全画面表示にする	16
外部入力に切り替える	16
テレビの表示モードを切り替える	17
テレビのウィンドウサイズを変更する	18
テレビのカラー調整をしよう	19
カラー調整ウィンドウで調整する	19
テレビで地上波データ放送を見る	21
地上波データ放送とは	21
ビットキャスト放送を受信する	22
表示モードを切り替える	22
チャンネルを合わせる	22
受信できる放送局について	23
受信した情報を見る	24
インターネットのホームページを見る	28

ビットキャストローダーを常駐させる	30
テレビ映像やビデオ入力映像を家庭用テレビに表示する	32
テレビまたはビットキャストブラウザを終了する	35
ADAMS 放送を見る	36
ADAMS ナビを起動する	36
チャンネルを合わせる	38
ADAMS 放送を見る	39
ADAMS を終了する	40
受信できる放送局について	40
文字放送を見る	41
モジモジ-NX を起動する	41
チャンネルを合わせる	43
モジモジ-NX を終了する	43
受信できる放送局について	44
テレビノ地上波データ放送がうまく見られないときには	45
ビットキャストブラウザのテレビコントロールに、テレビが映らない ...	45
映像出力端子に接続した家庭用テレビなどに、Windows の 画面や DVD の映像を表示できない	46
テレビの音が出ない	46
音が出ない、音が大きすぎる	46
地上波データ放送が受信できない、または、データの取りこぼし が起きる	47
「キャッシュコントロール」の内容が更新されない。画面下の 「ビットマークウィンドウ」に出てくるはずの「ビットマーク」 がいくら待っても表示されない	49
テレビは表示されるが、ビットキャスト放送が受信できない	49
受信したビットキャスト放送 (Web ページ) が自動的に表示 されない	50
「ビットキャストブラウザ」に表示されているリンクから、 インターネット上の Web ページにアクセスできない	50
キャッシュやアーカイブを他のドライブやフォルダに移動したい ...	50
キャッシュやアーカイブのデータベースが大きくなってしまった ...	51
「ADAMS」の内容が更新されない	51

映像を取り込んでみよう 53

テレビの映像を静止画にしてパソコンに取り込もう 54

- 静止画を取り込むとは 54
- ビットキャストブラウザを起動する 55
- キャプチャ設定ダイアログを表示させる 56
- 静止画の取り込み方を決める 57
- 静止画を取り込む 59
- ファイル名を指定して静止画を取り込む 59
- 取り込んだ静止画を確認する 60
- 取り込んだ静止画のサイズやファイル形式を変更して保存する 61

テレビの映像を動画のままパソコンに取り込もう 65

- 動画を取り込むとは 65
- ビットキャストブラウザを起動する 66
- キャプチャ設定ダイアログを表示させる 67
- 動画の取り込み方を決める 68
- 動画を取り込む 72
- 取り込んだ動画をファイル名を指定して保存する 73
- 取り込んだ動画を確認する 75
- メール用動画の取り込み方を決める 76
- メール用動画を取り込む 78

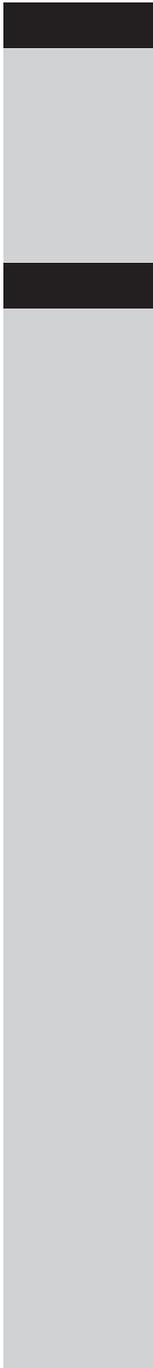
外部ビデオ機器から映像を取り込もう VideoStudio 81

- 本体に外部ビデオ機器を接続する 81
- Video Wizard を起動する 82
- 映像を取り込む 83
- 取り込んだ映像を編集する 84
- 映像にタイトルや効果を入れる 86
- 編集した映像を再生する 87
- 別の形式で保存する 88
- VideoStudio でできるいろいろな編集 90

取り込んだ画像を使ってみよう ThumbsStudio 93

- 取り込んだ画像の一覧を見る 93
- 取り込んだ画像をメールに添付して送る 95

動画や静止画をうまく取り込めないときには	96
キャプチャできない	96
動画キャプチャでTVやVTRの音声がかプチャされない	96
取り込んだ動画の画質が悪い	97
VideoStudioでTVの映像をキャプチャしたい	97
その他のTVモデルの機能	99
タイマー機能 Timer-NX	100
概要	100
Timer-NXを起動する	101
タイマー機能を使う	102
タイマプログラムを設定するときの注意	106
リングを設定する	109
自動的に電源を切る(オフタイマー機能)	114
Timer-NXを利用するときの注意	116
タイマー機能を使おうとしたら・・・	117
Timer-NXでスタンバイ状態から復帰しない	117
Timer-NXで電源が入らない	117
Timer-NXで電源を切ったり、スタンバイ状態にできない	118
Timer-NXのリング機能で指定したアプリケーションを起動できない ..	118
オートパイロット ホームページスクラップブック EX	120
Timer-NXと連携して、オートパイロットする	120
電源管理モードについて	123
モードの確認	123
モード切り替え時の注意事項	124
モードの切り替え	124
ACPIモードに切り替えた後の注意	126
ACPIモードでタイマー機能を利用する場合の注意	126
ACPIモードで自動スタンバイ機能を利用する場合の注意	127
その他の注意	127



付 録	1 2 9
本体の各部の名称	1 3 0
機能仕様	1 3 5
このパソコンが使用しているリソース	1 3 7
索 引	1 3 9

P A R T

1

テレビ / 地上波データ放送を見よう

このパソコンを使うと、通常のテレビ番組(地上波)だけでなく、地上波データ放送を受信して、映像と情報の両方を楽しめます。さらに、家庭用テレビを接続すると、このパソコンで受信したテレビ放送を映すことができます。

テレビを見る準備をする

テレビや地上波データ放送を見る場合には、アンテナに接続されているケーブルにF型コネクタプラグ(別売)を取り付け、それをパソコン本体背面につなぎます。次に、本体背面のLINE IN端子と地上波TV&データボードを、LINEケーブルで接続します。

⚠ 警告



雷が鳴り出したら、電源ケーブル、ディスプレイのケーブル、モジュラーケーブル(電話線)、アンテナ線の接続作業を中止してください。

落雷による感電のおそれがあります。

ここでは、アンテナ線など、TVモデル専用に必要なものの接続について説明しています。パソコンの設置のしかた、キーボードやディスプレイなどの機器の接続については、『まずこれ! 接続と準備』のPART1、PART2を必ずご覧ください。

準備するもの

1

市販のF型コネクタプラグ、または市販のF型コネクタプラグ付きアンテナケーブル



F型コネクタプラグ



F型コネクタプラグ付きアンテナケーブル

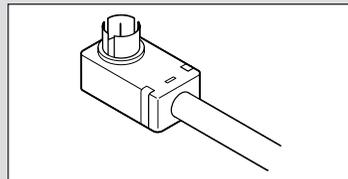
F型コネクタプラグやF型コネクタプラグ付きアンテナケーブルは、本機には添付されていません。

お使いのアンテナ線の状態に合わせて、適したものをお買い求めください。

✔ チェック!!

アンテナ線とパソコン本体を接続するときは、ノイズの影響を受けにくいネジ式のF型コネクタプラグを使用してください。

下の図のような形をしたプラグをパソコン側のコネクタに使用すると、ノイズの影響を受けやすくなり、データ放送を正常に受信できないことがあります。

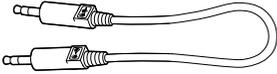


このほか、アンテナ線の状態によっては、U/V混合器や分配器が必要になります。

2

LINE ケーブル

LINE ケーブルは、添付品収納箱に入っています。



参照

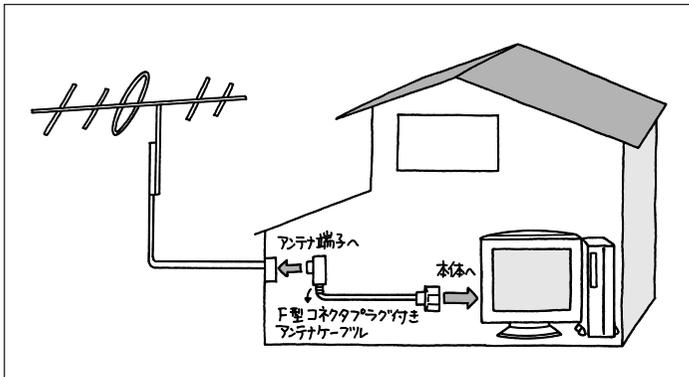
アンテナ線の種類の確認 次の「アンテナ線の種類を確認する」

アンテナ線の種類を確認する

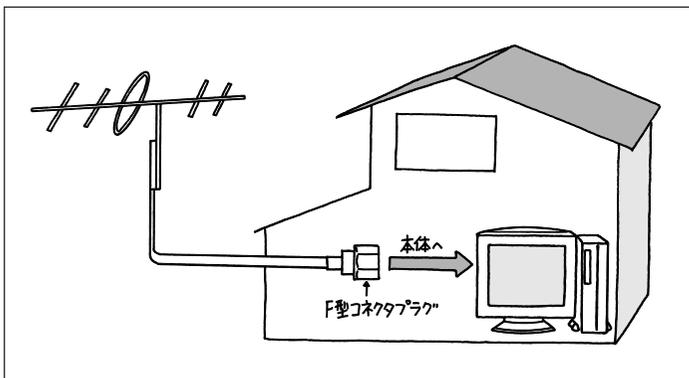
いま使っているアンテナ線はどうなっていますか？

マンションなどで、壁面にアンテナ端子だけある場合は、別にアンテナケーブルをお買い求めいただくことになります。ケーブルにF型コネクタプラグのついた同軸ケーブルをお買い求めください。本体側にF型コネクタプラグの付いた方を接続します。

詳しくはお近くの電器店などにご相談ください。

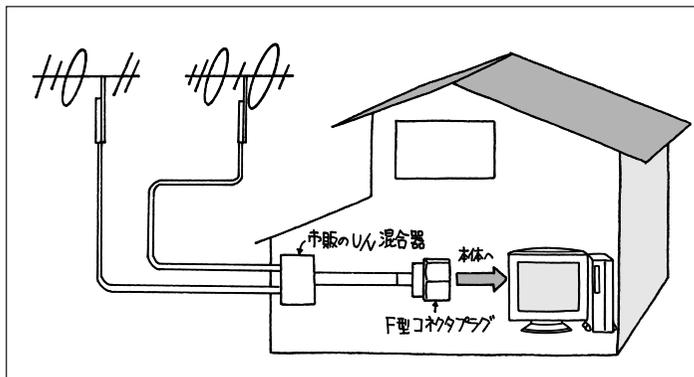


アンテナ線が1本(UHFのみまたはVHFのみか、UHF/VHF混合)のときは、アンテナ線の先端にF型コネクタプラグを取り付けてパソコン本体へつなぎます。(F型コネクタプラグの取り付け方は p.5)



アンテナ線が2本(UHFとVHF)あるときは、市販のU/V混合器を取り付けてケーブルを1本にします。そしてケーブルの先端にF型コネクタプラグを取り付けてパソコン本体へつなぎます。

(F型コネクタプラグの取り付け方は p.5)



U/V混合器とその取り付け方についてはお近くの電器店などにご相談ください。

こんなときは



アンテナ線をパソコン本体とテレビ(またはビデオ)の両方に接続したい

市販の分配器を使って、アンテナ線を2つにすることができます。分配したあとで、市販のF型コネクタプラグの付いた同軸ケーブルで、パソコンと接続してください。ただし、分配することにより信号が弱くなります。電波状況によってはアンテナブースタが必要になります。詳しくは、お近くの電器店などにご相談ください。



アンテナ線に平行フィーダを使っている

アンテナ線に平行フィーダ(下の図左)を使っている場合は、市販の整合器を使用して、同軸ケーブルに変更してください。詳しくは、お近くの電器店などにご相談ください。



平行フィーダ線



同軸ケーブル

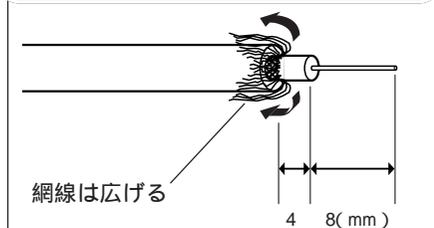
ケーブルに F 型コネクタプラグを取り付ける

1

アンテナ線の先を持つ

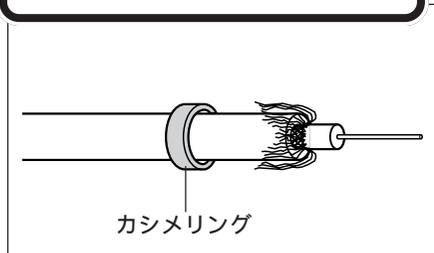
2

カッターを使って、およそ次のような寸法にケーブルを加工する



3

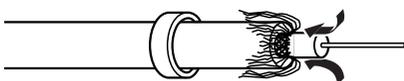
カシメリングをケーブルに通す



4

F 型コネクタプラグを図のようにケーブルに押し込む

網線と白い部分の間に入れる



下の図のように押し込む



あらかじめ、市販のF型コネクタプラグと、お手持ちのカッター、ペンチを用意してください。

F型コネクタプラグは、ケーブルの太さにあったものをお買い求めください。

網線の端を少し切っておくと、あとでケーブルにカシメリングを通す際にやりやすくなります。

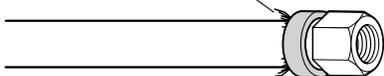
金属線は折れやすいので、カッターで傷ついたり、曲げないように注意してください。

カシメリングは、F型コネクタプラグが抜けないう締めるためのものです。

5

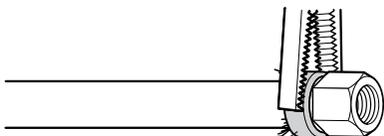
カシメリングをF型コネクタプラグのつけ根あたりに持ってくる

網線はリングに通す



6

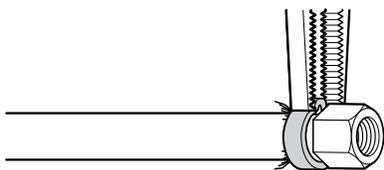
カシメリングをペンチなどではさみ、いったん軽くつぶす



カシメリングをだ円状にする

7

ケーブルをカシメリングの片側に寄せて、すきまがある部分をペンチなどではさんで締める



8

カシメリングからはみ出した網線は、カッターなどで切り取る

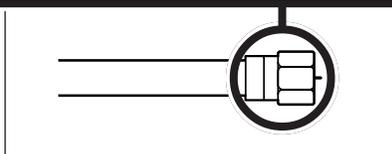
アンテナ線を本体へつなぐ

1

本体や周辺機器の電源を切り、
電源ケーブルを取りはずす

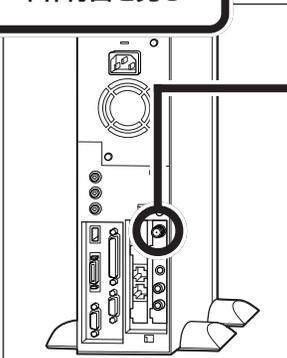
2

F型コネクタプラグを取り付けた
ケーブルを持つ



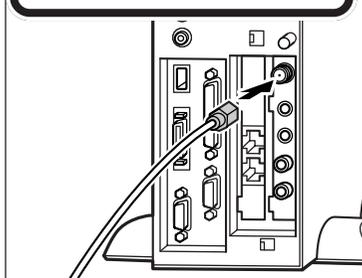
3

本体背面を見る



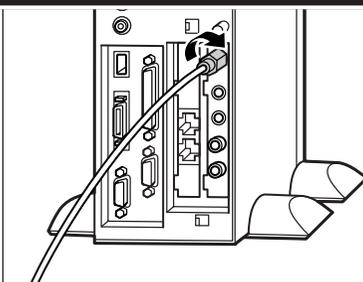
4

「VHF/UHF」と書か
れているコネクタにプラグ
を差し込む



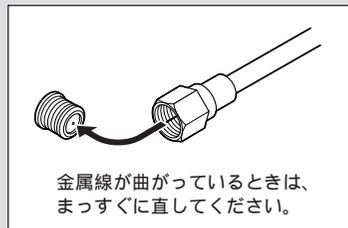
5

F型コネクタプラグの先端のネジを右
へ回し、止まるまでしっかり固定する



ここでは、『まずこれ! 接続と準備』を
ご覧になり、ディスプレイやスピー
カ(CRTディスプレイセットモデル
のみ)が、すでに本体と接続されてい
ることを前提としています。
まだ、本体にディスプレイやスピー
カを接続していない場合は、『まずこ
れ! 接続と準備』をご覧になり、接続
してください。

コネクタ中心部の小さな穴に、F型コ
ネクタプラグの中心にある金属線を
差し込んでください。



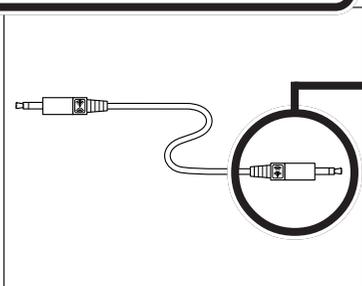
金属線が曲がっているときは、
まっすぐに直してください。

金属線は折れやすいので、ていねい
に扱ってください。

LINE ケーブルを接続する

1

LINE ケーブルを確認する



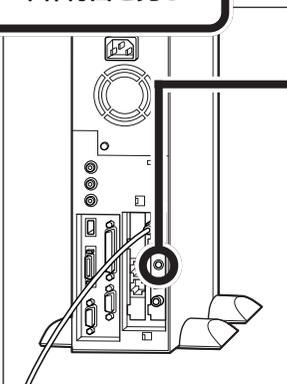
2

黄緑色のついた方の
プラグを持つ



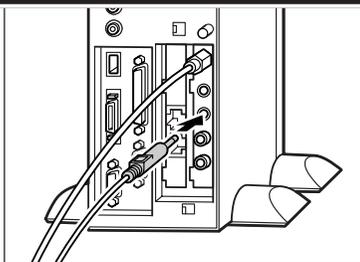
3

本体背面を見る



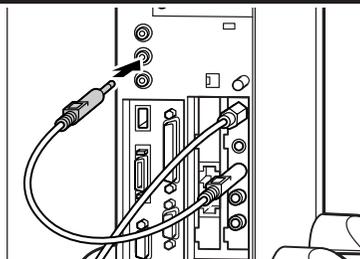
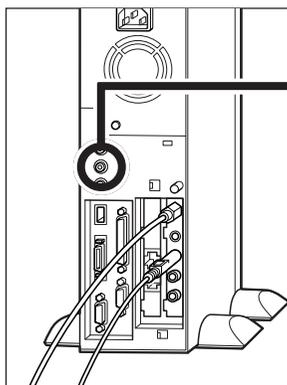
4

LINE ケーブルのプラグを黄緑色の
ついたコネクタに差し込む



5

もう一方のプラグを水色の
ついたコネクタに差し込む



6

前ページの手順 1 で取り外した電源
ケーブルを接続し直す

これで接続は完了です。

LINEケーブルは、添付品収納箱の中
に入っています。

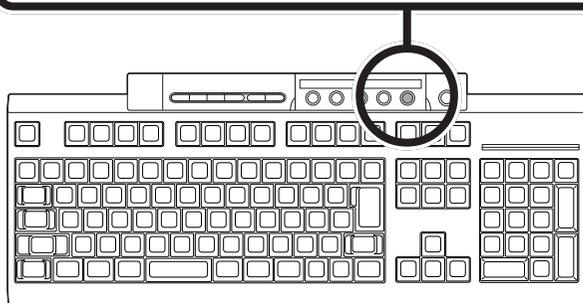
テレビをつける

アンテナ線とLINE ケーブルの接続が終わったら、テレビをつけてみましょう。テレビはディスプレイの中のウィンドウに表示されます。

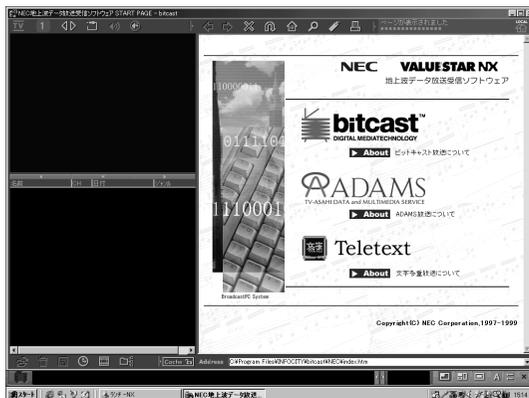
このパソコンでテレビを見るときは、ビットキャストブラウザというアプリケーションを使います。ビットキャストブラウザは、通常のテレビ放送を見るだけでなく地上波データ放送も見ることができるアプリケーションです。また、インターネットに接続すると、ホームページを見ることができます。

1

キーボードの【ビットキャストブラウザ】ボタンを押す



↓ ビットキャストブラウザ
が表示される



📖 参照

地上波データ放送とは このPARTの「テレビで地上波データ放送を見る」(p.21)

🔍 チェック!!

ビットキャストブラウザを使う前にユーザー登録をしてください。ユーザー登録がされていないと、ビットキャストブラウザに関するテクニカルサポート、バージョンアップなどの重要なお知らせをお届けできないことがあります。

ランチ-NX から起動する
「ビットキャストブラウザ」は「ランチ-NX」の「マルチメディア」の「ビットキャストブラウザ」をクリックして起動することもできます。

ビットキャストブラウザの使い方は、ビットキャストブラウザのオンラインマニュアルの説明も合わせてご覧ください。

📖 参照

ビットキャストブラウザのオンラインマニュアル このPARTの「チャンネルを合わせる」(p.22)

🔍 チェック!!

高解像度表示になっていると、テレビ画面が表示されない場合があります。その場合は解像度を下げるか、表示色数を減らしてください。

📖 参照

解像度と表示色の変更 『拡張!活用!バリュースター』PART10の「ディスプレイ」

受信チャンネルの設定をしよう

テレビ放送を受信するためには、チャンネルの設定が必要です。

チャンネルを設定する前に、アンテナの接続が正しく行われているか確認してください。

📖 参照

アンテナの接続 このPARTの「テレビを見る準備をする」(p.2)

チャンネルを設定する

チャンネルの設定は、「ビットキャストブラウザ」の「オプション設定」で行います。まず、「オプション設定」のウィンドウを開いてみましょう。

チャンネルを設定するためのウィンドウを開く



購入時には、ビットキャストブラウザのチャンネル設定は関東地方の設定(UHFは除く)になっています。関東地方以外にお住まいの方は、次ページ以降を参照してチャンネルの設定をしてください。

2 スクロールバーを下にドラッグする

3 「ビットキャストローダの設定」アイコンをクリックする

4 「チャンネル設定」タブをクリックする

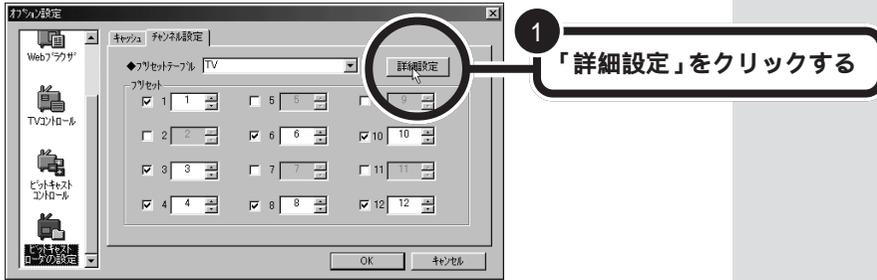


チャンネルの設定では、12局分の放送局を登録することができます。

選択できるチャンネルは、1 ~ 62チャンネルまでです。

チャンネルを一括して設定する

表示された日本地図上で、パソコンを設置した場所(ご自宅や会社など)に一番近いTV中継塔の位置を選択すると、自動的にすべてのチャンネルが一括して設定されます。



↓
日本地図が表示される



↓
クリックした付近の詳細な地図と近辺にあるTV中継塔が水色の点で表示される



ここでは例として、「東京」を選択しています。

TV中継塔の位置は、水色の点で表示されています。TV中継塔を選んでクリックすると+になり、近辺のTV中継塔も赤い点で表示されます。

一度、TV中継塔をクリックした後は、画面の右上に表示されるTV中継塔名から、パソコン設置場所に一番近いTV中継塔をクリックして選ぶこともできます。





7 「OK」をクリックする



8 「OK」をクリックする

チャンネルを個別に設定する

1 設定するプリセット番号の をクリックして にする

2 チャンネル欄にチャンネルの数字を入力するか、 をクリックしてチャンネルを選ぶ

3 同様の手順で、必要なだけチャンネルを設定する

4 「OK」をクリックする

チェック!

地域によっては、チャンネルを一括して設定する方法ではうまく設定できない場合があります。目的のチャンネルをうまく設定できない場合は、選ぶTV中継塔を変更するか、またはチャンネルの個別設定で調整してください。

ここでは、「プリセット」の1から12の番号に、受信できる放送局のチャンネルを割り当てます。例えば、1番の左の をクリックして にし、チャンネル欄で「6」を選ぶと、「プリセット」の1番には「6」チャンネルが割り当てられます。この場合は、コントロールバー（p.14）に表示されるチャンネルを「1」にすると、「6」チャンネルの放送を受信する設定になります。

VHF、UHFどちらの設定もここで入力してください。

入力するチャンネルの数字がわからないときは、新聞のテレビ番組欄などで調べて入力してください。

コントロールバーを使って操作する

チャンネルの設定が終了したら、テレビを見てみましょう。テレビを見るときはコントロールバーを使って、チャンネルを変えたり、音声を切り替えたりします。

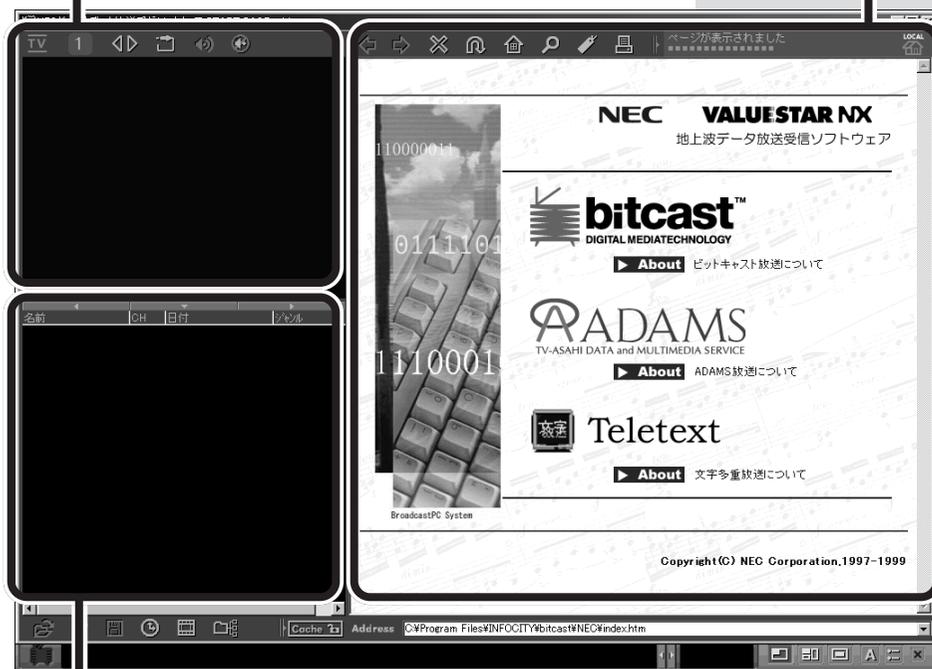
ビットキャストブラウザのウィンドウは、詳細モードのとき、3つの部分に分かれています。

テレビコントロール

ここにテレビの映像が表示されます。テレビの表示は3つのモードに切り替えることができます。テレビ画面の上には、コントロールバーがあります。(コントロールバーについては p.14)
(テレビの表示モードの切り替えについては p.17)

ブラウザコントロール

ここにビットキャスト放送で受信した情報が表示されます。ビットキャストブラウザのオンラインマニュアルを見ることもできます。(ビットキャスト放送については p.22)
(オンラインマニュアルについては p.22)



キャッシュコントロール

ビットキャスト放送で受信済みの情報は、ここに一覧表示されます。(キャッシュコントロールについては p.24)

コントロールバーを使ってできること

詳細モードのときに、テレビコントロールの上に表示されているバーがコントロールバーです。コントロールバーには、現在受信しているチャンネルが表示されます。そのほかにもチャンネル切替ボタンや音声切替ボタンなどがついています。



標準モード(テレビがディスプレイいっぱいに表示されている)のときは、右端にコントロールバーが表示されます。



チャンネルを変える

1

▶(チャンネルアップボタン)または◀(チャンネルダウンボタン)をクリックする



キーボードを使う
キーボードの【 1】、【 2】(矢印キー)を使って、チャンネルを切り替えることができます。

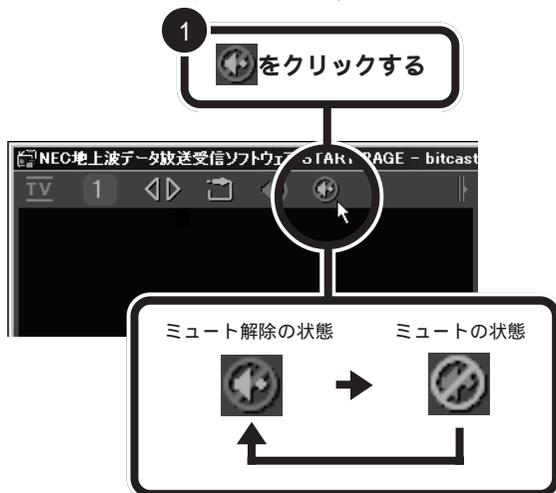
ビットキャストローダーを使う
Windows のタスクバーにある  (ビットキャストローダー)をクリックして、表示されるメニューから「チャンネル」を選択してもチャンネルを切り替えることができます。

 参照

ビットキャストローダーについてこのPARTの「チャンネルを合わせる」(p.38)

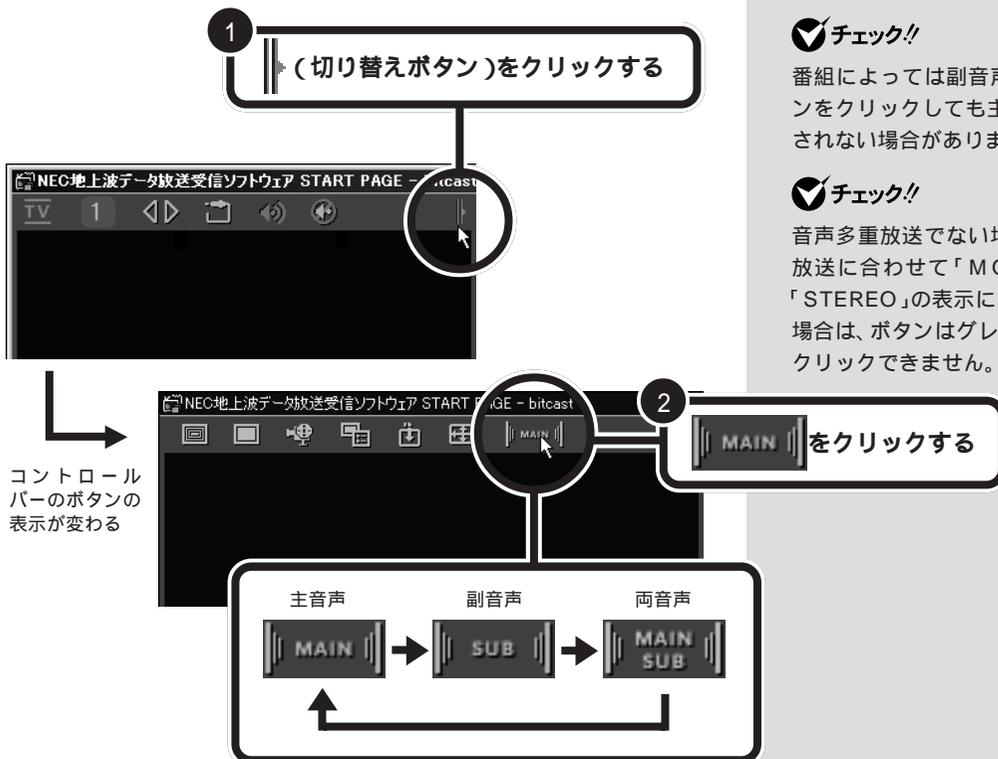
テレビの音を消す

ミュートボタンで、テレビの音声を一時的に消す(ミュート)ことができます。もう一度クリックすると、元に戻ります。



音声を切り替える

音声切り替えボタンで音声を切り替えることができます。標準では主音声を選択されています。クリックするごとに、「主音声」「副音声」「主音声と副音声の両音声」の順に切り替わります。



副音声は通常では二カ国語放送などで使われています。

✓チェック!!

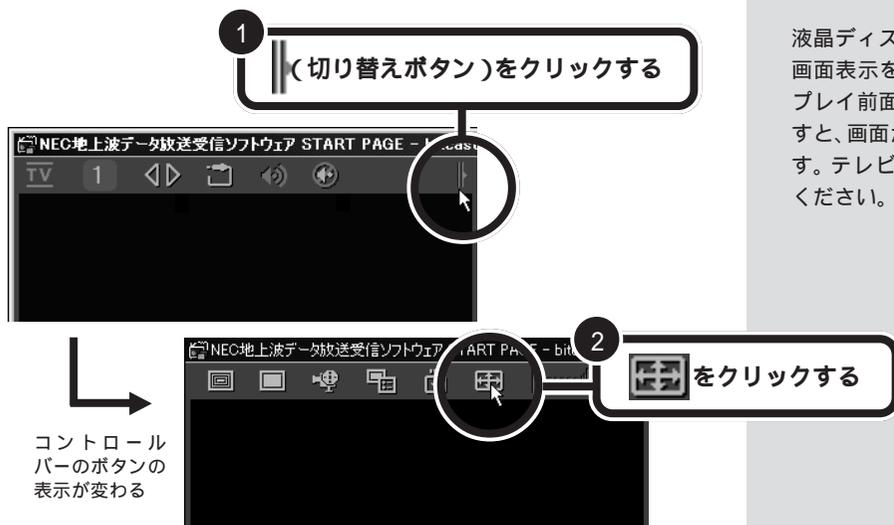
番組によっては副音声がなく、ボタンをクリックしても主音声しか出力されない場合があります。

✓チェック!!

音声多重放送でない場合は、現在の放送に合わせて「MONO」または「STEREO」の表示になります。この場合は、ボタンはグレーで表示され、クリックできません。

テレビ映像を全画面表示にする

全画面表示ボタンで、テレビ映像をディスプレイいっぱいに表示することができます。

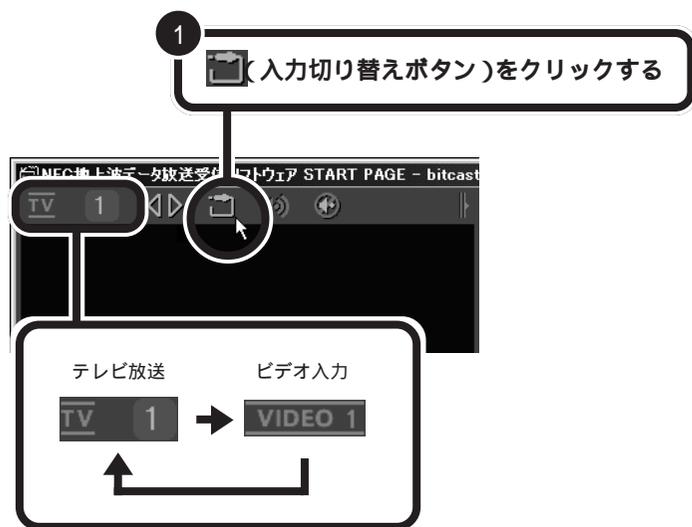


マウスの左ボタンを押すと、元の大きさに戻ります。

液晶ディスプレイセットモデルで全画面表示をする場合は、液晶ディスプレイ前面の V-MODE ボタンを押すと、画面が明るく、鮮やかになります。テレビを見る際などに活用してください。

外部入力に切り替える

受信したテレビ放送だけでなく、このパソコンに接続した外部ビデオ機器（市販のビデオ機器など）からの映像を表示することもできます。



参照

このパソコンに外部ビデオ機器を接続するには PART2 の「本体に外部ビデオ機器を接続する」(p.81)

入力切り替えボタンをクリックすること、通常のテレビ放送と外部入力の表示とが切り替わります。

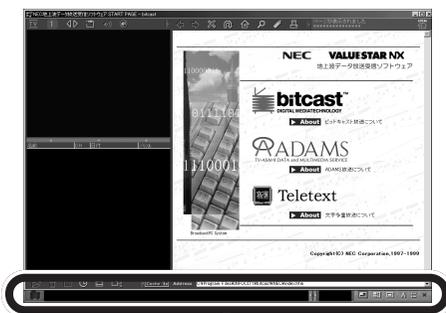
ビットキャストローダーを使う
Windows のタスクバーにある  (ビットキャストローダー) をクリックして、表示されるメニューから「入力切り替え」を選択しても外部入力に切り替えることができます。

なお、外部入力に切り替えると、地上波データ放送を外部入力から受信するようになります。このパソコンに接続した外部ビデオ機器が文字放送の記録に対応していれば、ビデオテープにビットキャスト放送や ADAMS 放送を記録することができます。詳しくは、外部ビデオ機器のマニュアルをご覧ください。

テレビの表示モードを切り替える

テレビのウィンドウの表示は3つのモードに切り替えることができます。詳細モードの他に、独立ウィンドウモード、標準モードがあります。

表示モードを切り替えるときは、ビットキャストバーにあるツールバーの、それぞれのボタンをクリックします。



ビットキャストバー

ビットキャストバーは、ビットキャストブラウザを起動している間は常に表示されているバーです。このバーでビットキャストブラウザ全体を操作することができます。

ツールバー

ビットキャストブラウザ全体の操作や環境設定を行うためのボタンがまとめてあります。
(ツールバーについては ビットキャストブラウザのオンラインマニュアル)

独立ウィンドウモード

独立ウィンドウモードでは、自由にテレビやブラウザなどのウィンドウのサイズを変更できるようになります。

詳細モード

詳細モードは、テレビ画面を見ながら関連するビットキャスト放送の情報を参照したり、インターネットに接続したりするためのモードです。ご購入時は、詳細モードに設定されています。
(ビットキャスト放送については p.22)

標準モード

標準モードでは、テレビがディスプレイいっぱいに表示され、画面の右端にコントロールバーが表示されます。
(コントロールバーについては p.14)



ビットキャストインジケータ

このインジケータの変化によって、受信状態や受信状況がわかります。
(ビットキャストインジケータについては p.23)

ビットマークウィンドウ

ビットキャストブラウザが受信したビットキャスト放送の履歴がここに表示されます。
(ビットマークウィンドウについては p.24)

家庭用テレビにも表示できるパソコン本体に家庭用テレビを接続すると、テレビコントロールに表示されている映像を、家庭用テレビに映すことができます。

詳しくは、このPARTの「テレビ映像やビデオ入力映像を家庭用テレビに表示する」(p.32)をご覧ください。

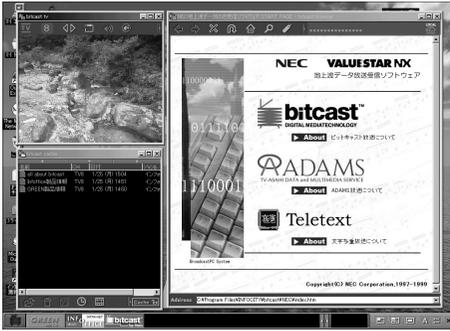
キーボードのワンタッチスタートボタンで表示モードを切り替えることもできます。「ワンタッチスタートボタンの設定」の「ボタン設定」タブで、「コマンドリストから選択」をクリックして表示される機能リストの中から、「画面(bitcast).exe」をボタンに割り当ててください。
詳しくは、「ワンタッチスタートボタンの設定」のヘルプをご覧ください。

✓チェック!!

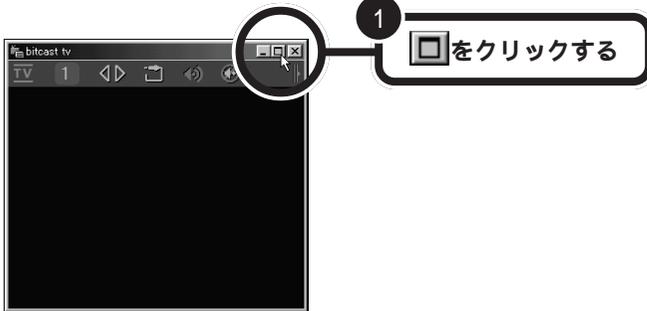
モードは、ビットキャストブラウザを終了するときに記録されます。次回に起動したときは、前回にビットキャストブラウザを終了したときのモードで起動されます。

テレビのウィンドウサイズを変更する

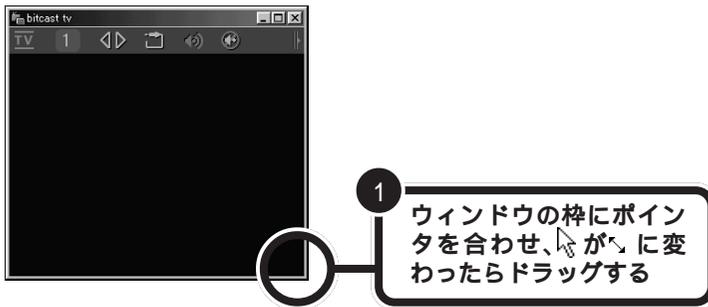
独立ウィンドウモードでは、テレビのウィンドウサイズを変更できます。テレビのウィンドウサイズを変えるときは、ウィンドウの右上にあるボタンをクリックするか、ウィンドウの枠にポインタを合わせてドラッグします。



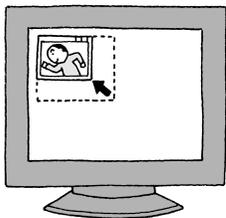
最大サイズ(全画面表示)にする



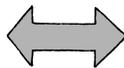
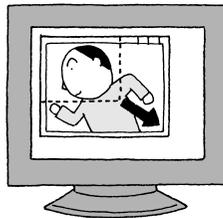
好きなサイズに変更する



左斜め上にドラッグすると



右斜め下にドラッグすると



✓チェック!!

標準モードのときは、ウィンドウのサイズ変更はできません。

詳細モードでは、テレビコントロールと他のコントロールとの境目をドラッグすれば、ウィンドウのサイズが変更できます。

☐をクリックするとディスプレイ全体にテレビが映ります。マウスの左ボタンを押すと、元のサイズに戻ります。

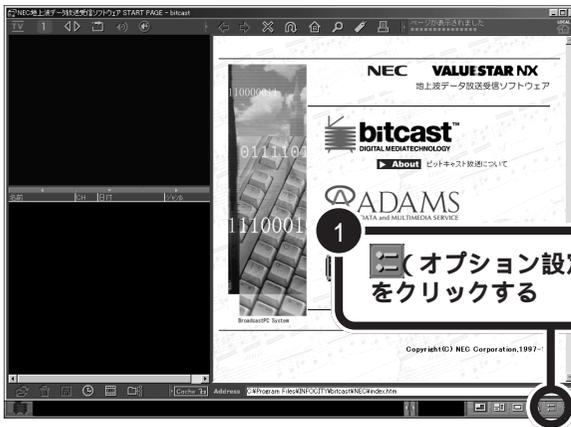
テレビのウィンドウサイズを大きくするか、テレビコントロールの || (切り替えボタン) をクリックしていくと表示される ☐ (全画面表示ボタン) をクリックしても、ディスプレイ全体にテレビが映ります(p.16)。

ウィンドウの枠にポインタを合わせます。マウスが ⇄ に変わったらマウスの左ボタンを押したままマウスを動かします。

テレビのカラー調整 をしよう

テレビの映像が暗すぎたり明るすぎたりして見づらいときなどは、カラー調整をしてみましょう。

カラー調整ウィンドウで調整する



1 (オプション設定ボタン) をクリックする

オプション設定
ウィンドウが表示
される



2 「TVコントロール」アイコンを
クリックする

↓ 「TVコントロール」の画面が表示される

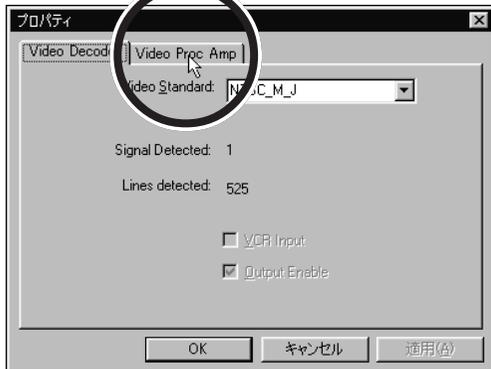


3 「ボードオプション」
をクリックする

↓ 「プロパティ」の画面が表示される

4

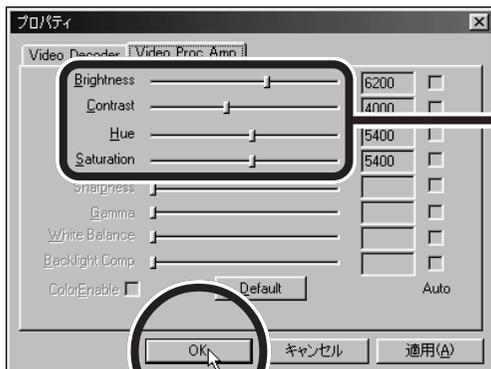
「Video Proc Amp」をクリックする



5

各項目の「つまみ」を左右にドラッグして調整する

カラー調整ウィンドウが表示される



6

「OK」をクリックする



7

「OK」をクリックする

Brightness

映像の明るさを調整します。

Contrast

映像のコントラストを調整します。

Hue

映像の色合いを調整します。

Saturation

映像の色の濃さを調整します。

「Default」をクリックすると、設定がご購入時の状態に戻ります。

✓チェック!!

カラー調整ウィンドウでは、設定を変更した後で「キャンセル」ボタンまたは「X」をクリックしてウィンドウを閉じた場合でも、閉じたときの設定内容が適用されます。

テレビで地上波データ放送を見る

地上波データ放送は、通常のテレビ放送と一緒に文字や画像などのデータを多重で送信する新しい情報サービスです。

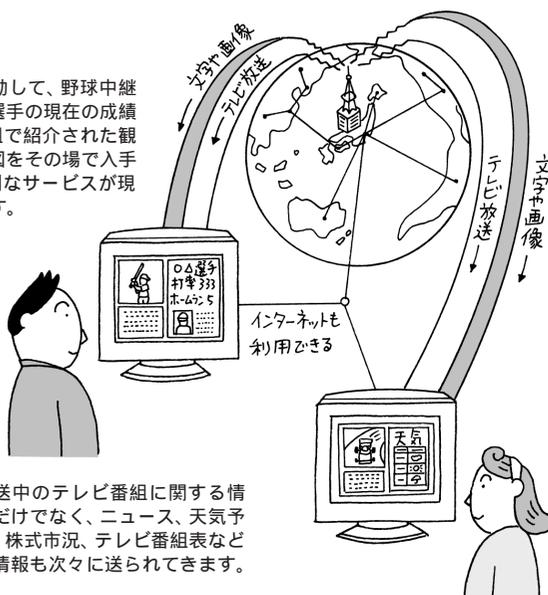
地上波データ放送とは

ふだん見慣れているテレビ放送は、テレビ放送局が電波を利用して映像と音声を送信していますが、この電波には、まだいくらかの情報をのせることができる電波のすきまのようなものが残っています。そのすきまに文字や画像の情報をのせて、テレビ放送と一緒に電波で送信するのが「地上波データ放送」です。この文字や画像などのデータは、このパソコンで、それぞれの専用の受信ソフトを使って表示することができます。

また、プロバイダと契約しているなど、このパソコンでインターネットが利用できる状況であれば、受信した地上波データ放送から、そのままインターネット上の関連ホームページを表示させることもできます。

このパソコンで利用できる地上波データ放送には、「ビットキャスト放送」「ADAMS放送」「文字放送」があります。

放送中の番組と連動して、野球中継を観戦しながら各選手の現在の成績を見たり、旅行番組で紹介された観光スポットの案内図をその場で入手したり、などの便利なサービスが現実のものとなります。



放送中のテレビ番組に関する情報だけでなく、ニュース、天気予報、株式市況、テレビ番組表などの情報も次々に送られてきます。

放送内容は、テレビ局によって異なります。放送される番組などについては、各テレビ局にお問い合わせください。

用語

ビットキャスト放送

TBS(系列局を除く)(株)東京放送
MBS:(株)毎日放送
BSN:(株)新潟放送
フジテレビ:(株)フジテレビジョン
で行っているデータ放送(1999年9月現在)

用語

ADAMS放送

テレビ朝日系列局が行っているデータ放送。

用語

文字放送

各テレビ放送局で放送している、文字中心のデータ放送。

チェック!!

- ・「地上波テレビ放送以外のテレビ放送(ケーブルテレビ会社のテレビ放送中継サービス)」では、地上波データ放送の対応を行っていない場合があり、受信できないことやアプリケーションの動作が不正になることがあります。
- ・ケーブルテレビをご利用の場合は、ビットキャスト放送、ADAMS放送、文字放送を受信できるかどうか、ご利用のケーブルテレビ会社にご確認ください。
- ・同時に受信できる放送局は一局のみです。

ビットキャスト放送を受信する

テレビのチャンネルをビットキャスト放送を行っている放送局に合わせ、ビットキャスト放送を見てみましょう。

表示モードを切り替える

ビットキャスト放送を見るには、表示モードを詳細モードまたは独立ウィンドウモードに切り替えます。ここでは、詳細モードを例にして説明します。詳細モードになっていない場合は、次の手順で詳細モードに切り替えてください。

1 画面右下にある、ツールバーの  をクリックする



チャンネルを合わせる

1  または  を何回かクリックして、



2 ビットキャスト放送を行っている放送局にチャンネルを合わせる

インターネットを利用する場合は、インターネットに接続できる環境を整えておく必要があります。

 参照

インターネットへの接続 『たのしみもう! インターネット』の「PART1 今すぐインターネット」

ビットキャストブラウザをまだ起動していない場合は、「テレビをつける」(p.9) の手順にしたがって、ビットキャストブラウザを起動してください。

ここでは、簡単な使い方のみを説明しています。詳しくは、ブラウザコントロールの「ヘルプ」ボタン(p.26) をクリックすると表示されるオンラインマニュアルをご覧ください。オンラインマニュアルは、ビットキャストブラウザ起動時に、最初にブラウザコントロールに表示されるスタートページで bitcast 項目をクリックしても表示されます(スタートページに設定されているアドレスを変更していない場合のみ)。

 **チェック!!**

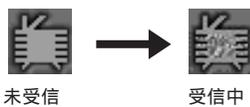
ビットキャスト放送を行っている放送局にチャンネルを合わせないと、ビットキャスト放送は受信できません。

 参照

受信できる放送局 この PART の「受信できる放送局について」(p.23)
チャンネルの設定 この PART の「受信チャンネルの設定をしよう」(p.10)



テレビのチャンネルを合わせると、自動的にビットキャスト放送の受信を開始します。受信が始まると、画面左下のビットキャストバーにある  (インジケータ) の表示が変化します。



しばらくすると、受信が完了した情報のタイトル(ビットマーク)が画面下のビットキャストバーに表示され、その内容が画面の右側部分(ブラウザコントロール)に表示されます。

受信できる放送局について

ビットキャスト放送をご覧になれる放送局は、以下の通りです(1999年9月現在)。

放送局	
東京放送(TBS)	毎日放送(MBS)
フジテレビジョン	新潟放送(BSN)

チェック!!

ビットキャスト放送を行っている放送局が受信できない地域にお住まいの場合は、ビットキャスト放送を受信することはできません。

チェック!!

ビットキャスト放送を行っている放送局にチャンネルを合わせても、すぐに受信できるとはかぎりません。しばらくお待ちいただくこともあります。

チェック!!

ビットキャスト放送を行っている放送局にチャンネルを合わせても、時間帯や受信状態によってビットキャストの情報がうまく受信できない場合があります。このとき、画面左下の  (インジケータ) は変化しません。

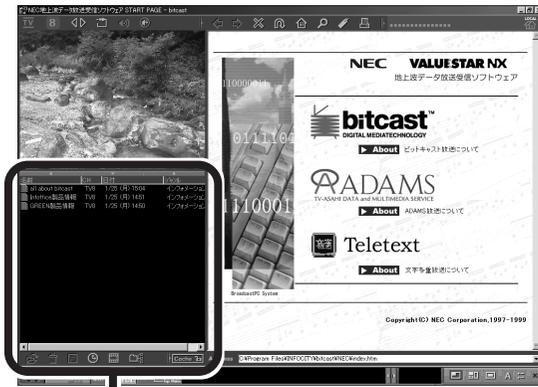
参照

ビットキャスト放送の受信について
ビットキャストブラウザのオンラインマニュアル

放送内容などについては、各放送局にお問い合わせください。

受信した情報を見る

ビットキャスト放送を行っているチャンネルに合わせておくだけで、放送局から次々に送られてきた情報がパソコンにたまっていきます。たまった情報は、画面の左下部分(キャッシュコントロール)に一覧表示されるので、ここを見れば、いつ、どのような情報を受信したかがわかります。



キャッシュコントロール

見たい情報を選んで表示する

1 一覧から見たい項目をひとつ選んでクリックする



2 (開くボタン)をクリックする



選んだ情報の内容がブラウザコントロール画面に表示される



チェック!!

受信した情報がたまってくると、自動的に古いものから順に削除されます。削除された情報はこの一覧に表示されなくなります。気に入った情報が自動的に削除されないようにするには、アーカイブに情報をコピーしておきます。アーカイブではフォルダを作成して、情報を細かく整理して保存できます。詳しくは、ビットキャストブラウザのオンラインマニュアルをご覧ください。

クリックした項目は色が青に変わります(反転表示)。

項目をダブルクリックして、受信内容を表示させることもできます。

画面下のビットキャストバーに見たい情報のタイトル(ビットマーク)が表示されている場合は、そのビットマークをクリックして情報を表示することもできます。



表示した情報の内容を見る

ビットキャストブラウザの右側部分(ブラウザコントロール)には、インターネットのホームページと同じような画面(ページ)が表示されます。ブラウザコントロールの上で、マウスポインタを自由に動かしてみてください。よく見ると、マウスポインタを置いた位置によって矢印(矢印)が手の形(手の形)に変わることがわかります。手の形に変わるところをクリックすると、別のページが表示されます。



ビットキャスト放送で受信した情報は、多くの場合いくつかのページに分割されており、ホームページを見るときと同じような操作で、次々に内容を見ていくことができます。

参照

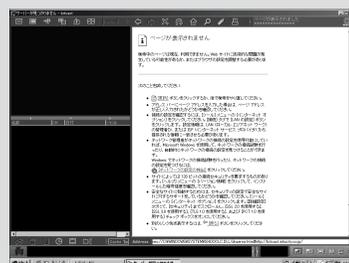
インターネットのホームページを見る操作『たのしもう! インターネット』の「PART1 今すぐインターネット」、「PART2 インターネットを楽しもう」

矢印が手の形になるところは、他のページにつながる入り口のようなものです。これを「リンク」と呼びます。

参照

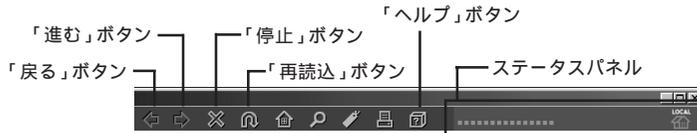
リンクとは『たのしもう! インターネット』の「PART1 今すぐインターネット」

ここで下のような画面が表示された場合は、「こんなときは」(p.27)をご覧ください。



ブラウザコントロールのボタン

ブラウザコントロール画面の上部にある次のようなボタンを使って、すでに表示したページ間を移動したり、ページの表示を中断、再表示することができます。また、画面の右上には、情報の読み込み状態を表示するステータスパネルがあります。



「戻る」ボタン

「戻る」ボタンを一回クリックするごとに、ひとつ前の段階に表示していたページに戻ります。何回かクリックを繰り返すと、一番最初に表示したページまで戻れます。

「進む」ボタン

「戻る」ボタンで以前のページに戻ったあとで、「進む」ボタンをクリックすると、戻る前のページを再び表示します。

「戻る」ボタンを一度もクリックしていない場合は、「進む」ボタンをクリックしても何も起こりません。

「停止」ボタン

そのページの表示を途中で中断します。

「再読込」ボタン

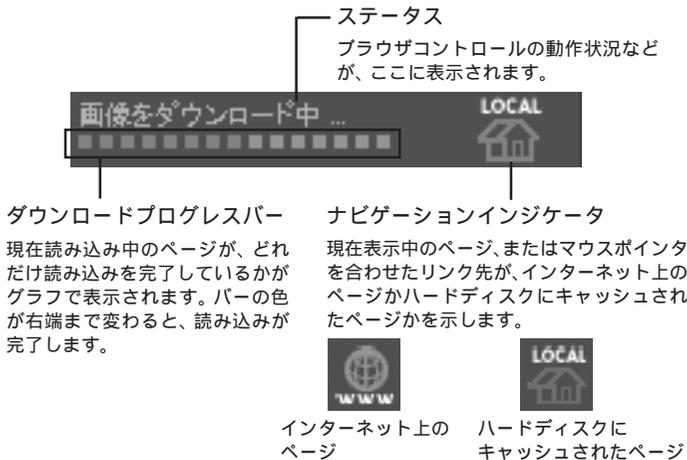
「停止」ボタンを押して表示を中断したあとで「再読込」ボタンをクリックすると、そのページをもう一度表示し直します。

「ヘルプ」ボタン

クリックすると、ブラウザコントロールにビットキャストブラウザのオンラインマニュアルが表示されます。

ステータスパネル

ステータスパネルと各ボタンの境界をドラッグすると、ステータスパネルの幅を調整できます。



チェック!!

ブラウザコントロールに表示されていないボタンがある場合は、(切り替えボタン)をクリックして、ボタンを表示してください。



リンク先がLOCALで示される場合は、インターネットに接続していなくても、リンク先が表示できます。

こんなときは

クリックして表示しようとしたページの内容が、すでにビットキャスト放送で受信しているものであればすぐに表示されますが、インターネット上のホームページの場合にはこの時点でインターネットへの接続が始まります。そのため、すでにインターネットに接続するための設定が行われているかどうかによって表示される内容が異なります。この場合には、次のように対処してください。

「ダイヤルアップの接続」画面が表示された

インターネットに接続するための設定が行われている場合は、「ダイヤルアップの接続」画面が表示されます。パスワードを入力して「接続」ボタンをクリックすると、インターネットへ接続します。詳しくは、このあとの「インターネットのホームページを見る (p.28)」を参照してください。

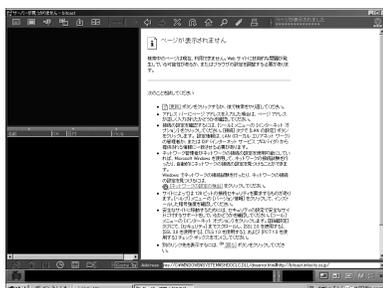


「ページが表示されません」というメッセージが表示された

このようなメッセージが表示されたときは、インターネットに接続するための設定が行われていません。インターネット上のホームページを見るためには、このパソコンでインターネットができるようにする必要があります。

『たのしもう! インターネット』の「PART3 BIGLOBEに入会する」にしたがってBIGLOBEへの入会申し込みを行うか、「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-「添付ソフトの使い方」-「インターネット接続ウィザード」にしたがってプロバイダから指定された情報を設定し、このパソコンでインターネットに接続できるようにしてください。

なお、このメッセージはビットキャスト放送の一部が受信できなかった場合にも表示されます。



パスワードが保存されているときは、パスワードを入力する必要はありません。

参照

インターネットへの接続 『たのしもう! インターネット』の「PART1 今すぐインターネット」

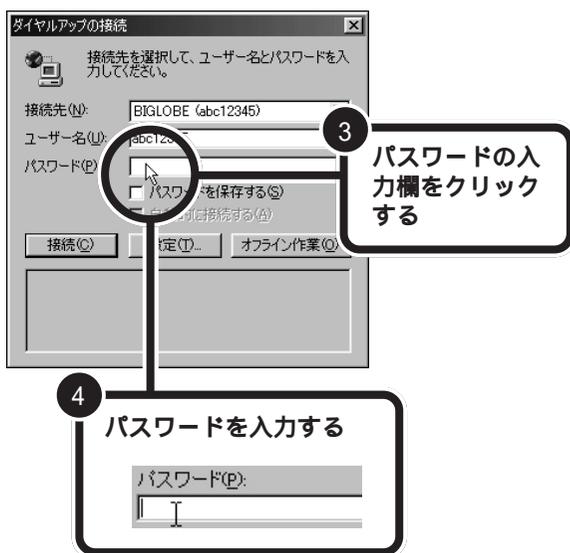
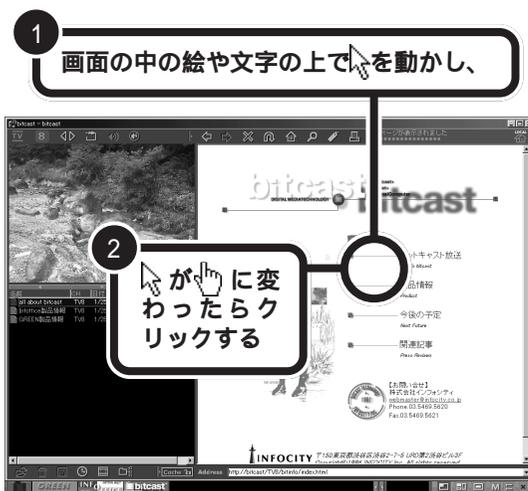
インターネットのホームページを見る

ビットキャスト放送で受信した情報の中には、インターネット上のホームページへのリンクが設定されていることがあります。

そのリンクをクリックしてインターネットへ接続し、そのままビットキャストブラウザでインターネットのホームページを見ていくことができます。

インターネット上のリンク先にマウスポインタを合わせると、ブラウザコントロールの右上にあるナビゲーションインジケータがに変わります。

インターネットに接続する



インターネット上のホームページを見るためには、このパソコンでインターネットができるようにする必要があります。

参照

インターネットへの接続 『たのしもう! インターネット』の「PART1 今すぐインターネット」

インターネット上のホームページへのリンクが設定されている場合、インターネットへの接続が開始されず。

クリックして表示しようとしたページの情報が、すでにビットキャスト放送で受信しているものならばすぐに表示されますが、インターネット上のホームページの場合には、この時点でインターネットへの接続が開始されます。

チェック!!

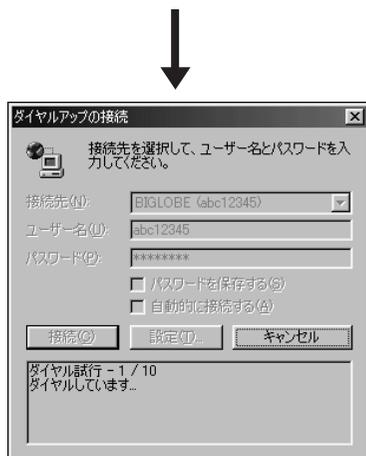
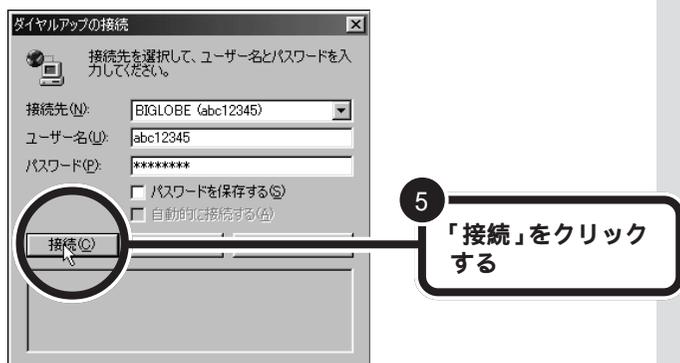
パスワードを保存する設定になっていてパスワード欄がすでに入力済みの状態になっているときは、手順3、4は不要です。次ページの手順5へ進んでください。

入力したパスワードはすべて*で表示されます。

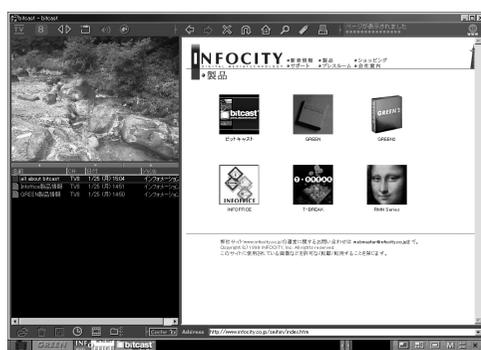
パスワードは全角/半角/大文字/小文字の区別がありますから、正確に入力してください。

参照

パスワードの入力 『たのしもう! インターネット』PART3の「パスワードについて」



しばらくすると、ブラウザコントロールに別のページが表示される



リンク先のインターネット上のホームページが表示されました。

ここから電話料金とプロバイダのインターネット接続サービス料金がかかります。インターネットに接続している必要がなくなったら、この後の「インターネットから切断する」の操作を行って、電話回線への接続を切断しましょう。

左のような画面が表示され、パソコンがプロバイダのアクセスポイントに自動的に電話をかけます。画面が表示されるまで、しばらくお待ちください。

📖 参照

プロバイダ、アクセスポイントについて『たのしもう! インターネット』の「PART1 今すぐインターネット」

表示内容を見ただけでは、リンクしている先がインターネットなのかはわかりませんが、ブラウザコントロールの右上にある  (ナビゲーションインジケータ) が次のように変化します。

 ビットキャスト放送から受信中

 インターネットから受信中

ホームページを見るときは、ビットキャスト放送で受信した情報のページを見るときは操作と同じです。「表示した情報の内容を見る」(p.25)をご覧ください。

インターネットから切断する

インターネットに接続している必要がなくなったら、インターネットへの接続を切断しましょう。

1 タスクバーのをダブルクリックする



✓チェック!!

インターネットから切断する操作をしないと、電話料金とインターネット接続サービス料金がかかりつづけてしまいます。

インターネットへの接続を切断しても、ビットキャスト放送で受信した情報のページは見るすることができます。

これでインターネットから切断されました。
ここからは、プロバイダのインターネット接続サービス料金と電話料金はかかりません。

ビットキャストローダーを常駐させる

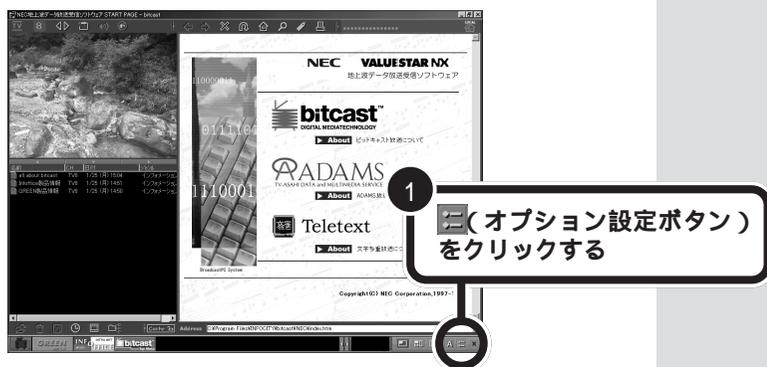
ビットキャストローダーが常駐していると、チャンネルの設定などが地上波データ放送を受信できる状態になっていれば、「ビットキャストブラウザ」や「ADAMSナビ」の起動/終了にかかわらずデータを受信し、情報を格納し続けることができます。

ビットキャストローダーが常駐しているときには、画面右下のタスクトレイにが表示されます。

パソコンの起動と同時にビットキャストローダーを常駐させるには、ビットキャストブラウザが起動している状態で、以下の手順を行ってください。

✓チェック!!

ご購入時には、パソコンの起動時にビットキャストローダーは常駐しないように設定されています。



2 スクロールバーを下にドラッグする

3 「ビットキャストローダの設定」アイコンをクリックする



4 「キャッシュ」タブの「終了時に bitcast Loader を終了する」の をクリックして にする



5 「OK」をクリックする

これで、「ビットキャストブラウザ」「ADAMSナビ」「モジモジ-NX」を終了しても、ビットキャストローダは終了しません。また、次にパソコンを起動したときから、画面右下のタスクトレイにビットキャストローダ  が常駐します。

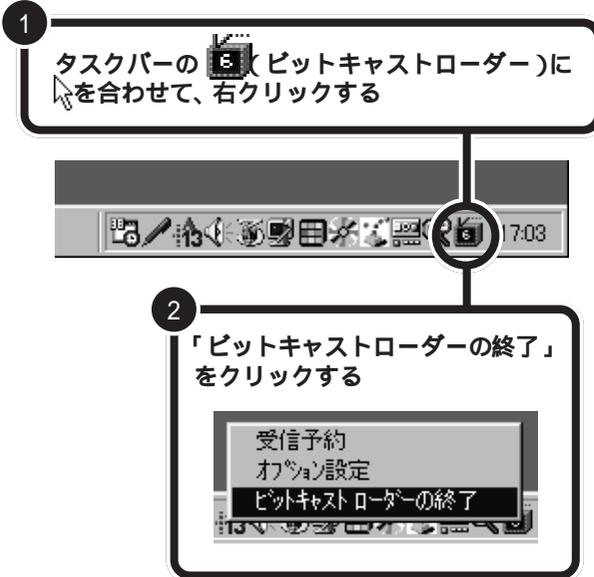


✓チェック!!

- ・ビットキャストローダがタスクトレイに表示されている間は、データ放送を受信するため、キーボードの【スリープ】ボタンを押してもスタンバイ状態になりません。スタンバイ状態にする場合は、ビットキャストローダを終了してください。
- ・ビットキャストローダが常駐している間は、データ放送を受信するため、CPUの負荷が大きくなり、他のアプリケーションの動作が遅くなることがあります。その場合は、ビットキャストローダを終了してください。

常駐しているビットキャストローダーを終了する

常駐しているビットキャストローダーを終了するには、以下の手順を行ってください。



これで、ビットキャストローダーが終了します。
次にパソコンを起動したときには、再び常駐するようになります。

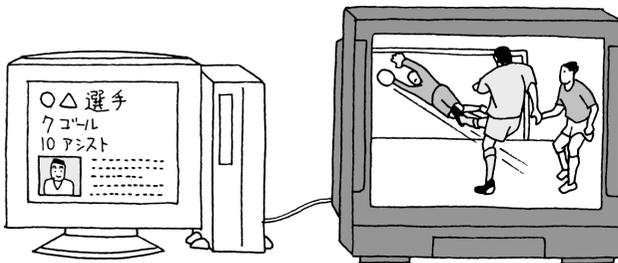
✓チェック!!

ビットキャストローダー常駐時は、共有ファイル(DLL)が動作しているため、一部のアプリケーションでは、アプリケーションの追加や削除が行えない場合があります。この場合はビットキャストローダーを終了してください。

ビットキャストブラウザが起動している間だけ、ビットキャストローダーが常駐するようにするには、左の画面で「オプション設定」の「ビットキャストローダの設定」の「キャストシュ」タブで、「終了時に bitcast Loader を終了する」を にしてください。

テレビ映像やビデオ入力映像を家庭用テレビに表示する

このパソコンにお手持ちの家庭用テレビを接続すると、このパソコンのディスプレイで地上波データ放送を見ながら、さらに受信しているチャンネルのテレビ映像を、家庭用テレビにも映すことができます。また、外部ビデオ機器からの映像も表示することができます。



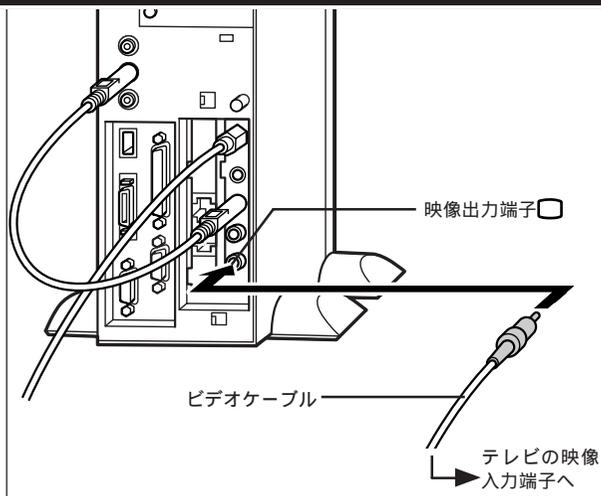
📖参照

このパソコンに外部ビデオ機器を接続するには PART2 の「外部ビデオ機器から映像を取り込もう VideoStudio 」(p.81)

家庭用テレビを接続して映像を映すには、以下の手順を行ってください。

1

本体背面の映像出力端子と、テレビの映像入力端子をビデオケーブルで接続する

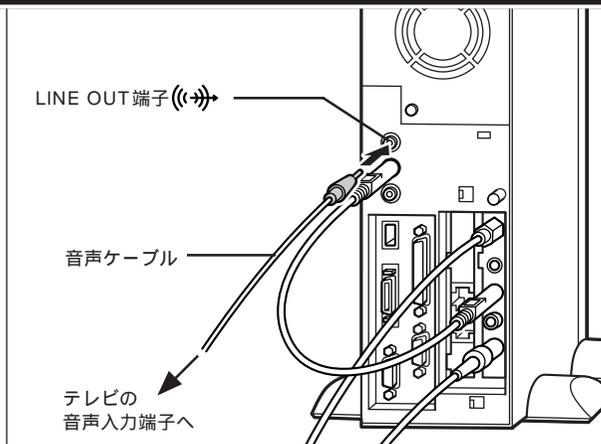


2

本体背面の LINE OUT 端子から、スピーカを外す
(CRTディスプレイセットモデルの場合のみ)

3

本体背面の LINE OUT 端子と、テレビの音声入力端子を、音声ケーブルで接続する



✓チェック!!

家庭用テレビに表示されるのはテレビ映像のみです。パソコンの画面 (Windows 98) やDVDの映像は表示されません。

ビデオケーブルは、電器店などで買い求めください。

✓チェック!!

液晶ディスプレイモデルでは、手順2は不要です。手順3に進んでください。

音声ケーブルは、電器店などで買い求めください。

✓チェック!!

このように接続すると、テレビの電源が入っていないときには、パソコンからの音が聞こえません。テレビ映像を見ないときには、スピーカを接続し直してください。

4
コントローラーの  (切り替えボタン) をクリックする



5
 (テレビ出力ボタン) をクリック
して、 にする

これで、接続した家庭用テレビに、受信しているテレビ放送や外部ビデオ機器の映像が映るようになります。

もう一度テレビ出力ボタンをクリックして  にすると、映像が出力されなくなります。

テレビまたは ビットキャスト ブラウザを終了する

テレビまたはビットキャストブラウザの終了方法を覚え
ましょう。

詳細モードの場合

詳細モードのウィンドウの右上にある **X** (閉じるボタン) をクリックするか、ビットキャストバーの右端にある **X** (閉じるボタン) をクリックします。



独立ウィンドウモード / 標準モードの場合

ビットキャストバーの右端にある **X** (閉じるボタン) をクリックします。



✓チェック!!

独立ウィンドウモードで、各コントロールウィンドウの右上にある **X** をクリックした場合、そのコントロールウィンドウが非表示になります。再び表示するには、ビットキャストバーの **☐** (独立ウィンドウモードボタン) をクリックしてください。

✓チェック!!

全画面表示を行っている場合は、マウスの左ボタンを押し、元のモードに戻してから終了してください。

ADAMS 放送を見る

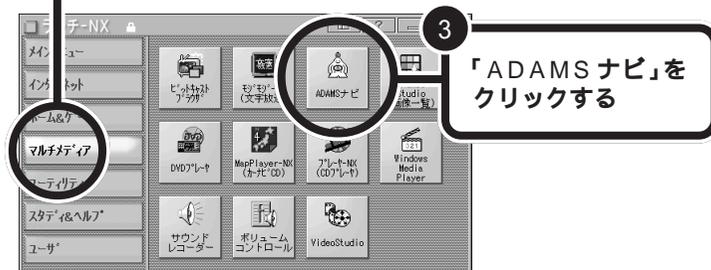
今度は ADAMS 放送を見てみましょう。ADAMS 放送を受信すると、ニュースや天気予報からテレビ番組に関連した内容までさまざまな情報が、インターネットのホームページと同じ形式で次々に送られてきます。

インターネットを利用する場合は、インターネットに接続できる環境を整えておく必要があります。

📖 参照

インターネットへの接続 『たのしみもう! インターネット』の「PART1 今すぐインターネット」

ADAMS ナビを起動する



ADAMS ナビの画面が表示される



詳細な使用方法は、「ヘルプ」「NEC ADAMSナビ オンラインヘルプ」をご覧ください。

ADAMS 放送を行っている放送局にチャンネルを合わせるとADAMS放送の受信が始まり、パソコンに情報が送られてきます。

✔ チェック!

ADAMS 放送を行っている放送局にチャンネルを合わせないと、ADAMS 放送は受信できません。

📖 参照

チャンネルの合わせ方 「チャンネルを合わせる」(p.38)

ADAMS ナビのウィンドウについて

ADAMS ナビツールバー

ADAMS ボタン

ADAMS ボタンをクリックすると、インターネットエクスプローラが起動し、ADAMS 放送が表示されます。

設定ボタン

設定ボタンをクリックすると、「ADAMSナビの設定」ウィンドウが表示されます。詳しくは、ADAMS ナビのヘルプをご覧ください。



TV ボタン

TVボタンをクリックすると、ビットキャストブラウザが起動し、独立ウィンドウモードのテレビウィンドウが表示されます。

ADAMS インジケータ

ADAMS 放送を受信している間は、インジケータがアニメーションで表示されます。また、ADAMS インジケータをクリックすると、ADAMS ボタンと同じ働きをします。



インフォメーション

コンテンツやデータが更新された場合、その最新情報が表示されます。

更新情報一覧

ADAMS 放送で現在受信できるコンテンツの一覧が表示されます。初めてADAMS 放送を受信する場合、一覧が表示されるまで時間がかかる場合があります。

ビットキャストローダーのチャンネルを、ADAMS 放送を行っている放送局に合わせないと、時間が経ってもなにも表示されません（ADAMS インジケータもアニメーションで表示されません）。（チャンネルについては p.38）

チャンネルを合わせる

タスクバーにある「ビットキャストローダー」を使って、現在の受信チャンネルを ADAMS 放送を行っている放送局に合わせます。

1
タスクバーの  (ビットキャストローダー) をクリックする



2
「チャンネル」に
マウスを合わせて



3
ADAMS 放送を行っているチャンネルの番号をクリックする

ADAMS 放送を行っている放送局にチャンネルを合わせると、自動的に ADAMS 放送の受信が始まり、パソコンに情報が送られてきます。

✓チェック!!

ADAMS 放送を行っていない放送局にチャンネルを合わせても、ADAMS 放送は受信されません。

1999年10月現在、テレビ朝日系列局で ADAMS 放送を行っています。

📖参照

受信できる放送局 この PART の「受信できる放送局について」(p.40)
チャンネルの設定 この PART の「受信チャンネルの設定をしよう」(p.10)

ADAMS 放送を見る

1

ADAMS (ADAMS ボタン) をクリックする



インターネットエクスプローラが起動し、ADAMSの画面が表示される



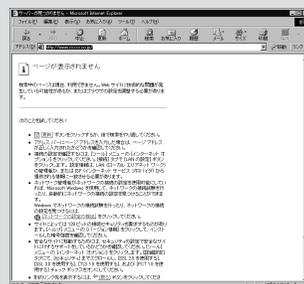
ADAMS放送で受信した情報はインターネット上のホームページと同じ形式で、インターネットエクスプローラの画面に表示されるので、インターネットでホームページを次々に見ていくのとまったく同じ感覚で操作することができます。

データがそろった段階でインターネットエクスプローラの更新ボタンをクリックすると、最新情報が画面に表示されます。購入後、初めてADAMS放送を受信したときは、データがそろうまで、約1時間程度かかります。

参考

インターネットエクスプローラの操作方法『たのしもう! インターネット』の「PART1 今すぐインターネット」

ここで下のような画面が表示された場合は、このPARTの「こんなときは」(p.27)をご覧ください。



ADAMS を終了する



1 インターネットエクスプローラの「X」(閉じるボタン)をクリックする



2 ADAMS ナビの「X」(閉じるボタン)をクリックする

受信できる放送局について

各地域のADAMS 放送をご覧になれる放送局は、以下の通りです(1999年10月現在)。

放送局	
北海道テレビ放送	朝日放送
青森朝日放送	広島ホームテレビ
岩手朝日テレビ	山口朝日放送
東日本放送	瀬戸内海放送
秋田朝日放送	愛媛朝日テレビ
山形テレビ	九州朝日放送
福島放送	長崎文化放送
新潟テレビ21	熊本朝日放送
長野朝日放送	大分朝日放送
静岡朝日テレビ	鹿児島放送
北陸朝日放送	琉球朝日放送
名古屋テレビ放送	テレビ朝日

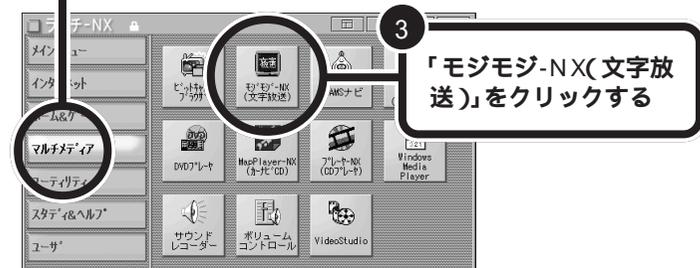
ADAMS についての詳細は、テレビ朝日データ株式会社(03-3586-6611)へお問い合わせいただくか、URL(<http://www.tv-asahidata.com>)をご覧ください。

文字放送を見る

文字放送はテレビ放送局ごとにおよそ10種類以上の番組が用意され、ニュースや生活情報などが繰り返し放送されています。

モジモジ-NX を起動する

「モジモジ-NX」を起動すると、自動的に現在の受信チャンネルで放送されている文字放送の受信が始まります。



モジモジ-NX の画面が表示される



文字放送の受信が始まり、パソコンに徐々に情報が送られてきます。データがある程度そろると、順次画面に表示されます。

✓チェック!!

文字放送を行っている放送局にチャンネルを合わせないと、文字放送は受信できません。

📖参照

チャンネル 「チャンネルを合わせる」(p.43)

モジモジ-NX のウィンドウについて

文字放送では、各放送局のチャンネルごとにいくつかの番組が用意されていて、それぞれの番組はさらにいくつかのページで構成されています。モジモジ-NXでは、画面上部の次のようなボタンを使って、それらの番組間やページ間を移動して次々に見ていくことができます。

「目次」ボタン

「目次」ボタンをクリックすると、そのチャンネルで現在放送中の番組名と番組コードの一覧が表示されます。

ページ番号表示欄

同じ番組内の次のページを見るときは、表示している番組のページ番号を表示します。▶をクリックします。◀をクリックすると、ひとつ前のページに戻ります。



番組コード表示欄

現在表示している番組の番組コードが表示します。

▼をクリックすると、ひとつ数字の小さいコードの番組が表示されます。▲をクリックすると、ひとつ数字の大きいコードの番組が表示されます。

チャンネルを切り替えるには、ビットキャストローダーを使います。

📖 参照

チャンネル 「チャンネルを合わせる」(p.43)

チャンネルを合わせる

受信するチャンネルを変えるときは、タスクバーにある「ビットキャストローダー」を使って、現在の受信チャンネルを受信したい文字放送を行っている放送局に合わせます。

1 タスクバーの  (ビットキャストローダー) をクリックする



2 「チャンネル」に
マウスを合わせて



3 受信したいチャンネルの番号をクリックする

✓チェック!!

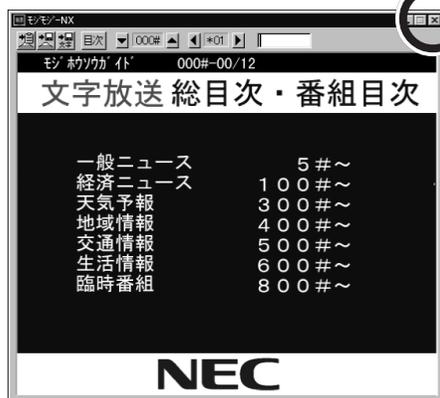
文字放送を行っていない放送局にチャンネルを合わせても、文字放送は受信されません。

📖参照

受信できる放送局 このPARTの「受信できる放送局について」(p.44)
チャンネルの設定 このPARTの「受信チャンネルの設定をしよう」(p.10)

モジモジ-NX を終了する

1  (閉じるボタン) をクリックする



受信できる放送局について

各地域で文字放送をご覧になれる放送局は、以下の通りです(1999年3月31日現在)。

各テレビ放送局の番組の内容については、目次ボタンや市販のテレビ情報誌などをご覧ください。

都道府県名	放送局		都道府県名	放送局	
	NHK総合	民放		NHK総合	民放
北海道	日本 文字放送	北海道テレビ放送	京都	西日本 文字放送	朝日放送
青森		青森朝日放送	滋賀		関西テレビ放送
秋田		秋田朝日放送	兵庫		毎日放送
岩手		岩手朝日テレビ	奈良		読売テレビ放送
福島		福島放送	和歌山		
山形		山形テレビ	大阪		朝日放送
宮城		東日本放送			関西テレビ放送
茨城		日本テレビ放送網(アクセス・フォア)			毎日放送
神奈川		東京放送(東京データビジョン)			読売テレビ放送
群馬		フジテレビジョン			テレビ大坂
埼玉		テレビ朝日(朝日レタービジョン)			(日経テレプレス大阪)
千葉		テレビ東京(日経テレプレス)	岡山		
栃木			山根		
東京		日本テレビ放送網(アクセス・フォア)	広島		
	東京放送(東京データビジョン)	鳥取			
	フジテレビジョン	山口			
	テレビ朝日(朝日レタービジョン)	愛媛			
	テレビ東京(日経テレプレス)	香川			
	東京メトロポリタンテレビジョン	高知			
長野	中部 文字放送	長野朝日放送	徳島		
新潟		新潟テレビ21	福岡	九州朝日放送	
山梨				福岡放送	
愛知		中部日本放送	大分	大分朝日放送	
岐阜		(中部日本データビジョン)	鹿児島	鹿児島放送	
三重			熊本	熊本朝日放送	
石川			佐賀		
福井			長崎	長崎文化放送	
静岡		静岡放送	宮崎	テレビ宮崎	
富山		北日本放送	沖縄		

テレビ / 地上波データ放送がうまく見られないときには

テレビや地上波データ放送(ビットキャスト放送、ADAMS放送、文字放送)を見ようとして問題が起きたときは、ここをご覧ください。

テレビ / 地上波データ放送に関する注意事項を、ビットキャストブラウザのオンラインマニュアルにも記載しています。オンラインマニュアルの「ご注意」もあわせてご覧ください。オンラインマニュアルは、ブラウザコントロールの「ヘルプ」ボタン(p.26)をクリックすると表示されます。

ビットキャストブラウザのテレビコントロールに、テレビが映らない

- ☹️ ➡️ 😊 アンテナは接続されていますか?
アンテナを接続してください。接続についてはこのPARTの「テレビを見る準備をする」(p.2)をご覧ください。
- ☹️ ➡️ 😊 チャンネルは設定されていますか?
チャンネルを設定してください。設定についてはこのPARTの「受信チャンネルの設定をしよう」(p.10)をご覧ください。
- ☹️ ➡️ 😊 本体とディスプレイは正しく接続されていますか?
本体とディスプレイを正しく接続してください。接続については『まずこれ! 接続と準備』の「PART2 パソコンの接続をする」またはディスプレイのマニュアルをご覧ください。
- ☹️ ➡️ 😊 ビデオ入力になっていませんか?
「ビットキャストブラウザ」の外部入力切り替えボタンでテレビにしてください。
- ☹️ ➡️ 😊 ケーブルテレビの番組を見ようとしていませんか?
このパソコンでは、テレビ放送中継サービス以外の、ケーブルテレビの番組は見るできません。
- ☹️ ➡️ 😊 DVDプレーヤを再生していませんか?
DVDプレーヤを再生中は、テレビを正常に表示できません。
- ☹️ ➡️ 😊 「VideoStudio」が起動していませんか?
「ビットキャストブラウザ」と「VideoStudio」を同時に動作させることはできません。2つのソフトをいったん終了させた後、ビットキャストブラウザを起動し直してください。

📖 参照

このPARTの「外部入力に切り替える」(p.16)

映像出力端子に接続した家庭用テレビなどに、Windowsの画面やDVDの映像を表示できない

本機の映像出力端子から出力できるのは、テレビの映像のみです。Windowsの画面や、DVDの映像は表示できません。

テレビの音が出ない

- ☹️ ➡️ 😊 LINEケーブルは正しく接続されていますか？
LINEケーブルを正しく接続し直してください。

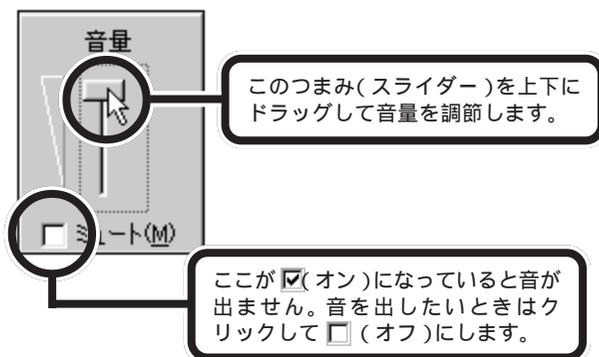


LINEケーブルの接続 このPARTの「LINEケーブルを接続する」(p.8)

音が出ない、音が大きすぎる

- ☹️ ➡️ 😊 音量インジケータをクリックして、ミュート(消音)の確認と音量の調節をしてください。

画面右下の  (音量インジケータ) をクリックし、表示された画面で「ミュート」が (オン) になっているときは、クリックして (オフ) にしてください。さらにスライダー() を上下にドラッグして、音量を調節してください。調節したら、デスクトップのアイコンやウィンドウなどが無いところで、クリックして画面を閉じてください。



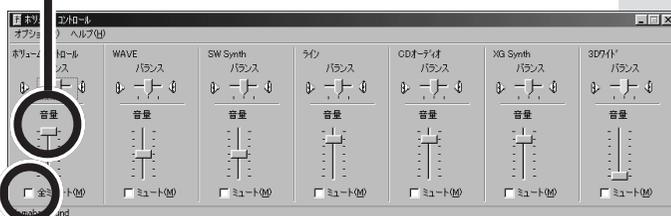
画面右下の音量インジケータが  になっているときはミュート(消音)状態で、音は出ません。

- ☹️ → 😊 「ボリュームコントロール」ウィンドウでミュート(消音)の確認と音量の調節をしてください。

画面右下の  (音量インジケータ) をダブルクリックし、「ボリュームコントロール」の「全ミュート」が (オン) になっているときはクリックして (オフ) にしてください。さらにスライダー() を上下にドラッグして、音量を調節してください。調節したら、右上の ボタンをクリックして、ウィンドウを閉じてください。

スタートメニューから起動する「スタート」メニューから「プログラム」、「アクセサリ」、「エンターテイメント」、「ボリュームコントロール」をクリックして、「ボリュームコントロール」ウィンドウを開くこともできます。

このつまみ(スライダー)を上下にドラッグして音量を調節します。



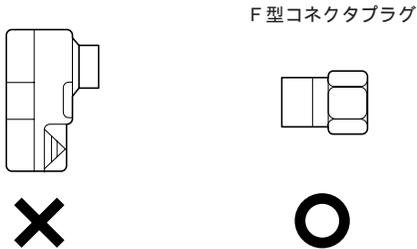
ここが (オン) になっていると音が出ません。音を出したいときはクリックして (オフ) にします。

地上波データ放送が受信できない、または、データの取りこぼし起きる

- ☹️ → 😊 アンテナは正しく接続されていますか？
アンテナの接続を確認してください。接続についてはこのPARTの「テレビを見る準備をする」(p.2)をご覧ください。
- ☹️ → 😊 アンテナの向きが悪い、またはアンテナとの接続が長くありませんか？
アンテナの向きを変えたり、アンテナとの接続を短くするなどの対策を行うと、受信状態が改善され、データの取りこぼしの頻度が低くなる場合があります。
- ☹️ → 😊 ビットキャストブラウザは正しく設定されていますか？
設定を確認してください。設定方法についてはこのPARTの「受信チャンネルの設定をしよう」(p.10)およびビットキャストブラウザのオンラインマニュアルをご覧ください。

☹️➡️😊 アンテナ線の接続に使用しているのはネジタイプのF型コネクタプラグですか？

アンテナケーブルとパソコン本体の接続には、ネジタイプのF型コネクタプラグを使用してください。他のものでは、正しく受信できない場合があります。



☹️➡️😊 ケーブルとF型コネクタプラグの接触が悪くなっていませんか？

このPARTの「ケーブルにF型コネクタを取り付ける」をご覧ください。F型コネクタプラグを正しく取り付けてください。

☹️➡️😊 地上波データ放送を行っているチャンネルになっていますか？

放送局によっては、同じ系列の放送局であっても、地上波データ放送を行っていない局もあります。この場合は、地上波データ放送を受信できません。

地上波データ放送を行っているかどうかについては、地元局に確認してください。

- ・ビットキャスト放送を行っている放送局については、「受信できる放送局について」(p.23)をご覧ください。
- ・ADAMS放送を行っている放送局については、「受信できる放送局について」(p.40)をご覧ください。
- ・文字放送を行っている放送局については、「受信できる放送局について」(p.44)をご覧ください。

☹️➡️😊 テレビ電波の状態の悪い場所ではありませんか？

地上波データ放送のサービスを受けられる場所であっても、以下のような場所では受信できないことがあります。

- ・ゴースト(二重映り)が多い場所
- ・電波が弱い場所
- ・極端に電波が強い場所

📖 参照

このPARTの「ケーブルにF型コネクタプラグを取り付ける」(p.5)

🔍 チェック!!

同時に受信できる放送局は1局のみです。データ放送の種別ごとに別々の放送局を受信することはできません。

🔍 チェック!!

電波が弱い場所を使用する場合は、ブースターを使用してください。また、ゴーストが多い場所を使用する場合は、ゴーストキャンセラーが必要です。ブースター、ゴーストキャンセラーの取り付けについては、お近くの電器店などにご相談ください。

☹️ ➡️ 😊 地上波テレビ放送以外のテレビ放送を利用していませんか？

「地上波テレビ放送以外のテレビ放送(ケーブルテレビ会社のテレビ放送中継サービス)」では、地上波データ放送の対応を行っていない場合があり、地上波データ放送が受信できなかったり、アプリケーションの動作が不正になったりすることがあります。

☹️ ➡️ 😊 ビットキャストブラウザ以外に、他のアプリケーションが動作していませんか？

ビットキャストブラウザ以外に他のアプリケーションが動作していると、パソコンの処理量が大きくなり、地上波データ放送を正常に受信できなくなることがあります。ビットキャストブラウザの使用中は、できるだけ他のアプリケーションを使用しないようにしてください。

「キャッシュコントロール」の内容が更新されない。画面下の「ビットマークウィンドウ」に出てくるはずの「ビットマーク」がいくら待っても表示されない

「地上波データ放送が受信できない、または、データの取りこぼしが生じる(p.47)と同様の原因が考えられます。詳しくはそちらをご覧ください。

テレビは表示されるが、ビットキャスト放送が受信できない

☹️ ➡️ 😊 動画キャプチャを行っていませんか？

動画キャプチャ実行中は、ビットキャスト放送を受信できません。ビットキャスト放送を受信するときは、動画キャプチャの使用を避けるようにしてください。

動画キャプチャを行ってなくても、ビットキャスト放送が受信できない場合は、「地上波データ放送が受信できない、または、データの取りこぼしが生じる(p.47)と同様の原因が考えられます。詳しくはそちらをご覧ください。

✓ チェック!!

ケーブルテレビをご利用の場合は、ビットキャスト放送、ADAMS 放送および文字放送等のデータ放送が受信可能かどうか、ご利用のケーブルテレビ会社へお問い合わせください。

受信したビットキャスト放送(Webページ)が自動的に表示されない

☹️➡️😊 受信モードは「AUTO」になっていますか？

ビットキャストバーのオートモード切り替えボタンをクリックし、オートモードにしてください。マニュアルモードでは自動的に表示されません。詳しくは、ビットキャストブラウザのオンラインマニュアルをご覧ください。

「ビットキャストブラウザ」に表示されているリンクから、インターネット上のWebページにアクセスできない

☹️➡️😊 ダイアルアップ接続の設定は正しく行われていますか？

インターネットエクスプローラを起動し、正しくインターネットのWebページへアクセスできることを確認してください。できない場合は、「サポートセンタ」「困ったときのQ&A」「トラブル解決Q&A」「インターネット/通信」をご覧ください。

キャッシュやアーカイブを他のドライブやフォルダに移動したい

ビットキャストブラウザは、購入時にはキャッシュを「C:¥Windows¥Bitcache」というフォルダに、アーカイブを「C:¥Windows¥Archive」というフォルダに格納するように設定されています。

これらのフォルダを別のフォルダに変更したい場合は、ビットキャストローダーを終了させた後、「スタート」「プログラム」「地上波データ放送」「bitcast ビットキャッシュユーティリティ」をクリックしてビットキャッシュユーティリティを起動し、それぞれのデータを移動してください。詳しくは、ビットキャストブラウザのオンラインマニュアルの「ビットキャッシュユーティリティ」をご覧ください。

また、アーカイブを格納するフォルダは、「オプション設定」「ビットキャストローダーの設定」の「キャッシュ」タブで指定して変更することもできますが、この場合は変更前のフォルダに格納されているアーカイブが、新しいフォルダへ移動されず、参照できなくなります。

キャッシュやアーカイブのデータベースが大きくなってしまった

キャッシュやアーカイブの情報が記憶されているデータベースは、追加や削除を繰り返していると徐々に大きくなります。その場合は、ビットキャストローダーを終了させた後、「スタート」「プログラム」「地上波データ放送」「bitcast ビットキャッシュユーティリティ」をクリックしてビットキャッシュユーティリティを起動し、最適化を行ってください。詳しくは、ビットキャストブラウザのオンラインマニュアルの「ビットキャッシュユーティリティ」をご覧ください。

「ADAMS」の内容が更新されない

-  ➔  プリインストールコンテンツが表示されていませんか？
インターネットエクスプローラのアドレスに「...¥ADAMS-P¥preinstl¥INDEX.HTM」と表示されている場合は、出荷時にハードディスク内に収められたサンプルページが表示されています。インターネットエクスプローラを終了させ、しばらく時間を置いてADAMSナビの更新状況を確認してから、ADAMSナビの「ADAMS」ボタンをクリックしてください。
-  ➔  ADAMSナビの更新情報が新しくなっていますか？
ADAMS放送を受信すると、ADAMSナビの更新状況が表示されます。すべてのコンテンツの更新状況が100%になった時点でADAMSボタンをクリックすると、インターネットエクスプローラが起動し、受信した最新情報が表示されます。
-  ➔  ADAMS放送を行っている放送局にチャンネルが合っていますか？
ADAMS放送を行っている放送局にチャンネルが合っていないと、ADAMS放送は受信されません。ADAMS放送を行っている放送局にチャンネルを合わせてください。
ADAMSナビを起動し、ADAMSインジケータがアニメーションで表示されている場合、正しくADAMS放送を受信しています。



更新情報 ADAMSナビのオンラインヘルプ「更新情報一覧」



受信できる放送局 このPARTの「受信できる放送局について」(p.40)
チャンネルの合わせ方 このPARTの「チャンネルを合わせる」(p.38)
チャンネルの設定 このPARTの「受信チャンネルの設定をしよう」(p.10)

P A R T

2

映像を取り込んでみよう

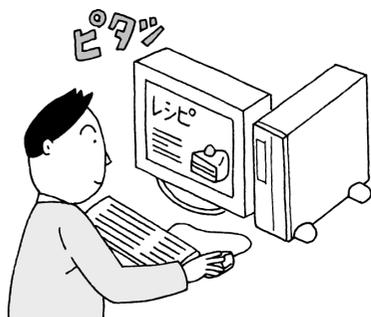
ビットキャストブラウザやVideoStudioを使って、テレビ放送やビデオの映像を、このパソコンに取り込んでみましょう。パソコンに取り込んだ静止画や動画は、オリジナルビデオを作成したり、電子メールに添付して送るなど、楽しい使い方ができます。

テレビの映像を 静止画にして パソコンに取り込もう

まるでテレビの画面を写真に撮るような感じで、一瞬の映像を切り取ってパソコンで利用することができます。

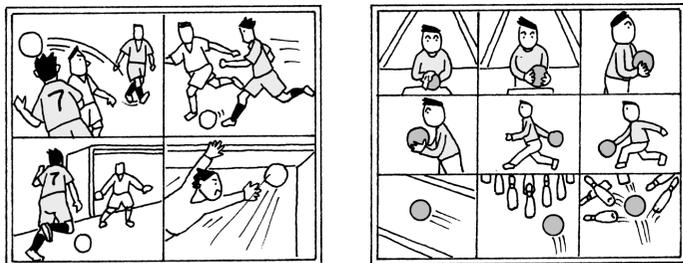
静止画を取り込むとは

テレビ番組を見ているときに、プレゼント応募の宛先や料理番組のレシピなどが一瞬で消えてしまって悔しい思いをしたことはありませんか？もし、ビデオに記録されていたのならば、ビデオの一時停止機能を使って、見たい場面をじっくり見ることができたはず。静止画を取り込むという作業はこの一瞬の画面を録画するのと同じで、テレビ番組を見ている最中にじっくり見たい画面をデータとして記録する機能です。取り込んだ画面は、ハードディスクやフロッピーディスクなどに保存しておくことができます。



マルチキャプチャ機能

静止画は、一場面だけを取り込むこともできますが、連続した複数の静止画として取り込むこともできます。取り込まれた複数の静止画は、ひとつの画像となって記録されます。この機能をマルチキャプチャ機能といいます。たとえば、サッカーのパスからシュートまでの連続プレーや、ボウリングのフォームなどを連続写真のように取り込むときに便利な機能です。



チェック!!

あなたがテレビ放送や録画物などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

用語

キャプチャ、キャプチャする
静止画や動画をパソコンに取り込むことを「キャプチャする」ともいいます。キャプチャした内容(静止画や動画など)は、画像ファイルや動画ファイルとして記録しておくことができます。

参照

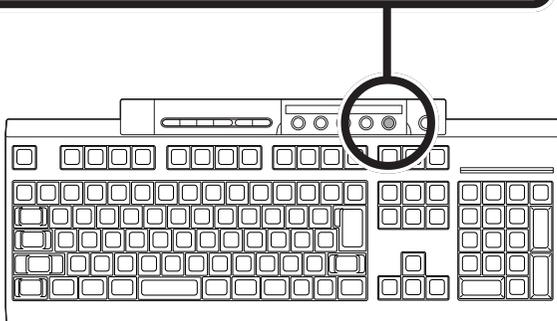
取り込んだ映像を使う このPARTの「取り込んだ画像をメールに添付して送る」(p.95)

ビットキャストブラウザを起動する

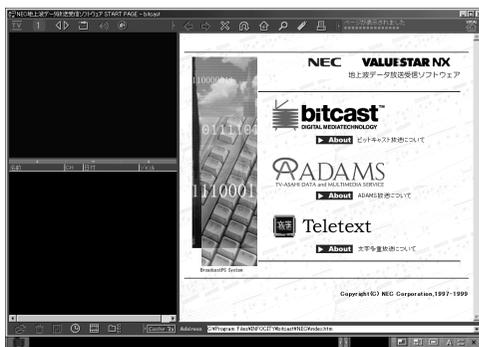
静止画をキャプチャするには、ビットキャストブラウザを使います。ここでは、詳細モードを例にして説明します。

1

キーボードの【ビットキャストブラウザ】ボタンを押す



ビットキャスト
ブラウザの画面
が表示される



✓チェック!!

ビットキャストブラウザを起動する前に、アンテナ線の接続、LINEケーブルの接続、チャンネルの設定が完了している必要があります。

📖参照

アンテナ線の接続、LINEケーブルの接続 PART 1の「テレビを見る準備をする」(p.2)

チャンネルの設定 PART1の「受信チャンネルの設定をしよう」(p.10)

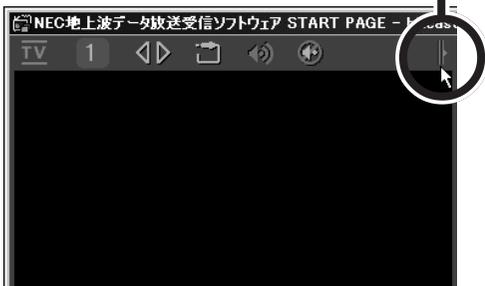
ランチ-NX から起動する

「ビットキャストブラウザ」は「ランチ-NX」の「マルチメディア」の「ビットキャストブラウザ」をクリックして起動することもできます。

外部ビデオ機器から映像を取り込む
外部ビデオ機器から映像を取り込む場合は、外部ビデオ機器の接続 (p.81)をした後、 (入力切り替えボタン)をクリックして、チャンネル表示パネルを **VIDEO 1** にしてください (p.16)。

キャプチャ設定ダイアログを表示させる

1 (切り替えボタン)をクリックする



コントロールバーのボタンの表示が変わる

2 (キャプチャオプションボタン)をクリックする



3 「静止画」タブをクリックする

キャプチャ設定ダイアログが表示される



静止画の取り込み方を決める

静止画を取り込む方法には、テレビ映像の一場面だけを静止画として取り込む方法と、テレビ映像を連続した複数の静止画(マルチキャプチャ)として取り込む方法があります。

ここでは例として、「320×240」ドットの画像を、101ミリ秒間隔で4画面を取り込む設定で説明します。

1 「マルチキャプチャ」のをクリックしてにする



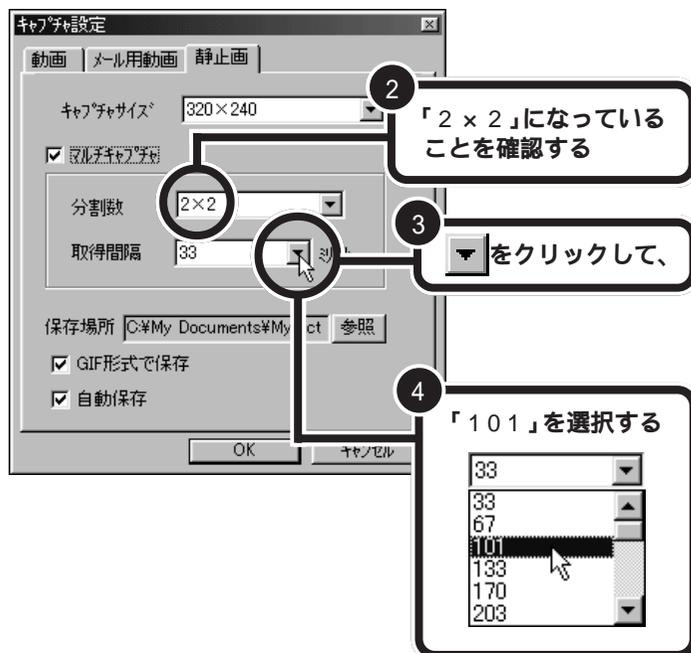
「マルチキャプチャ」をのままにすると、録画ボタンが押されたときの映像のみを静止画として取り込みます。

静止画として取り込むことができる画像サイズは、「320×240」ドットのみです。

「分割数」の▼をクリックすると、マルチキャプチャ機能で取り込む画像の枚数を、「5×5」「4×4」「3×3」「2×2」の中から設定できます。

「320×240」ドットの画像を、マルチキャプチャ機能を使って「2×2」で取り込むと、画像ファイル全体の大きさは「640×480」ドットになります。

「取得間隔」では、マルチキャプチャ機能を使って、複数の静止画を連続して取り込むときに、何秒間隔で取り込むかを指定します。



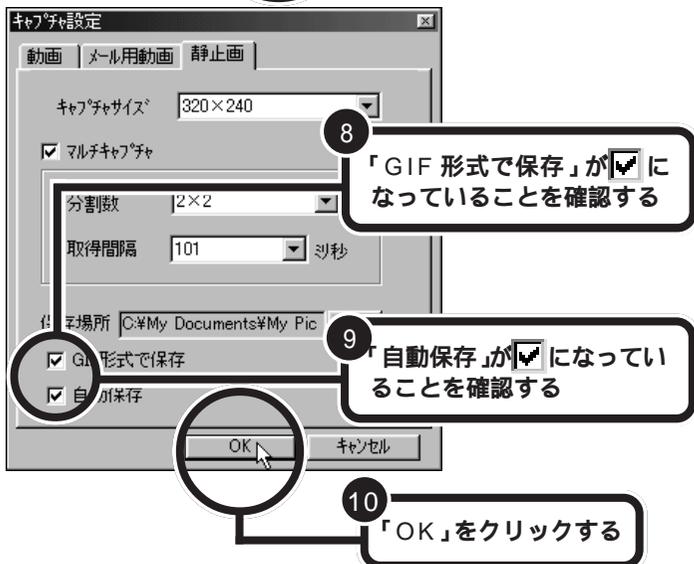
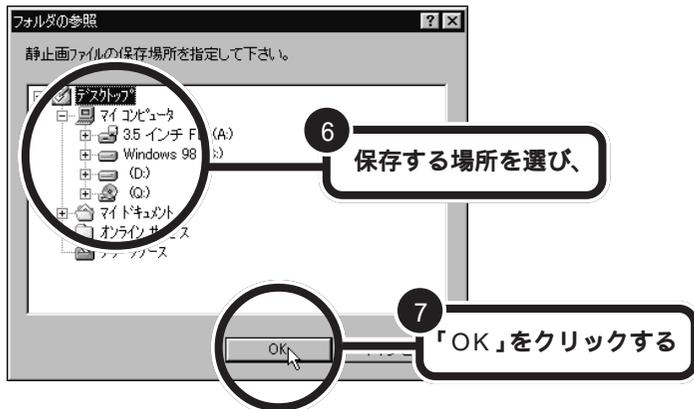
2 「2×2」になっていることを確認する

3 ▼をクリックして、

4 「101」を選択する

静止画ファイルを保存する場所を変更する

静止画ファイルを保存する場所を変更する場合には、次の手順で行ってください。保存する場所を変更しない場合は手順5～7は不要です。手順8に進んでください。



✓チェック!!

ご購入時の静止画ファイルの保存場所は、Cドライブの「My Documents」の「My Pictures」フォルダに設定されています。特に変更する必要がなければ、そのままの設定でお使いください。

GIF形式で保存のチェックをはずすと、BMP形式のファイルになります。

自動保存を☑すると自動的にファイルが指定され、連続して画像を取り込むことができます。ファイル名はキャプチャを終了したときの年月日時分秒を表す名前になります。

例:

1999年10月7日 17時35分23秒

1999_1007_1735_23

静止画を取り込む

1

 (静止画キャプチャボタン) をクリックする



設定したとおり
画面がキャプチャ
される



「キャプチャ設定」で「自動保存」に が付いている場合は、保存先のフォルダ(ご購入時は「C:¥My Documents¥My Pictures」フォルダに指定されています)に自動保存されます。

ファイル名を指定して静止画を取り込む

「キャプチャ設定」で「自動保存」に が付いていない場合は、ファイル名を指定して保存します。

1

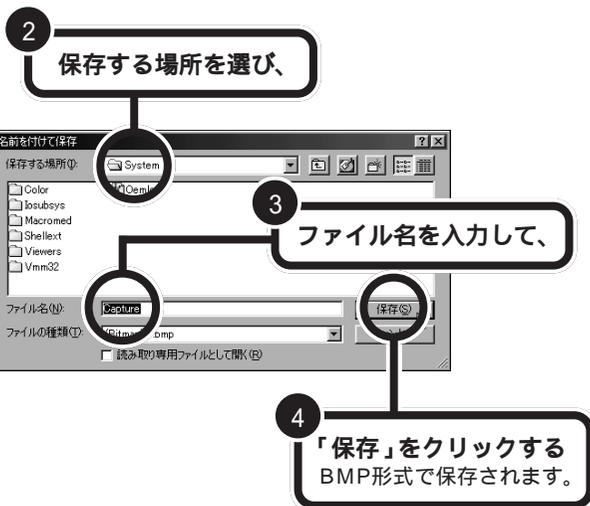
 (静止画キャプチャボタン) をクリックする



静止画をキャプチャしている間、静止画キャプチャボタンは反転表示され、クリックできなくなります。キャプチャが完了すると、元に戻ります。

キーボードのワンタッチスタートボタンに「静止画キャプチャボタン」を割り当てすることもできます。「ワンタッチスタートボタンの設定」の「ボタン設定」タブで、「コマンドリストから選択」をクリックして表示される機能リストの中から、「静止画(bitcast).exe」をボタンに割り当ててください。

ボタンの割り当て方については、「ワンタッチスタートボタンの設定」のヘルプをご覧ください。



取り込んだ静止画を確認する

取り込んだ静止画を確認するには、ThumbsStudioを使うと便利です。ThumbsStudioでは、取り込んだ静止画のサムネイル(画像を一覧表示したもの)を見ることができます。

保存場所をご購入時の設定から変更していないときは、画像ファイルは、「My Documents」の「My Pictures」フォルダに登録されています。「My Pictures」フォルダを選択すると、取り込んだ画像ファイルを見ることができます。



📖 参照

画像の一覧を見るには このPARTの「取り込んだ画像の一覧を見る」(p.93)

取り込んだ静止画のサイズやファイル形式を変更して保存する

ビットキャストブラウザで保存した静止画は、電子メールやホームページなどで利用する場合、そのままではファイルのサイズが大きすぎる場合があります。サイズが大きすぎると、ファイルを添付した電子メールが正しく送信できなかったり、送受信に多大な時間がかかるなどのトラブルが起こる場合があります。

このような場合は、静止画のサイズを変えたり圧縮したりするなどして、ファイルのサイズをなるべく小さくする必要があります。

静止画の圧縮には、「キャプチャの設定」で「GIF形式で保存」を選択する方法もありますが、ここでは「ThumbsStudio」を使って、サイズ変更や他のファイル形式で保存してみましょう。

サイズ変更したいファイルを開く

まず、「ThumbsStudio」を起動して静止画のファイルを開きます。ここでは例として、「My Documents」フォルダに「自然」という名前で保存した、「640 × 480」ドットの静止画ファイルを使用します。

1

マイピクチャーをクリックする



ThumbsStudioが
起動する



電子メールに添付するファイルのサイズの上限は、1Mバイトを目安としてください。

参照

添付するファイルのサイズ このPARTの「取り込んだ画像をメールに添付して送る」(p.95)



↓
「自然.bmp」が表示される



静止画のサイズを変更する

画像のサイズを小さくすると、ファイルのサイズも小さくなります。





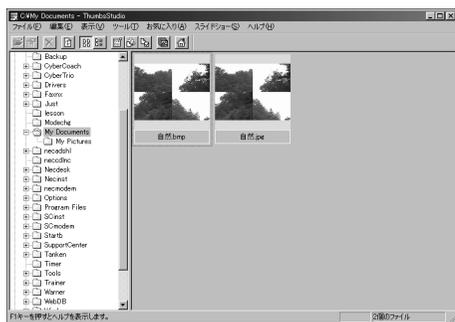
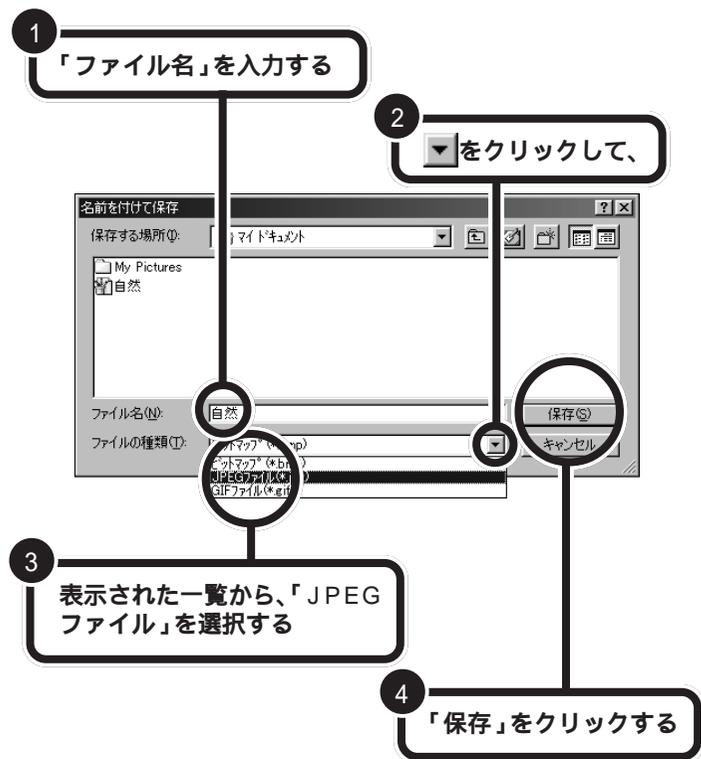
↓
「自然.bmp」ファイルが変更したサイズで表示される



倍率は、1/2 ~ 1/16倍、2 ~ 16倍に設定できます。

JPEG 形式で保存する

ビットキャストブラウザで取り込んだ静止画は、BMP形式、あるいはGIF形式で保存できます。これを JPEG 形式に変換すると、画像によっては、ファイルのサイズを小さくすることができます。



これで、サイズとファイル形式を変更したファイルが、元のファイルとは別に保存されます。

用語

BMP、JPEG

パソコンで一般的に使われる、画像のファイル形式。BMPはWindowsで最も一般的な形式で、JPEGはデジタルカメラやホームページなどで広く使われている。

ここでファイルを保存する場所や、ファイルの名前を変更することもできます。

画像を右クリックして、表示されるメニューから、「プロパティ」を選択すると、ファイルサイズや画像サイズなどを確認できます。



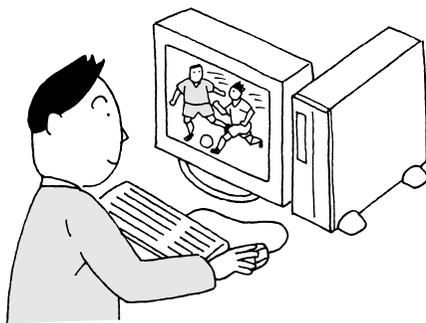
テレビの映像を 動画のままパソコン に取り込もう

テレビの映像をビデオに録画するような感じで、動画のままパソコンに取り込むことができます。ただし、動画を取り込むときは、ハードディスクを大量に使用するので、数分間以上、連続した映像を取り込むことはおすすめできません。

動画を取り込むとは

動画を取り込むとは、一般のビデオ機器でテレビ番組を録画するのと同じ機能です。ビデオテープに録画する代わりにパソコンのハードディスクに記録します。

動画をハードディスクに記録するには、たいへん大きなハードディスク容量を必要とします。記録した動画でハードディスクがいっぱいになる前に、圧縮して保存したり、こまめに不要な動画ファイルを削除するようにしましょう。



✓チェック!!

あなたがテレビ放送や録画物などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

不要なファイルを捨てるには、「パソコン大学一年生 for Windows98」-「第2章 ファイルを整理しよう」の「第5節 ファイルやフォルダの削除」で勉強できます。

📖参照

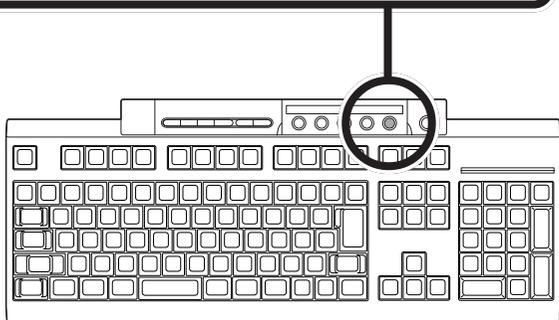
パソコン大学の使い方 『練習! パソコンの基本』PART7の「パソコン大学一年生で学ぶ」

ビットキャストブラウザを起動する

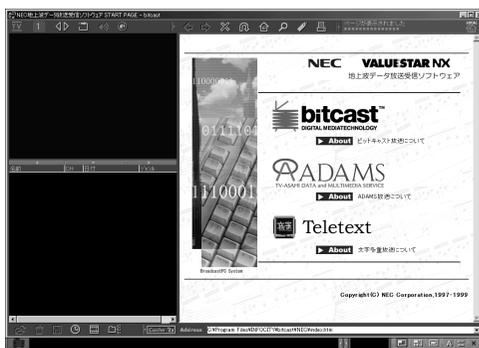
動画をキャプチャするには、ビットキャストブラウザを使います。ここでは、詳細モードを例にして説明します。

1

キーボードの【ビットキャストブラウザ】ボタンを押す



ビットキャスト
ブラウザの画面
が表示される



✓チェック!!

ビットキャストブラウザを起動する前に、アンテナ線の接続、LINEケーブルの接続、チャンネルの設定が完了している必要があります。

📖参照

アンテナ線の接続、LINEケーブルの接続 PART 1の「テレビを見る準備をする」(p.2)
チャンネルの設定 PART1の「受信チャンネルの設定をしよう」(p.10)

ランチ-NX から起動する

「ビットキャストブラウザ」は「ランチ-NX」の「マルチメディア」の「ビットキャストブラウザ」をクリックして起動することもできます。

外部ビデオ機器から映像を取り込む外部ビデオ機器から映像を取り込む場合は、外部ビデオ機器の接続(p.81)をした後、 入力切り替えボタンをクリックして、チャンネル表示パネルを **VIDEO 1** にしてください(p.16)。

「VideoStudio」でもテレビの映像をキャプチャできます。

📖参照

このPARTの「VideoStudioでTVの映像をキャプチャしたい」(p.97)

キャプチャ設定ダイアログを表示させる

1 (切り替えボタン)をクリックする



コントロールバーのボタンの表示が変わる

2 (キャプチャオプションボタン)をクリックする



キャプチャ設定
ダイアログが表示される



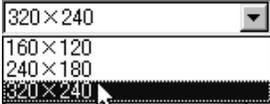
動画の取り込み方を決める

動画を取り込むときは、画像のサイズや、音声の取り込み方などを設定する必要があります。動画の取り込みの設定は、自由に設定できる「USER」用とメール添付に適した「MAIL」用があります。コントロールバーの動画キャプチャ設定ボタン（USER用  か MAIL用  のどちらかが表示されています）で切り替えることができます。

ここでは、「USER」用として「320×240」ドットの画像、「44kHz-16bit」のステレオ音声、圧縮方式を「Intel Indeo(R) Video R3.2」という設定で、30秒間の画像をキャプチャしてみます。

画像サイズと音声の設定をする

1 「320×240」になっていることを確認する
「320×240」になっていない場合は、 をクリックして、「320×240」を選んでください。



キャプチャ設定

動画 | メール用動画 | 静止画

フレームレート  フレーム/秒

画像サイズ  320×240

音声も取りこむ

44kHz - 16bit

ステレオ/モノラル ステレオ モノラル

保存場所 参照

キャプチャ時間を指定する

保存時間 秒

自動保存

圧縮設定

OK キャンセル

2 「音声も取りこむ」が になっていることを確認する
 になっている場合は、クリックして にしてください。

購入時の「USER」用設定では、
フレームレート：30フレーム/秒
画像サイズ：320×240ドット
レート：44kHz-16bit
ステレオ/モノラル：ステレオ
圧縮設定：無圧縮

となっています。この状態で動画をキャプチャする場合、必要なハードディスク容量の目安は、1分間あたり約290Mバイトです。画像サイズやレートを変更すると、必要なハードディスク容量を小さくできます。

用語

フレーム

動画は、何枚もの静止画を連続再生したものです。微妙に変化していく1枚1枚の静止画を何枚も集めて連続再生し、動画に見えます。この1枚1枚の静止画のことをフレームと呼びます。

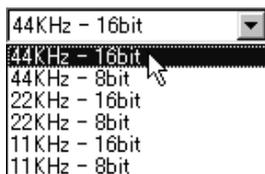
フレームレートは多いほど動画として自然でなめらかなものになります。およそ1秒間あたりに30フレームの画像を使って動画にすると、ふだんテレビ番組を見ているのと同じようななめらかな動画となります（本機では、フレームレートは30に固定されています）。

動画として取り込むことができる画像サイズは「160×120」「240×180」「320×240」ドットの3種類です。

3

「44kHz-16bit」になっていることを確認する

「44kHz-16bit」になっていない場合は、▼をクリックして、「44kHz-16bit」を選んでください。



4

「ステレオ」が☑になっていることを確認する

☐になっている場合は、クリックして☑にしてください。

動画キャプチャの制限

動画のキャプチャ中に以下のような状態になると、動画キャプチャは自動的に終了されます。

- ・ 動画保存時に使用しているAVI形式の、ファイルサイズおよびフレーム数の制限値を超えたとき
- ・ AVI形式での動画キャプチャの制限値は、次のとおりです。
ファイルサイズ: 4Gバイト未満
フレーム数: 324,000フレーム
- ・ ハードディスクの残り容量が、40Mバイトより少なくなったとき

「レート」では、音声の圧縮とレートの組み合わせを設定します。

音声の圧縮は、8bitまたは16bitを選ぶことができます。16bitの方が高音質で取り込むことができます。音声のレートは、11kHz、22kHz、44kHzの中から選ぶことができます。目安として、11kHzは電話の話し声レベル、22kHzはラジオのレベル、44kHzは音楽CDのレベルと考えるとよいでしょう。

✓チェック!!

- ・ 画像サイズを大きくしたり、高音質になるように設定したりすると、取り込みに必要なハードディスクの容量も増えます。
- ・ 動画のサイズを小さくするには、画面サイズを小さく(160×120)して音声をモノラル、8bitにしてください。

用語

AVI(エーブアイ)

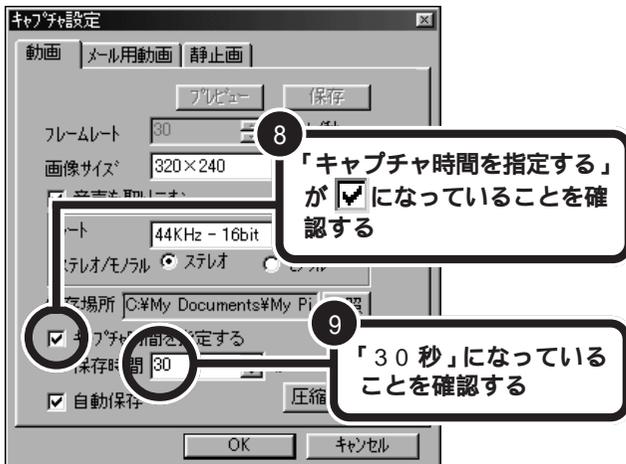
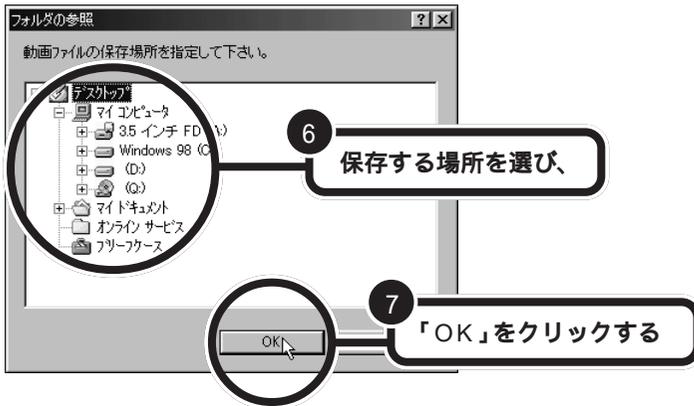
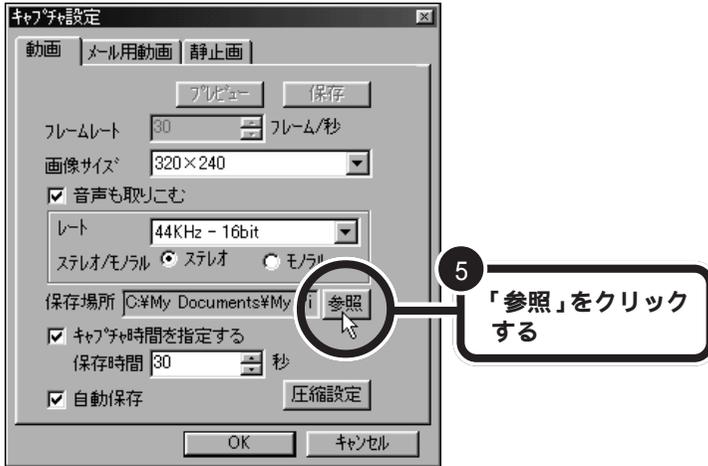
Windowsで一般的に使われる動画のファイル形式のひとつ。英語のAudio Video Interleavingの略。

✓チェック!!

ビットキャストブラウザは動画キャプチャをする際に、この制限値に収まるように、自動的にキャプチャ時間を計算しますが、キャプチャした時間に比べて、ファイルサイズが小さく見えることがあります。これは、CPUの負荷によって映像を取得できないフレームが発生することがあり、このフレーム分の映像データが、ファイルに記憶されないためです。したがって、ビットキャストブラウザでのファイルサイズの制限値は、この分を差し引いた、3.5Gバイト前後となります。

動画ファイルを保存する場所を変更する

動画ファイルを保存する場所を変更するには、次の手順を行ってください。保存する場所を変更しない場合は、手順5～7は不要です。手順8に進んでください。



✓チェック!!

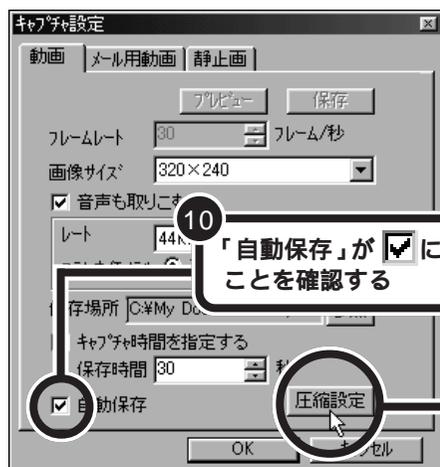
ご購入時の動画ファイルの保存場所はCドライブの「My Documents」の「My Pictures」フォルダに設定されています。特に変更の必要がなければ、そのままの設定でお使いください。

自動保存を すると自動的にファイルが指定され連続して画像を取り込むことができます。ファイル名はキャプチャを終了したときの年月日時分秒を表す名前になります。

例:

1999年10月7日 17時35分23秒

1999_1007_1735_23



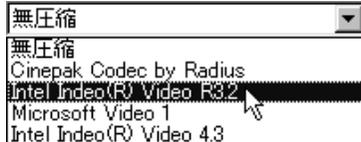
10 「自動保存」が☑になっていることを確認する

11 「圧縮設定」をクリックする

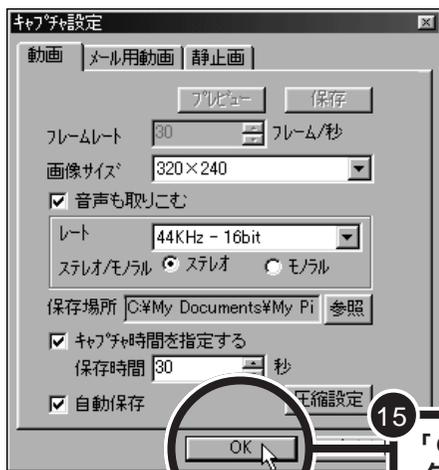


12 ▼をクリックして、

13 「Intel Indeo(R) Video R3.2」を選択する



14 「OK」をクリックする



15 「OK」をクリックする

「Intel Indeo(R) Video R3.2」は圧縮効率が高いので、ファイルサイズを小さくすることができます。

✓チェック!!

- ・キャプチャしただけのファイルでは、ファイルサイズが大きくなり、ハードディスクの容量が少なくなってしまう。ファイルを別のドライブに移動するか、圧縮設定をしてファイルを保存してください。
- ・圧縮設定で、無圧縮以外を選択すると、ファイルサイズは小さくなりますが、画質が劣化する場合があります。圧縮率、画質の劣化の度合いは、圧縮方式によって異なります。

動画を取り込む

1

動画キャプチャ設定ボタンが  (USER) になっているか確認する

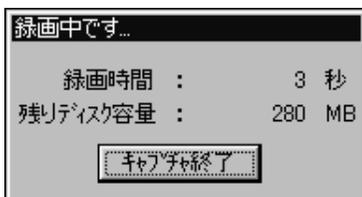


2

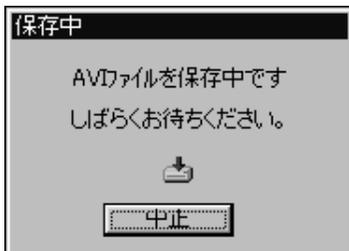
 (動画キャプチャボタン) をクリックする



取り込みが始まると、録画ステータスパネルが表示される



保存時間経過後、または「キャプチャ終了」ボタンをクリックすると保存ステータスパネルが表示され、ファイルが自動的に保存されます。



 (MAIL) が表示されているときは、この部分をクリックすると  (USER) に変わります。

✓チェック!

キャプチャを保存時間経過前に終了させたいときは、「キャプチャ終了」ボタンをクリックしてください。「キャプチャ時間を指定する」が選択されていない場合、「キャプチャ終了」ボタンをクリックして取り込みを終了させてください。

📖参照

動画キャプチャの制限 このPARTの「動画キャプチャの制限」(p.69)

キーボードのワンタッチスタートボタンに「動画キャプチャボタン」を割り当てることもできます。「ワンタッチスタートボタンの設定」の「ボタン設定」タブで、「コマンドリストから選択」をクリックして表示される機能リストの中から、「動画(bitcast).exe」をボタンに割り当ててください。ボタンの割り当て方について詳しくは、「ワンタッチスタートボタンの設定」のヘルプをご覧ください。

取り込んだ動画をファイル名を指定して保存する

自動保存が選択されていない場合、動画の取り込みが終了すると、「キャプチャ設定」ウィンドウに戻ります。保存するファイル名を指定したいときは、ここで指定します。

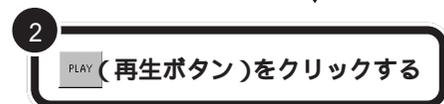
動画を確認する



プレビューの必要がなければ、そのまま保存しても構いません。p.74の「動画を保存する」に進んでください。

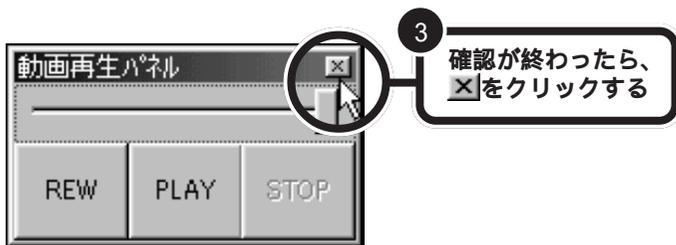
✓チェック!!

後日、キャプチャした映像を再生する場合は、エクスプローラで録画ファイルのあるフォルダを開き、そのファイルをダブルクリックします。「Windows Media Player」が起動し、録画ファイルが再生されます。



テレビ映像が表示されていた位置に動画が表示される



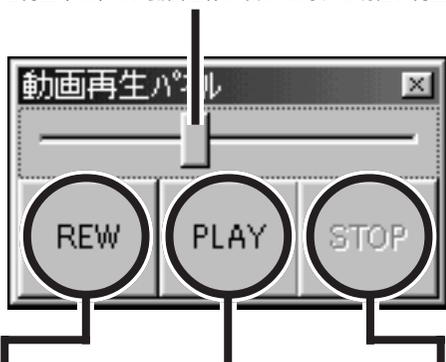


動画再生パネルが閉じられ、「キャプチャ設定」ウィンドウに戻ります。

動画再生パネルについて

スライダー

動画を再生中に、その動画全体の長さに対する現在の再生位置を示します。



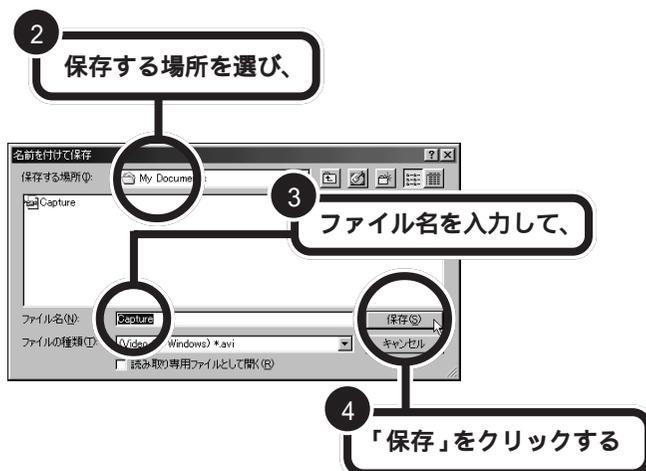
巻き戻しボタン
動画の頭に戻ります。

再生ボタン
クリックすると、動画が再生されます。

停止ボタン
動画を再生中にクリックすると、再生を停止します。

動画を保存する





動画が指定されたファイル名で保存されます。キャプチャした動画は、保存しなくても再生することができますが、次にキャプチャを行った場合や、ビットキャストブラウザを終了した場合は、データは消去されます。

ここでのファイル名は、録画ファイルとは違う名前に入力してください。

✓チェック!!

動画を保存するときは、かなり時間がかかることもあります。

取り込んだ動画を確認する

取り込んだ動画を確認するには、ThumbsStudioを使うと便利です。ThumbsStudioは、取り込んだ動画ファイルのサムネイル(画像を一覧表示したもの)を見ることができます。

保存場所をご購入時の設定から変更していないときは、画像ファイルは、「My Documents」の「My Pictures」フォルダに登録されています。「My Pictures」フォルダを選択すると、取り込んだ画像ファイルを見ることができます。



✓チェック!!

動画ファイル(AVIファイル、MPGファイル)を一覧表示したときは、動画ファイルの先頭フレーム(一番最初の画面)を静止画として表示します。ただし、動画の再生に必要なドライバがない場合は、アイコンで表示されます。

📖 参照

画像の一覧を見るには このPARTの「取り込んだ画像の一覧を見る」(p.93)

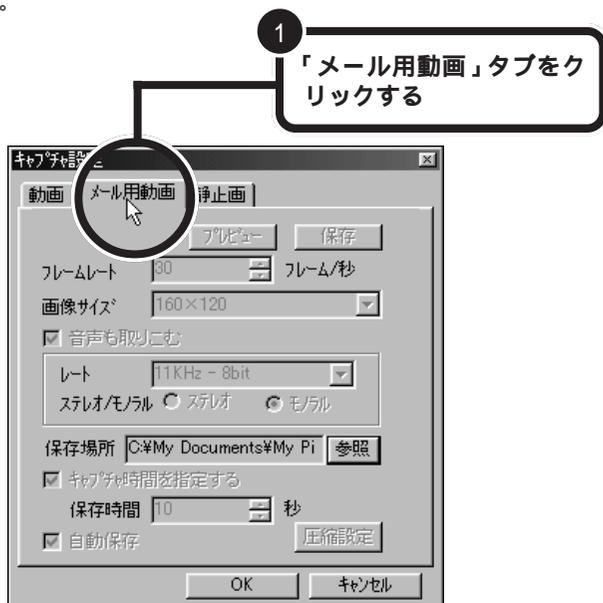
メール用動画の取り込み方を決める

動画を取り込む設定には、自由に設定できる「USER」用とメールに適した「MAIL」用があります。

ここでは「MAIL」用として動画をキャプチャしてみます。

「メール用動画」設定

キャプチャ設定ダイアログの「メール用動画」タブをクリックすると、メール用のキャプチャ設定になります。メール用は、画像ファイルが大きくなるような設定になります。キャプチャ設定でも保存場所以外は変更できません。



メール用の設定では、次のような設定で動画を取り込みます。

- ・フレームレート: 30 フレーム / 秒
- ・画像サイズ: 160 × 120 ドット
- ・音声: 11kHz-8bit、モノラル
- ・保存時間: 10 秒
- ・圧縮形式: Intel Indeo(R) Video R3.2
- ・自動保存
- ・保存ファイル名: キャプチャ保存時の年月日時分秒
例: 1999年10月7日17時35分23秒

1999_1007_1735_23

メール用の設定では、画像ファイルの大きさが700 Kバイト程度になるので、メール添付に適しています。

参照

キャプチャ設定ダイアログを表示させる このPARTの「キャプチャ設定ダイアログを表示させる」(p.67)

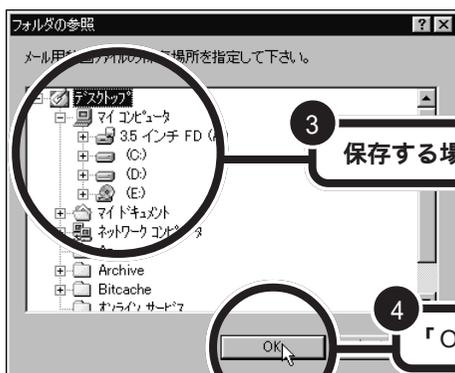
動画ファイルの保存場所を変更する場合は、「ThumbsStudio」のお気に入りに登録すると、あとで確認したり、メールに添付するのに便利です。

メール用動画ファイルを保存する場所を変更する

メール用ファイルを保存する場所を変更するには、次の手順で行ってください。保存する場所を変更しないときは、この手順は必要ありません。次の「メール用動画を取り込む」に進んでください。

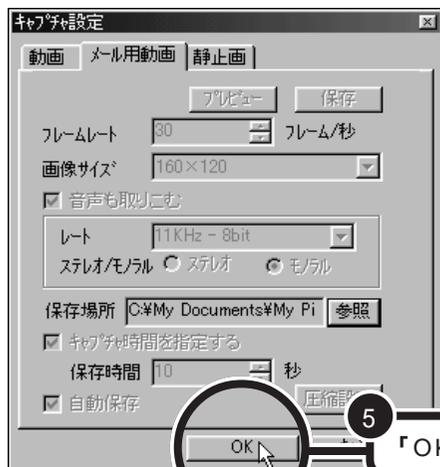


2 「参照」をクリックする



3 保存する場所を選び、

4 「OK」をクリックする



5 「OK」をクリックする

✓チェック!!

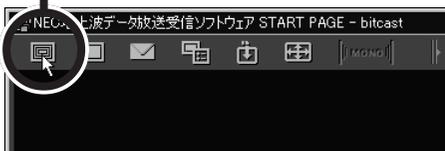
ご購入時の動画ファイルの保存場所は、Cドライブの「My Documents」の「My Pictures」フォルダに設定されています。特に変更の必要がなければ、そのままの設定でお使いください。

メール用動画を取り込む

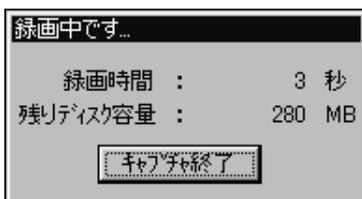
- 1 動画キャプチャ設定ボタンが  (MAIL) になっているか確認する



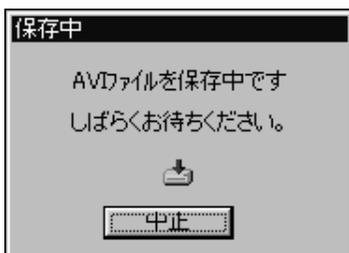
- 2  (動画キャプチャボタン) をクリックする



取り込みが始まると、録画ステータスパネルが表示される



10 秒経過後、または「キャプチャ終了」ボタンをクリックすると保存ステータスパネルが表示され、ファイルが自動的に保存されます。



 (USER) が表示されているときは、この部分をクリックすると  (MAIL) に変わります。

チェック!!

キャプチャを保存時間(10秒)経過前に終了させたいときは、「キャプチャ終了」ボタンをクリックしてください。

参照

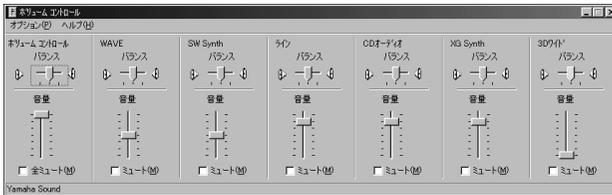
動画キャプチャの制限 このPARTの「動画キャプチャの制限」(p.69)

キーボードのワンタッチスタートボタンに「動画キャプチャボタン」を割り当てることもできます。「ワンタッチスタートボタンの設定」の「ボタン設定」タブで、「コマンドリストから選択」をクリックして表示される機能リストの中から、「動画(bitcast).exe」をボタンに割り当ててください。ボタンの割り当て方については、「ワンタッチスタートボタンの設定」のヘルプをご覧ください。

こんなときは

動画を取り込むときに音声と一緒に取り込めなかった場合には、次の手順に従って「ボリュームコントロール」の設定を行ってください。

- 1 Windows の「スタート」メニューから「プログラム」「アクセサリ」「エンターテイメント」「ボリュームコントロール」の順にクリックする。
「ボリュームコントロール」ウィンドウが表示されます。



- 2 「オプション」メニューの「プロパティ」をクリックする。
「プロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 3 「プロパティ」ウィンドウの「音量の調整」欄の「録音」をクリックし、「表示するコントロール」から「ライン」に を付け、「OK」ボタンをクリックする。



チェック!!

音声を取り込むためには、LINE ケーブルで、本体背面の LINE IN 端子と、地上波TV&データボードの音声出力端子を接続しておく必要があります。

参照

LINE ケーブルの接続 PART 1 の「テレビを見る準備をする」(p.2)

チェック!!

音声を取り込むためには、LINE ケーブルがラインに接続されている必要があります。

- 4 「レコーディングコントロール」ウィンドウが表示されたら、「ライン」の「選択」のをクリックし、にする。



- 5 「ライン」の欄の「音量」のつまみを上下にドラッグして録音レベルを調整する。
- 6 設定が終了したら、をクリックして「レコーディングコントロール」ウィンドウを閉じる。
- 7 「動画の取り込み方を決める」(p.68)の手順に従って、キャプチャ設定のレートとステレオ/モノラルを設定する。
- 8 キャプチャ設定ダイアログの「OK」をクリックする。

チェック!!

通常はビットキャストローダー起動時に、自動的に「ライン」に設定されます。音声を取り込めない場合は「ライン」のボリュームが最小になっている可能性があります。

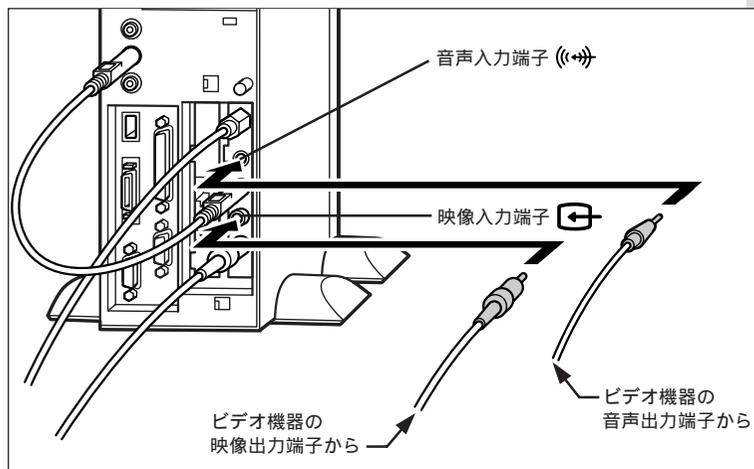
外部ビデオ機器から 映像を取り込もう

VideoStudio

お手持ちのビデオデッキやビデオカメラの映像を、このパソコンに取り込むことができます。添付ソフトの「VideoStudio」を使えば、映像の取り込みからビデオの編集まで、スムーズに行うことができます。

本体に外部ビデオ機器を接続する

このパソコンにビデオデッキやビデオカメラなどを接続すると、テレビ放送と同じように、外部ビデオ機器からの映像を取り込むことができます。



ビデオケーブルは電器店などでお買い求めください。

✓チェック!!

音声入力端子にビデオなどを接続した場合に、ビットキャストローダーが起動していない状態では、スピーカから音声が出力されることがあります。この場合はビデオなどの電源を切るか、音声入力端子から外してください。

Video Wizard を起動する

1 「スタート」をクリックする

2 「プログラム」をポイントして、

3 「Ulead VideoStudio 3.0 DV SE」
をポイントして、

4 「Ulead Video Wizard」を
クリックする

↓
Video Wizard が
表示される



ここでは、Video Wizardを使ってビデオの取り込み(キャプチャ)する方法について説明しています。

情報 をクリックすると、ヘルプが表示されます。

映像を取り込む



1 「プロジェクト名」を入力する

2 外部ビデオ機器で映像の再生を始める

3 「ビデオ取り込み」をクリックする



4 「開始」をクリックする



5 「停止」をクリックする

キャプチャしたビデオは次のような形式で保存されます。

ファイル形式：AVI
 画像サイズ：320 × 240
 フレームレート：29.97fps
 圧縮形式：未圧縮
 音声：PCM、11.025KHz、8ビット、モノラル

「参照」をクリックして、保存したいフォルダを変更できます。通常は、Cドライブの「My Documents」の「My Pictures」フォルダに保存されます。

テレビの映像をキャプチャすることもできます。

 参照

テレビ映像をキャプチャするにはこのPARTの「VideoStudioでTVの映像をキャプチャしたい」(p.97)

ビデオの取り込み(キャプチャ)が始まります。キャプチャ時間がカウントされ、映像画面の右下に表示されます。

キャプチャした映像は、後で短くできる(トリミング加工)ので、数秒長めにキャプチャするとよいでしょう。

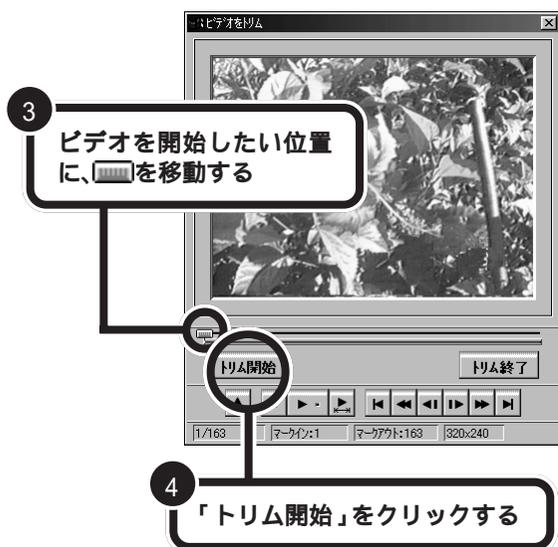
ビデオの取り込みが終了します。

ビデオの取り込みは、何度も繰り返して行えるので、必要な部分だけを取り込むことができます。

取り込んだ映像を編集する

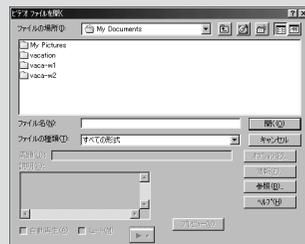


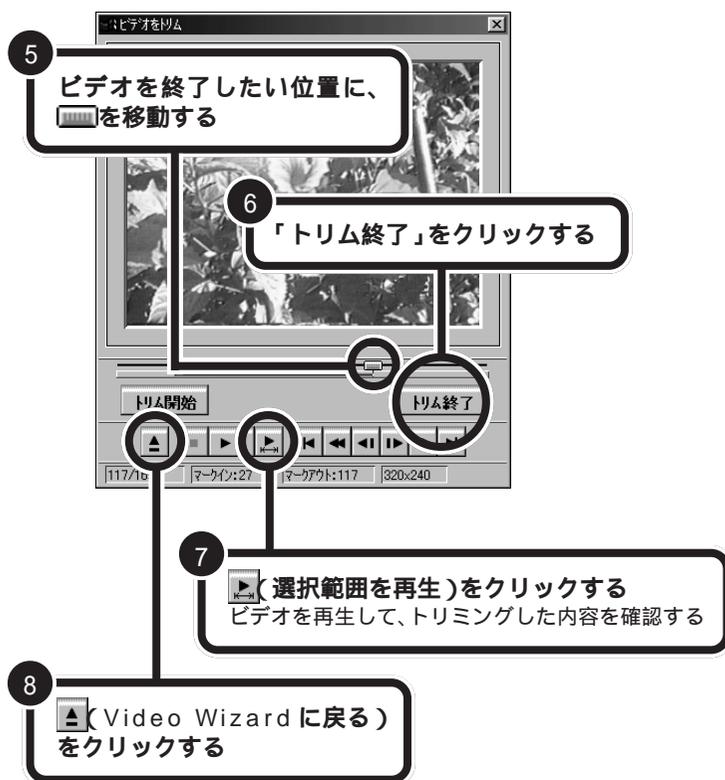
「ビデオをトリム」の画面が表示される



「削除」をクリックすると、使用しないビデオを削除できます。

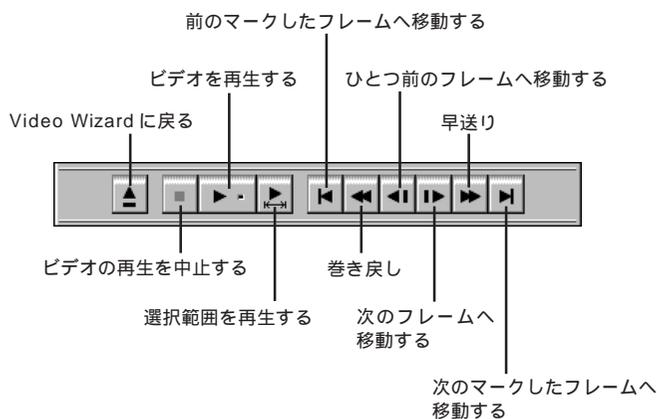
「ビデオを追加」をクリックすると、「ビデオファイルを開く」ウィンドウが表示され、パソコンに保存してある映像ファイルを追加できます。



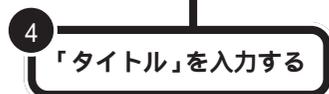


トリミングを行います。使用したいビデオの開始位置と終了位置を正確に設定できます。

再生ボタンについて

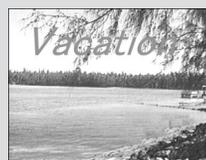
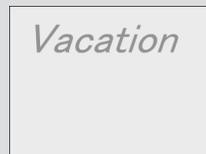


映像にタイトルや効果を入れる



「トランジション効果」は、映像と映像の間の場面転換をどのように見せるか設定できます。

「ブラインド」の例



参照

VideoStudio の「効果」についてこのPARTの「VideoStudioでできるいろいろな編集」(p.90)

タイトル文字のフォントや色、背景色を変更することもできます。

左の画面は設定例です。

編集した映像を再生する

1 作成 をクリックする



2 「ビデオファイルの作成」をクリックする

ファイル作成の進行状況が表示される



ファイル作成が終了すると、自動的に「再生」の画面が表示される



3 (再生) をクリックする

AVI ファイルを自動生成します。映像のサイズによっては、しばらく時間がかかります。

再生してみて、修正したい場合は、「アレンジ」や「効果」のステップに戻って作り直すことができます。

保存形式を変更したり、さらに細かい編集をしたい場合は、「作成」に戻って「VideoStudio で開く」をクリックします。

別の形式で保存する

作成したビデオファイルをHTMLファイルとしてWebにのせたり、電子メールに添付することができます。



1 「VideoStudioで開く」をクリックする

「Video Wizard」が終了して、「VideoStudio」が起動する



2 「完了」をクリックする



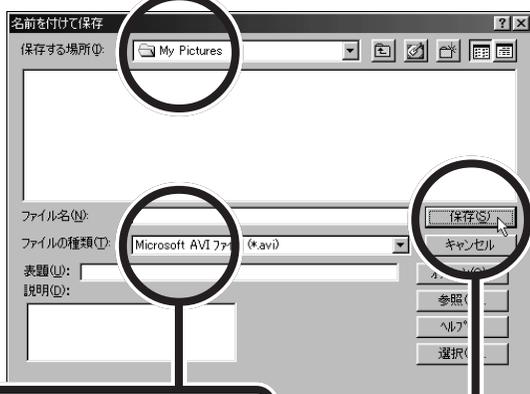
✓チェック!!

「VideoStudio」を起動すると、「Video Wizard」には戻れません。以降の編集は、VideoStudioで行います。

3  (ムービーを作成) をクリックする



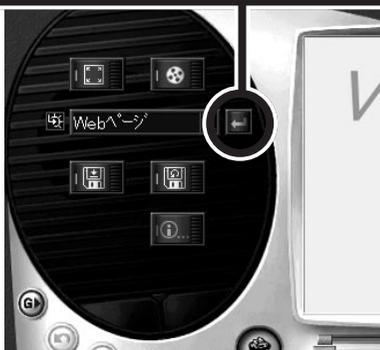
4 保存する場所を選び、



5 「ファイル名」を指定して、

6 「保存」をクリックする

7  (ビデオクリップをエクスポート) をクリックする



Web ページが表示されます。

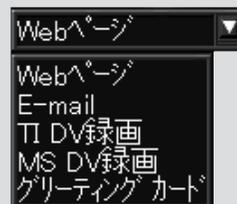
「表題」や「説明」の欄に、タイトルやコメントを入力できます。

通常、AVI ファイル形式で保存します。

 参照

AVI ファイルについて この PART の「動画キャプチャの制限」(p.69)

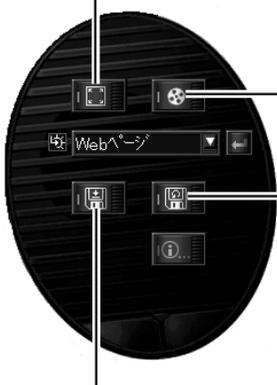
出来上がったビデオをホームページで見られる形式に保存できます。他に、E-Mail やグリーティングカードなどがあります。



完了ステップについて

「全画面で再生」ボタン

作成したビデオの再生を全画面で表示します。



「プロジェクトを保存」ボタン

「ムービーを作成」ボタン

ファイル形式を選択して保存できます。
保存できるファイル形式は、AVI、ASF、FLC、FLI、FLX、MOV、QT、MPG、MJPEG、MPV、DAT、RIM、UIS です。

「新規プロジェクトとして保存」ボタン

作成したビデオを「開始」ステップで指定したプロジェクト名とは別の名前前で保存します。

VideoStudio でできるいろいろな編集

ここでは、「VideoStudio」の機能について紹介します。

画面上部に表示されているステップ(開始 キャプチャ ストーリーボード 効果 タイトル ボイス ミュージック 完了)の順に、作業を進めていきます。



「グローバルコマンド」ボタン

VideoStudio では、ステップごとにヘルプを表示します。作業内容をヘルプで確認しながら、作業を進めてください。

📖 参照

VideoStudio の詳しい使い方
VideoStudio のオンラインヘルプ

🔍 (グローバルコマンドボタン) をクリックすると、次のようなメニュー画面を表示します。

プロジェクトのプロパティ...
環境設定... F6
再リンク
テンプレート マネージャ...
プレビュー ファイル マネージャ...
デバイスコントロールの選択...
キャプチャプラグインの切り換え...
● Rockwell Capture
Ulead VideoStudio 3.0のヘルプ... F1
Uleadのホームページ
Uleadの製品情報
Ulead VideoStudio 3.0について
終了

効果

画像と画像の間の場面転換効果を設定します。ライブラリから、100種類以上の効果を確認しながら、選べます。

「効果」の種類は、ライブラリに表示されています。どのような場面転換をするか一目で確認できます。

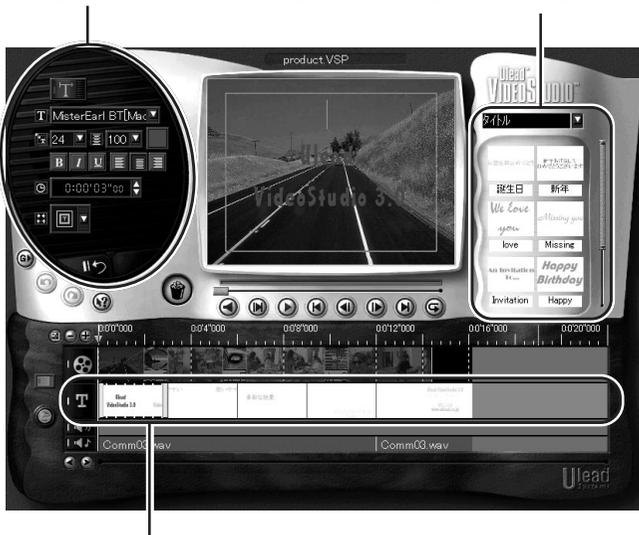


タイトル

画像に文字を入力します。タイトルだけでなく、画像のコメントを入れることもできます。プレビューウィンドウに直接文字を入力できます。

「タイトル」に使用する文字の書体、大きさ、位置、表示する時間などを設定します。

「タイトル」のサンプルが表示されています。



「タイトル」が映像のどこに配置されているのかを示します。

ボイス

マイクを使って音声を入力します。編集したビデオファイルを再生しながらリアルタイムに録音できます。また、音声ファイルを取り込むこともできます。

音声の入力を行います。

音声ファイルを一覧できます。



音声映像のどこに配置されているかを示します。

ミュージック

BGMを録音します。音楽CDを自動的に認識してオプションパネルに表示される一覧から選曲して録音できます。

音声CDの再生、録音を行います。

音声ファイルを一覧できます。



ミュージックが映像のどこに配置されているかを示します。

取り込んだ画像を 使ってみよう

ThumbsStudio

今度は、せっかく取り込んだ静止画や動画を活用してみましょ。旅行先でビデオに撮影した映像を、メールで友人に送るのも簡単です。

取り込んだ画像の一覧を見る

ビットキャストブラウザなどで取り込んだ画像ファイルが多くなってきたら、その中から見たいファイルを探すのもひと苦労になってきます。ThumbsStudioを使って動画や静止画のサムネイル(画像を縮小して一覧表示したもの)を見ることができます。

ここでは、例として「My Documents」の「My Pictures」に保存している画像を一覧表示し、その中の一つのファイルを開いてみます。

1

マイピクチャーをクリックする



ThumbsStudio
が起動する



チェック!!

あなたがテレビ放送や録画物などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

参照

ThumbsStudio について詳しくは「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-「添付ソフトの使い方」-「ThumbsStudio」

2

画像ファイルが入っているフォルダをクリックする



画像の一覧が表示される

3

一覧の中から見たい画像をダブルクリックする



画像ファイルが開く



✓チェック!!

動画ファイル(AVIファイル、MPGファイル)を一覧表示したときは、動画の先頭フレーム(一番最初の画面)を静止画として表示します。ただし、動画の再生に必要なドライバがパソコンにない場合は、アイコンで表示されます。

取り込んだ画像をメールに添付して送る

ThumbsStudioで一覧表示した画像の中から、送りたい画像ファイルを選んでメールに添付することができます。



ファイルが添付されたメールに、送りたい相手のアドレスや本文を入力してメールを送信してください。

詳しくは、『たのしもう! インターネット』をご覧ください。

✓チェック!!

メールを送信するためには、プロバイダと契約し、Outlook Expressでメールを送信できるよう準備しておく必要があります。

📖参照

Outlook Express について 『たのしもう! インターネット』の「PART4 電子メールを使おう」

✓チェック!!

- 動画を送信する場合は、電子メールに添付した後のファイルサイズの上限を、1 M バイトを目安としてください。1 M バイトを超えるようなファイルを添付して送ると、送信する側も受信する側も、大変な時間と電話料金がかかってしまいます(回線の状態にもよりますが、1 M バイトのデータを送受信すると、56Kbpsの通信速度で数分から十数分かかります)。また、プロバイダによって扱える電子メールのファイルサイズの上限は違いますので、注意してください。

- 動画のサイズを小さくするには、動画キャプチャ設定ボタンで (MAIL) を表示させ、動画を取り込んでください。

📖参照

MAIL 用動画について この PART の「メール用動画の取り込み方を決める」(p.76)

動画や静止画をうまく取り込めないときには

動画や静止画をキャプチャしようとして問題が起きたときは、ここをご覧ください。

キャプチャできない

☹️➡️😊 ハードディスクの空き容量が不足していませんか？
ハードディスクの空き容量を確認してください。
ハードディスクに、キャプチャした画像を記録するのに十分な空き容量がないと、キャプチャできないことがあります。

☹️➡️😊 本体と外部ビデオ機器は正しく接続されていますか？
外部ビデオ機器からの映像をキャプチャしたい場合は、本体と外部ビデオ機器を正しく接続してください。

☹️➡️😊 テレビ入力になっていませんか？
(VideoStudio、Video Wizard の場合)
「VideoStudio」のビデオクロスバーの設定がテレビ入力になっていると、外部ビデオ機器からの映像をキャプチャできません。ビデオクロスバーの設定を確認してください。

☹️➡️😊 キャプチャする映像が画面に表示されていますか？
(ビットキャストブラウザの場合)
外部ビデオ機器からの映像をキャプチャしたい場合は、「ビットキャストブラウザ」の外部入力切替ボタンでビデオ入力にしてください。外部ビデオ機器が接続されていても、画面にテレビ映像が表示されているとテレビ映像がキャプチャされてしまいます。

動画キャプチャでTVやVTRの音声はキャプチャされない

「ボリュームコントロール」の録音するデバイスが「ライン」になっていないか、LINE ケーブルの接続が正しくありません。「こんなときは」(p.79)をご覧ください。

📖 参照

動画キャプチャの制限 この PART の「動画キャプチャの制限」(p.69)

📖 参照

この PART の「外部ビデオ機器を接続する」(p.81)

📖 参照

この PART の「VideoStudioでTVの映像をキャプチャしたい」(p.97)

📖 参照

PART1 の「外部ビデオ入力に切り替える」(p.16)

取り込んだ動画の画質が悪い

☹️ ➡️ 😊 キャプチャするときの設定を変更してください。

- ・「ビットキャストブラウザ」の場合
キャプチャ設定の「圧縮設定」を「無圧縮」にしてください。
「圧縮設定」が、「無圧縮」以外に設定されていると、画質が劣化する場合があります。画質の劣化の度合いは圧縮方式によって異なります。
「無圧縮」にしても画質が悪い場合は、キャプチャ設定をご購入時の設定に戻してください。ご購入時以外の設定になっている場合、ご使用の環境などにより、正常に動画がキャプチャされない場合があります。
- ・「VideoStudio」の場合
ビデオ保存オプションの「圧縮」を「なし」にしてください。
「ビデオ保存オプション」ウィンドウは、完了ステップで「ムービーを作成」ボタン(p.90)をクリックした後、ファイルを保存する前に「オプション」ボタンをクリックすると表示されます。「圧縮」が「なし」以外に設定されていると、画質が劣化する場合があります。画質の劣化の度合いは圧縮方式によって異なります。

📖 参照

ビットキャストブラウザでの圧縮方式の選択 このPARTの「動画の取り込み方を決める」(p.68)

📖 参照

ご購入時のキャプチャ設定 このPARTの「動画の取り込み方を決める」(p.68)

VideoStudioでTVの映像をキャプチャしたい

VideoStudioでTVの映像をキャプチャする場合は、次の手順で設定を変更してください。

- 1 「VideoStudio」を起動する。
(「アクティブメニュー-NX」の「アプリケーション」「マルチメディア」「VideoStudio」または「スタート」「プログラム」「Ulead VideoStudio 3.0 DV SE」「Ulead VideoStudio 3.0 DV SE」)
- 2 既存のプロジェクトを開くか、新しいプロジェクトを作成する。
- 3 「キャプチャ」をクリックする。
- 4 ビデオメニューボタンをクリックする。
メニューが表示されます。



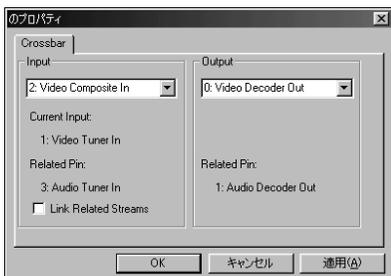
- 5 「ビデオのプロパティ」をクリックする。
「キャプチャのプロパティ」ウィンドウが表示されます。



- 6 「プロパティのタイプ」から「ビデオクロスバー」を選択する。

- 7 「プロパティ」をクリックする。

「Crossbar」が表示されます。



- 8 「Input」から「1.Video Tuner In」を選択する。

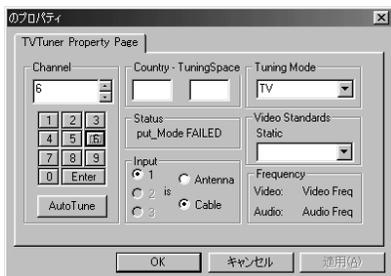
- 9 「OK」をクリックする。

「キャプチャのプロパティ」ウィンドウに戻ります。

- 10 「キャプチャのプロパティ」ウィンドウで、「プロパティのタイプ」から「TVチューナー」を選択する。

- 11 「プロパティ」をクリックする。

「TVTuner Property Page」が表示されます。「Channel」には、現在、設定されているチャンネル番号が表示されています。



- 12 「Channel」でキャプチャするチャンネル番号を選択する。

- 13 「OK」をクリックする。

- 14 「キャプチャのプロパティ」ウィンドウで、「OK」をクリックする。

「VideoStudio」のウィンドウに戻ります。

外部ビデオ機器からキャプチャするときは、「Input」の設定を「1.Video Composite In」に戻します。

「Video Wizard」でキャプチャする場合は、「VideoStudio」をいったん終了させてから、「Video Wizard」を起動してください。

P A R T

3

その他の TV モデルの機能

このPARTは、PART 1とPART 2で紹介した以外の、TVモデルの機能について説明しています。他のマニュアルから、TVモデル用にこのマニュアルを参照している場合は、こちらの内容をご覧ください。

タイマー機能 Timer-NX

好きな時刻に指定したソフトを立ち上げることができるので、お気に入りのCDのモーニングコールでお目覚め、のような使い方もできます。

概要

タイマー機能は「Timer-NX」で設定します。「Timer-NX」を使うと、指定した時刻に本機の電源を入れたり、切ったりできます。また、FAXが送られてきたときに、本機がスタンバイ状態の場合、自動的に復帰して、FAXを受信したりできます。

本機をACPIモードに変更して使われる方は、「Timer-NX」での電源のON/OFFはできません。詳しくは、このPARTの「電源管理モードについて」をご覧ください。

「Timer-NX」には次の機能があります。

- ・タイマー機能
指定した時刻に電源を入れ(またはスタンバイ状態から復帰)指定したアプリケーションを起動することができます。
- ・リング機能
リングとは、電話やFAXが送信されてきたときの呼び出し音のことです。リング機能を設定すると、スタンバイ状態で電話やFAXを受信したときに、自動的に復帰して、指定したアプリケーションを起動することができます。
- ・オフタイマー機能
タイマー機能およびリング機能は、終了時刻を指定すると、自動的に本機の電源を切る(またはスタンバイ状態に戻す)ことができます。



参照

電源管理モードについて このPARTの「電源管理モードについて」(p.123)



チェック!!

Timer-NXは、パソコン内蔵の時計と連動して動作します。Timer-NXを使用する前に、パソコンの日付と時刻が正しいかどうかを確認してください。時刻は、タスクバー右下に表示されています。日付は、「時刻」にマウスポインタを重ねると確認できます。



参照

日付と時刻の変更 「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「トラブル解決Q&A」-「よくある質問」-「日付と時刻を合わせたい」

Timer-NX を起動する

Timer-NX を起動する

Timer-NX の起動方法は次の通りです。

- 1 「アクティブメニュー NX」の「アプリケーション」をクリックする。
- 2 「ランチ-NX」の「ユーティリティ」をクリックする。



- 3 「Timer-NX」をクリックする。
「Timer-NX」ウィンドウが表示されます。



Timer-NX を終了する

Timer-NX を終了するには、2 通りの方法があります。

- ・ タイマーを設定して終了
タイマーの設定をした後に、「Timer-NX」ウィンドウで「OK」をクリックすると、タイマーが設定されて、Timer-NX が終了します。
- ・ タイマーを設定しないで終了
「Timer-NX」ウィンドウで「キャンセル」をクリックすると、タイマーが設定されずに、Timer-NX が終了します。

タイマー機能を使う

指定した時刻に、パソコンの電源を入れたり、指定したアプリケーションを起動したりします。

タイマー機能は、「タイマプログラム」で設定します。

タイマプログラムを設定する

タイマプログラムは「Timer-NX」ウィンドウで設定します。各項目を指定した後は、「OK」をクリックします。



・曜日指定する

「Timer-NX」の「曜日指定」欄で曜日をクリックします。毎日のときは「毎日」をクリックします。指定した曜日は黄色で表示されます。

(例「毎日」を指定)

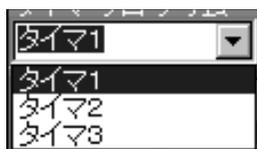


・タイマプログラムの番号を指定する

タイマプログラムとは、予定表のようなものです。ユーザーが作成したこの予定表(タイマプログラム)に従って「Timer-NX」は動作します。タイマプログラムは、ひとつの曜日に3つまで指定することができます。

- 1 「Timer-NX」ウィンドウの「タイマプログラム」欄で▼をクリックし、表示されたメニューでタイマプログラムの番号をクリックする。

(例「タイマ1」を指定)



・指定した時刻に起動するアプリケーションを指定する
起動するアプリケーションを「Timer-NX」ウィンドウの「実行ファイル」メニューで指定します。

「実行ファイル」のメニューに、起動するアプリケーションを登録します。
(例「FAX-NX」を登録)

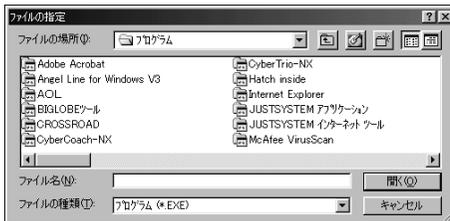
- 1 「Timer-NX」ウィンドウの「実行ファイル」の欄の  をクリックする。

次の画面が表示されます。



- 2 「任意指定」をクリックする。

次の画面が表示されます。



- 3 、 で登録したいアプリケーションがあるフォルダを開く。

- 4 登録したいアプリケーション(FAX-NX(FAX))を指定して「開く」をクリックする。

「実行ファイル」メニューに、新たに指定したアプリケーションの名前が表示されます。



一度指定したアプリケーションは、次回から「実行ファイル」の欄に表示されるようになります。

・「オン」と「オフ」の時刻を指定する

(例「7:00」に本機を「オン」にして、「8:00」に本機を「オフ」にする)

1 「Timer-NX」ウィンドウで「オン」をクリックする。

「オン」の文字が黄色で表示され、タイマーが設定されたことを表します。



2 「オン」にする時刻を設定する。

数字にポインタを合わせ左クリックすると、時刻が進みます。右クリックすると、時刻が戻ります。

例 7:00



3 「オフ」をクリックする。

「オフ」の文字が黄色で表示されます。



「オン」をもう一度クリックすると、文字の色が白色になり、タイマー機能が無効になります。

「現在時刻」の右側にあるは、1つでも有効なタイムプログラムがある場合に表示されます。すべてのタイムプログラムが無効になると、は消えます。

4 「オフ」にする時刻を設定する。

時刻の設定のしかたは、手順2と同じです。

例 8:00

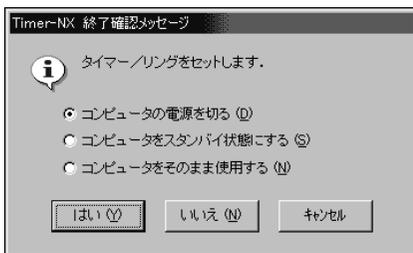


5 すべての項目の設定が終了したら、「OK」をクリックする。

「Timer-NX 終了確認メッセージ」画面が表示されます。

・タイマプログラムの設定を有効にする

1 表示された項目の中から、いずれかを選ぶ。



「Timer-NX 終了確認メッセージ」の各項目の説明

・コンピュータの電源を切る

「Timer-NX」を終了して、Windowsを終了した後、本機の電源を切ります。

・コンピュータをスタンバイ状態にする

「Timer-NX」を終了して、本機をスタンバイ状態にします。

・コンピュータをそのまま使用する

「Timer-NX」のみを終了して、本機はそのまま使うことができます。

2 「はい」をクリックする。

タイマプログラムの設定が有効になります。

「いいえ」をクリックすると、設定を破棄して「Timer-NX」を終了します。

「キャンセル」をクリックすると、設定画面に戻ります。

タイマー機能の設定を解除する

タイマー機能が有効のときは、「オン」の文字が黄色で表示されています。「オン」をクリックすると、「オン」の文字が白色の表示に変わります。「オン」の文字が白色の状態では「Timer-NX」ウィンドウの「OK」をクリックすると、タイマー機能の設定は無効になります。オフタイマー機能も「オフ」の文字をクリックして同様に設定解除ができます。

「テレビ」の設定について

起動するアプリケーションを指定する際に、任意指定で「bitcast browser ver2.0」、「ADAMS ナビ」または「モジモジ-NX」を指定すると、「Timer-NX テレビの設定」ウィンドウが表示されます。このウィンドウでタイマーオン時のテレビ(VHF、UHF)のチャンネルを設定することができます。



例：次のようなタイマプログラムを設定できます。

曜日 / タイマプログラム	時間	実行ファイル名	テレビの設定
月曜日 / プログラム 1	21:00 -	テレビ	テレビ(VHF、UHF) 01
火曜日 / プログラム 1	19:30 -	テレビ	テレビ(VHF、UHF) 06

タイマプログラムを設定するときの注意

タイマプログラムで「オン」/「オフ」を設定するときの注意

タイマプログラムで電源を入れると、指定した時刻の本機の状態によって次のようになります。

- ・本機の電源が切れている場合
タイマプログラムで指定した時刻に本機の電源が入り、指定されたアプリケーションを起動します。
- ・本機の電源が入っている場合
タイマプログラムで指定した時刻に、指定されたアプリケーションを起動します。
- ・本機がスタンバイ状態の場合
タイマプログラムで指定した時刻に本機をスタンバイ状態から復帰し、指定されたアプリケーションを起動します。

✓チェック!!

「ADAMS ナビ」および「モジモジ-NX」では「ビデオ」および「CATV」は指定できません。

「実行ファイル」メニューで「bitcast browser ver2.0」、「ADAMS ナビ」または「モジモジ-NX」の各項目を指定しても「テレビの設定」が起動しない場合は、「実行ファイル」メニューを開いた状態で、各項目をダブルクリックしてください。

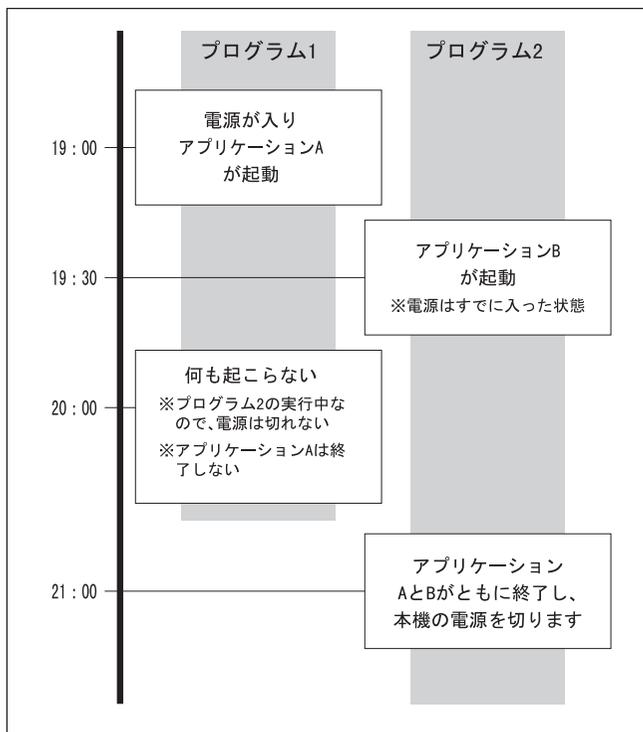
ここで設定できるテレビのチャンネルは、ビットキャストブラウザのコントロールバーに表示されるチャンネルです。

タイマプログラムでの「オフ」は、必ずしも本機の電源を切るわけではありません。タイマプログラムの「オン」機能が働いたときの本機の状態によって、次のようになります。

- ・ 本機の電源が切れていた場合
アプリケーションを終了し、本機の電源を切ります。
- ・ 本機の電源が入っていた場合
本機の電源は入ったままになります。アプリケーションも終了しません。
- ・ 本機がスタンバイ状態になっていた場合
本機をスタンバイ状態にします。アプリケーションは終了しません。

例えば、電源が切れているときに次のようなプログラムが実行された場合、本機の状態は次の図のようになります。

曜日 / タイマプログラムの番号	電源入 / 切の時刻	起動するアプリケーション
月曜日 / プログラム 1	19:00 - 20:00	アプリケーション A
火曜日 / プログラム 2	19:30 - 21:00	アプリケーション B



チェック!

「オフ」で指定した時刻にアプリケーションを終了するには、指定した時刻に本機の電源が切れるように、タイマプログラムを設定してください。複数のタイマプログラムで「オフ」を指定する場合は、指定する時刻や起動するアプリケーションに注意してください。

複数のタイマプログラムを設定するときの注意

次のようなタイマプログラムの設定を例として、タイマプログラムを設定するときの注意事項を説明します。

タイマプログラムの設定例

曜日 / タイマプログラム	時刻	アプリケーション
毎日 / プログラム 1	7:00-8:00	プレーヤ-NX
毎日 / プログラム 2	22:30-25:00	VirusScan ^{注1}
毎日 / プログラム 3	22:00-23:00	プレーヤ-NX ^{注2}
月曜日 / プログラム 1	22:00-25:00	インターネットエクスプローラ
火曜日 / プログラム 1	12:00-	ビットキャストブラウザ ^{注3}

注1：毎日 / プログラム 2 は、月曜日 / プログラム 1 と時刻が重なっています。この場合は、22:00に「インターネットエクスプローラ」が起動し、その後22:30に「VirusScan」が起動します。25:00に電源が切れます。

注2：毎日 / プログラム 3 は、月曜日 / プログラム 1 と時刻が重なっています。この場合は、22:00にタイマーオンになり、「プレーヤ-NX」と「インターネットエクスプローラ」が同時に起動します。電源の切れ方は終了時刻の遅い方が優先されます。この場合は、25:00が電源の切れる時刻となります。

注3：火曜日 / プログラム 1 は、終了時刻が指定されていません。この場合は、12:00に電源が入った後、電源は切れません。

2 日間にまたがる時刻の設定

タイマプログラムでは、2日間にまたがる設定が可能です。例えば、当日の23:00に電源を入れ、翌日の3:00に電源を切る場合は、次のように設定します。

「オン」 23:00

「オフ」 27:00 翌日の午前3時を表します。

この設定方法では、最大で次の設定が可能です。

「オン」 00:00

「オフ」 47:59 翌日の午後11時59分を表します。

チェック!!

タイマプログラムを設定する曜日を「毎日」にする場合は、電源を入れてから切るまでの時間が、24時間を超えないようにしてください。例えば、次のように設定してください。

「オン」00:00...「オフ」23:59

または

「オン」01:00...「オフ」24:59

24時間を超える設定をすると、電源を切る前に電源を入れることになってしまいますので、電源を切ることができません。

「オン」/「オフ」する時刻を設定するときの注意

- ・ タイムプログラムでの「オフ」は、電源を入れたときの本機の状態に戻す機能で、必ずしも本機の電源を切るわけではありません。
- ・ 電源を切る時刻を指定しない場合は、自動的に電源が入っても、自動的に電源を切ることはできません。
- ・ 自動的に電源を切らない場合は、「オフ」ボタンの文字の色が白色になるようにしてください。文字の色が黄色になっている場合は、「オフ」ボタンをクリックすると白色になります。

リングを設定する

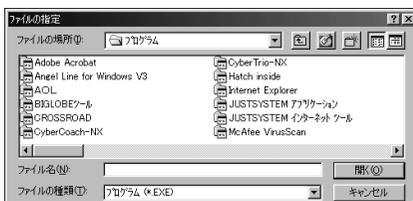
「Timer-NX」には、電話やFAXを受信したときに自動的にスタンバイ状態から復帰する機能があります。この機能をリング機能といいます。リング機能を設定するときに、指定したアプリケーションを起動したり、再度、自動的にスタンバイ状態にするように設定することもできます。ここでは、電話がかかってきたときに、スタンバイ状態から復帰して「プレーヤ-NX」を起動し、10分後に再びスタンバイ状態にする、という設定を例に説明します。スタンバイ状態にするまでの時刻は自由に設定できますが、電話がかかっている間、つまり通信中にスタンバイ状態にならないようにするために、余裕を持って十分に長く設定してください。

リング機能で起動するアプリケーションを指定する

- 1 「Timer-NX」を起動する。
- 2 「実行ファイル」をクリックする。



「プログラム」フォルダのウィンドウが表示されます。



✓チェック!

「プレーヤ-NX」の場合は、あらかじめ音楽CDなどをセットしておき、「プレーヤ-NX」の「Option」「状態設定」で「自動再生」を選んでおく必要があります。これは、ほかのアプリケーションについても同じで、タイマでスタンバイ状態から復帰したときに、アプリケーションが起動できる状態になっていることが必要です。

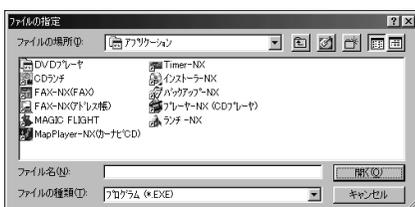
📖参照

Timer-NXを起動する「Timer-NXを起動する」(p.101)

- 3 「アプリケーション」をクリックする。
「アプリケーション」が反転表示になります。



- 4 「開く」をクリックする。
「アプリケーション」フォルダのウィンドウが表示されます。



- 5 「プレーヤ-NX(CD プレーヤ)」をダブルクリックする。
「Timer-NX」ウィンドウの「実行ファイル」の欄に、「プレーヤ-NX」が表示されます。



リングの設定条件を指定する

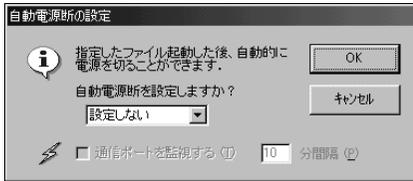
- 1  をクリックする。
電話が黄色く表示され、リング機能が有効になります。



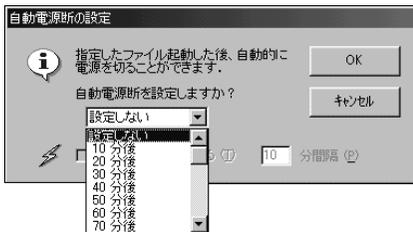
 (電話) をもう一度クリックすると、電話が白色の表示に戻り、リング機能が無効になります。

2 「OFF」をクリックする。

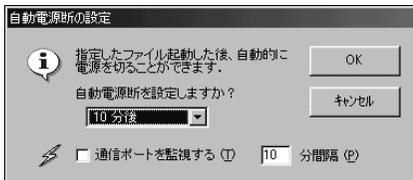
「自動電源断の設定」ウィンドウが表示されます。

**3** 「自動電源断を設定しますか？」の下の▼をクリックする。

プルダウンメニューが表示されます。

**4** 「10分後」をクリックする。

「10分後」が設定されます。

**5** 通信ポートを監視するか、しないかを指定する。

「通信ポートを監視する」は、右側の「分間隔」で指定された間隔で通信中監視を行い、通信が終了している場合に、自動的にスタンバイ状態にする機能です。リングでスタンバイ状態から復帰した後に、通信を行うときなどに有効です。

6 「OK」をクリックする。

「Timer-NX」ウィンドウに戻ります。

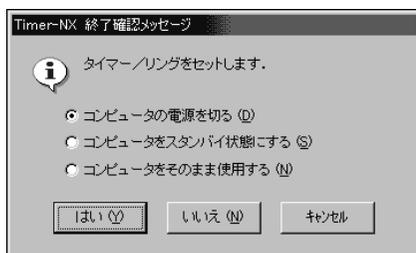
7 すべての項目の設定が終了したら、「OK」をクリックする。

「Timer-NX 終了確認メッセージ」ウィンドウが表示されます。

自動電源断は、指定時間後にパソコンを自動的にスタンバイ状態にする機能です。

リングの設定条件を有効にする

1 表示された項目の中から、いずれかを選ぶ。



「Timer-NX 終了確認メッセージ」の各項目の説明

- ・コンピュータをスタンバイ状態にする
「Timer-NX」を終了し、本機をスタンバイ状態にします。
- ・コンピュータをそのまま使用する
「Timer-NX」を終了します。本機をそのまま使うことができます。

2 「はい」をクリックする。

リングの設定が有効になります。

「いいえ」をクリックすると、設定を破棄し、「Timer-NX」を終了します。

「キャンセル」をクリックすると、設定画面に戻ります。

リング機能の設定を解除する

リング機能が有効のときは、 (電話) が黄色で表示されています。 (電話) をクリックすると、 (電話) が白色の表示に変わります。 (電話) が白色の状態では「Timer-NX」ウィンドウの「OK」をクリックすると、リング機能の設定は無効になります。設定の有効・無効は (電話) をクリックして設定します。

リング機能を使用するときの注意

- ・リング機能は、スタンバイ状態になっているときに動作します。パソコンがスタンバイ状態になっていないときや、電源が切れているときには動作しません。

パソコンがスタンバイ状態の時には、すぐに動作状態に移行できるように一部の電源が入った状態で待機しています。ディスプレイの画面が消えていても本体の電源は入っているので、電源スイッチを押さないでください。

- ・「自動電源断」の設定で、スタンバイ状態にするまでの時間を短く設定すると、電話がかかっている間(通信中)にスタンバイ状態になる可能性があります。余裕を持って十分に長く設定してください。通信中にスタンバイ状態になった場合は、回線が接続されたままになります(電話機の手話器を上げた状態と同じです)。このため、長時間パソコンを離れる場合には、スタンバイ状態にする設定にしないでください。

✓チェック!!

電話やFAX受信時に、電源が切れている状態から自動的に電源を入れることはできません。

- ・電話がかかってきた時に自動的に起動するためには、起動するアプリケーションを指定しておく必要があります。
なお、FAX-NXでは、自動受信を設定すると次回起動時に自動的に起動します。リングを設定する必要はありません。
- ・一部の通信ソフトウェアを起動した状態では、リング機能によって電源が入っても(スタンバイ状態から復帰しても)、Timer-NXで指定したアプリケーションを起動できないことがあります。あらかじめ、以下の手順で指定したアプリケーションが起動できることを確認してください。
 - 1 リング機能を設定し、起動するアプリケーションを指定する。
 - 2 通信ソフトウェアを起動し、パソコンをスタンバイ状態にする。
 - 3 このパソコンに電話をかけて、スタンバイ状態から復帰して指定したアプリケーションが起動することを確認する。
- ・一部の通信ソフトウェアでは、「通信ポートを監視する」を設定しても、通信状態が監視できない通信ソフトウェアがあります。あらかじめ、以下の手順で使用する通信ソフトウェアとTimer-NXとを組み合わせると通信状態が監視できることを確認してください。
 - 1 リング機能を設定する。
起動するアプリケーションとして通信ソフトウェアを指定し、「通信ポートを監視する」を設定します。
 - 2 パソコンをスタンバイ状態にする。
 - 3 このパソコンに電話をかけて、スタンバイ状態から復帰して、指定した通信ソフトウェアが通信中に、スタンバイ状態にならない、または、スタンバイ状態にできないというメッセージなどが表示されないことを確認する。
- ・通信が終了しても、自動着信指定されたFAXソフトなど、通信ポートを使用し続けるアプリケーションを使用する場合、「通信ポートを監視する」を設定すると、いつまでも自動的にスタンバイ状態になりません。このようなアプリケーションを使用してスタンバイ状態にする場合は、「通信ポートを監視する」を設定しないようにしてください。

自動的に電源を切る(オフタイマー機能)

オフタイマー機能を使うと、指定した時刻に自動的に電源を切る、またはスタンバイ状態にすることができます。

- 1 「Timer-NX」を起動する。
(「アクティブメニュー-NX」の「アプリケーション」「ユーティリティ」「Timer-NX(スケジューラ)」または「スタート」「プログラム」「アプリケーション」「Timer-NX」)

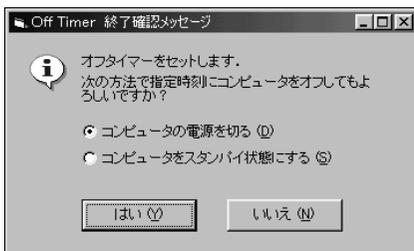
- 2 「オフタイマ」をクリックする。
「Off Timer」ウィンドウが表示されます。



- 3 電源を切る時刻を設定する。
(例 午前 10:10 に設定)



- 4 「OK」をクリックする。
「Off Timer 終了確認メッセージ」ウィンドウが表示されます。



電源を切るか、スタンバイ状態にするかを選びます。

- 5 「はい」をクリック。
タイマがセットされ、「Off Timer」がタスクバーに表示されます。
「いいえ」をクリックすると、設定を解除します。

参照

Timer-NXを起動する 「Timer-NXを起動する」(p.101)

数字にポインタを合わせて左クリックすると、数字が進みます。右クリックすると、数字が戻ります。

オフタイマー設定の確認 / キャンセル

オフタイマーを設定した後に、設定内容を確認したいときや、設定を解除したときは、次のように行います。

1 タスクバーの「Off Timer」をクリックする。

「Off Timer」ウィンドウが表示されます。

設定されているときは、「OK」ボタンが黄色になっています。



「キャンセル」をクリックすると、設定は解除されます。

オフタイマー機能を利用するときの注意

「Timer-NX」で電源を切るときに、編集集中のファイルを保存するかどうかを確認するメッセージが表示されるなど、終了時になにか操作の必要なアプリケーションが起動している場合は、電源は切れません。オフタイマー設定が機能して、電源が切れるときに、メッセージが表示された場合は、メッセージにしたがって操作し、Windowsを終了させてください。

「Timer-NX」を利用して自動的にスタンバイ状態にした場合は、次の方法で自動的にスタンバイ状態から復帰することができます。

- ・オフタイマーの設定をして、このパソコンの電源を切ったりスタンバイ状態にしたりしても、「Timer-NX」でタイマプログラムやリングの設定をしている場合は、タイマプログラムやリングの設定はそのまま有効になります。したがって、オフタイマーで電源を切っても、オフタイマーで指定した時間よりも後に実行されるタイマプログラムが存在する場合は、オフタイマーで電源が切れた後にタイマプログラムにより電源が入ります。
- ・「Timer-NX」のリング設定は、電源が切れている状態からは利用できない(スタンバイ状態からの利用になる)ため、リング設定をしている場合は、オフタイマー機能で電源を切らないようにしてください。

タイマー設定を行っても、次の場合はオフタイマー機能は実行されません。

- ・「Off Timer」を終了した場合
- ・「スタート」メニューや電源スイッチでWindowsを終了させたりスタンバイ状態にした場合

Timer-NX を利用するときの注意

- ・「Timer-NX」は、本機内蔵の時計を使って動きます。「Timer-NX」を使用する前に本機の日付と時刻が正しいかどうかを確認してください。日付と時刻はタスクバー右下の「時刻」をポイントすると確認できます。日付と時刻の設定を変更したい場合は、「時刻」をダブルクリックして表示される画面で設定してください。
- ・ネットワークの設定をしたり、「コントロールパネル」の「パスワード」や「ユーザ」の設定をして、Windows を起動するときにパスワードやユーザ名を入力する画面が表示されるように設定していると、「Timer-NX」を使用して本機の電源を入れてもパスワード入力待ちの状態のままです。
- ・BIOS セットアップメニューで、「ユーザパスワード」「スーパーバイザパスワード」を設定している場合、「Timer-NX」を使用して本機の電源を入れてもパスワード入力待ちの状態のままです。「Timer-NX」で自動的に本機の電源を入れる場合は、BIOS セットアップメニューで「起動時のパスワード」を「使用しない」に設定してください。
- ・「Timer-NX」で自動的に本機の電源を入れる場合は、フロッピーディスクドライブにフロッピーディスクをセットしないようにしてください。
- ・タイマプログラムで指定した時刻とほぼ同じ時刻に手動で電源を入れた場合は、タイマーで起動したものと判断される場合があります(2～3分の誤差があります)。
- ・タイマプログラムを複数の曜日に設定している場合は、Windows の終了時に次回起動予定の曜日が保存されます。このため、手動で電源を入れ、「Timer-NX」を起動すると、次回起動予定の曜日が初期値として表示されます。
- ・設定を行い電源を切った状態で本体の電源ケーブルを抜いたり、停電になったりした場合は無効になります。ただし、もう一度電源を入れ、Windows が起動すると再設定されます。



参照

BIOS セットアップメニュー 『拡張! パリユースター』PART 11 の「BIOS セットアップメニュー」

タイマー機能を使おう としたら・・・

タイマー機能を使おうとして何か問題が起きたときには、ここをご覧ください。

Timer-NXでスタンバイ状態から復帰しない

-  ➔  アプリケーションや周辺機器は省電力機能(スタンバイ)に対応していますか？
対応していないアプリケーションや周辺機器でスタンバイ状態にしようとする、正常に動作しなくなることがあります。このようなアプリケーションや周辺機器を使うときは、スタンバイ状態にしないでください。
-  ➔  電源ケーブルは正しく接続されていますか？
電源ケーブルをコンセントに接続します。
電源ケーブルが正しく接続されていなかった場合、作業内容は保持されていません。
-  ➔  スタンバイ状態のときに停電したり、電源ケーブルが抜けたりしませんでしたか？
スタンバイ状態のときに停電したり、電源ケーブルが抜けたりすると、保持(記憶)した内容は消えてしまいます。
-  ➔  スタンバイ状態のときやディスプレイの省電力機能によって画面が暗くなっているときに、電源スイッチを4秒以上押し続けませんでしたか？
スタンバイ状態のときやディスプレイの省電力機能によって画面が暗くなっているときに電源スイッチを4秒以上押し続けると、強制的に電源が切れ、保持(記憶)した内容が消えてしまいます。

Timer-NXで電源が入らない

Timer-NXを設定しても、自動的に電源が入らない。

-  ➔  電源ケーブルは正しく接続されていますか？
電源ケーブルをコンセントに接続します。

 ➔  電源ケーブルがコンセントからはずれていませんか？ 停電しませんでしたか？

電源ケーブルがコンセントからはずれたり、停電したりすると、設定が無効になります。Timer-NXの設定をやり直してください。

 ➔  パスワードが設定されていませんか？

Windowsなどのパスワードを設定すると、起動時に、パスワードの入力が必要になるので、Timer-NXで自動的に電源を入れることはできなくなります。

Timer-NXで自動的に電源を入れたいときはWindowsなどのパスワードは設定しないでください。一度設定したパスワードは再セットアップを行わないと無効にできません。

BIOSセットアップメニューでパスワードを設定していても同じです。解除してください。

 ➔  電源管理モードがACPIモードになっていませんか？

ご購入時には、このパソコンの電源管理モードはAPMモードに設定されていますが、ACPIモードに切り替えると、Timer-NXを使って電源が切れている状態から、時間を指定して電源を入れることはできなくなります。APMモードに戻すには、再セットアップが必要です。

Timer-NXで電源を切ったり、スタンバイ状態にできない

 ➔  終了時に操作の必要なアプリケーションが起動していませんか？

データの保存など、終了時になにか操作をしないと終了できないアプリケーションが起動していると、Timer-NXで自動的に電源を切ることはできません。

 ➔  Timer-NXの設定時刻にパソコンの電源が入っていませんか？

Timer-NXで「オン」を設定した時刻に、すでにパソコンの電源が入っているときは、その後「オフ」を設定した時刻がきても、電源は切れません(またはスタンバイ状態になりません)。

Timer-NXのリング機能で指定したアプリケーションを起動できない

 ➔  発信側からの呼び出し回数が少なくないですか？

発信側からの呼び出し回数は5、6回程度に設定してください。

参照

再セットアップ 『困ったときのQ&A』の「PART2 再セットアップするには」

BIOSセットアップメニュー 『拡張!活用! バリュースター』PART11の「BIOSセットアップメニュー」

参照

電源管理モードについて このPARTの「電源管理モードについて」(p.123)

再セットアップについて 『困ったときのQ&A』の「PART2 再セットアップするには」

 ➡  パソコンの電源が切れていませんか？

Timer-NXのリング機能は、このパソコンがスタンバイ状態になっているときに動作します。電源が切れている状態では動作しません。リング機能を使うときは、スタンバイ状態にしてください。

 ➡  複数のモデムを使用していませんか？

Timer-NXのタイマー機能は1回線のみ対応しています。このパソコンに複数のモデムが接続されている場合、最初に設定したモデムにタイマー機能が有効になりますので、その回線を使用してください。

オートパイロット ホームページスクラップ ブック EX

このパソコンで「ホームページスクラップブック EX」を使うと、「Timer-NX」と連携した電源 OFF 状態からのオートパイロットができます。

ここでは、「ホームページスクラップブック EX」のオートパイロット機能について説明しています。
基本的な使い方は、「サポートセンタ」をご覧ください。

Timer-NX と連携して、オートパイロットする

「ホームページスクラップブック EX」と「Timer-NX」を連携させると、本機の電源が切れている(またはスタンバイ状態)ときに、「オートパイロット」で指定された時間に本機の電源を入れて(またはスタンバイ状態から復帰して)オートパイロットを実行させることができます。オートパイロットが終了すると、本機の電源が切れます(スタンバイ状態になります)。

なお、ここでは、すでにオートパイロットの巡回先が設定されているものとして、「Timer-NX」との連携の手順を説明します。
オートパイロットの巡回先の設定の方法、オートパイロットの結果の見方については、「サポートセンタ」をご覧ください。

「Timer-NX」と連携してオートパイロットを実行するときは、必ずパスワードの保存をしておいてください。パスワードの保存をしておかないと、オートパイロット実行時に、パスワードを入力するウィンドウが表示されるため、オートパイロットの処理が止まってしまいます。また、本機の電源を切ったり、スタンバイ状態にすることができなくなってしまいます。

- 1 「ホームページスクラップブック EX」のタイマーツリーで「毎日」を右クリックする。
「タイマー日時設定」メニューが表示されます。



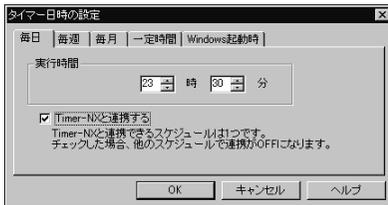
参照

オートパイロット、パスワードの保存について 「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-「添付ソフトの使い方」-「ホームページスクラップブック EX」

タイマーツリーが表示されていない場合は、メニューバーの  をクリックしてください。

- 2 「タイマー日時設定」をクリックする。
「タイマー日時の設定」画面が表示されます。

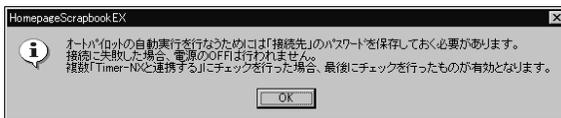
- 3 実行パターンを選択する。
「毎日」、「毎週」、「毎月」の中から設定します。
(例 毎日)



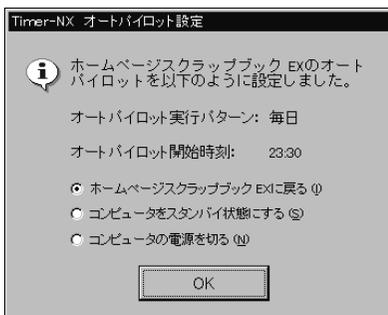
- 4 自動実行を開始する時刻を設定する。
24時間形式(0:00~23:59)で設定します。
(例 23:30)

- 5 「Timer-NXと連携する」にチェックマークを付ける。

- 6 「OK」をクリックする。
次のメッセージが表示されます。



- 7 「OK」をクリックする。
次のメッセージが表示され、「Timer-NX」の設定が完了したことを示します。



- 8 次のどれかを選んで「OK」をクリックする。
- ・ホームページスクラップブックEXに戻る
 - ・コンピュータをスタンバイ状態にする
 - ・コンピュータの電源を切る

Timer-NX と連携して動作することができる実行パターンは、「毎日」、「毎週」、「毎月」の3パターンのみです。

参照

電源管理モードについて
このPARTの「電源管理モードについて」(p.123)、「ACPIモードでタイマー機能を利用する場合の注意」(p.126)

これで設定は完了です。本機の電源が切れた状態(またはスタンバイ状態)にしておくと、指定された時間に、自動的に本機の電源が入り(またはスタンバイ状態から復帰)ホームページスクラップブック EX が起動され、オートパイロットが実行されます。

- ・「Timer-NX」と連携してオートパイロットを行う場合は、「オートパイロット終了時の動作」で設定されている内容とは関係なくオートパイロット終了後に回線を切断し、本機の電源を切ります(またはスタンバイ状態にします)。
- ・「Timer-NX」と連携しない場合は、「オートパイロット終了時の動作」、「ホームページスクラップブックEXの起動と同時に」の動作は表示されている設定通り動作します。
- ・「Timer-NX」と連携して動作することができる実行パターンは「毎日」、「毎週」、「毎月」のみです。
- ・「Timer-NX」と連携してオートパイロット終了後に電源が切れる(またはスタンバイ状態になる)ように設定しても、オートパイロット開始から5分以上経過しないと、オートパイロットを終了して自動的に電源が切れません(またはスタンバイ状態になりません)。

時間指定するとき、およびTimer-NX と連携するときの注意

ここでは、時間指定をしてオートパイロットをするときの注意事項を説明します。オートパイロットについての全般的な注意事項については、「サポートセンタ」をご覧ください。

- ・本機能が動作する時刻はWindows 98のシステム時計の時刻に依存しています。「スタート」「設定」「コントロールパネル」「日付と時刻」で現在の時刻が正しく設定されているか、もう一度確認してください。
- ・時間指定で動作するほかのプログラムを使用しているときは、指定の時間が重ならないように注意してください。
- ・必ずパスワードを保存してください。保存しないと処理が途中で止まってしまう、オートパイロット実行と本機の電源を切る(またはスタンバイ状態にする)ことができません。
- ・オートパイロットの自動実行を行うと、自動的にパソコンの電源が入ります(スタンバイ状態から復帰します)。予期せず電源が入る場合もあるので設置場所などを確認し、安全に使用するために、『安全にお使いいただくために』や『まずこれ! 接続と準備』の使用上の注意事項を必ずご覧ください。

参照

ホームページスクラップブック EX の使い方 「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-「添付ソフトの使い方」-「ホームページスクラップブック EX」

参照

日付と時刻の変更 「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「トラブル解決Q&A」-「よくある質問」-「日付と時刻を合わせたい」

電源管理モードについて

本機の電源管理のモードであるAPMモードとACPIモードについて説明します。

本機には、省電力機能を使うための電源管理のモードとして、APMモードとACPIモードの2つのモードが使用できます。ご購入時には、APMモードに設定されています。モードを変更しないで、そのままご利用になることをお勧めします。

- ・ APMモード
APM(Advanced Power Management)を使って、電源管理を行うモードです。
APMとは、パソコンや周辺機器の電源管理を、BIOSで行うためのしくみです。
- ・ ACPIモード
ACPI(Advanced Configuration and Power Interface)を使って、電源管理を行うモードです。
ACPIとは、パソコンや周辺機器の電源管理を、本機のOSであるWindows 98で行うためのしくみです。

モードの確認

本機がどちらのモードで動作しているかは、「デバイスマネージャ」で確認できます。次の手順でモードを確認します。

- 1 アドバンスモードに変更する。
(「スタート」「プログラム」「CyberTrio-NX」「Go to アドバンスモード」)
- 2 「コントロールパネル」を起動する。
(「スタート」「設定」「コントロールパネル」)
「コントロールパネル」が起動します。
- 3 「システム」をダブルクリックする。
「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 4 「デバイスマネージャ」タブをクリックする。
「デバイスマネージャ」タブのウィンドウが表示されます。
- 5 「システムデバイス」をダブルクリックする。
「システムデバイス」フォルダの内容が表示されます。
このフォルダに次のデバイスがあることを確認します。
 - ・ APMモードのとき
「アドバンス パワーマネジメント サポート」
 - ・ ACPIモードのとき
「ACPI x x x」など

モード切り替え時の注意事項

APMモードからACPIモードに切り替えるには、以下のことに注意してください。

- ・ ACPIモードでは、電源管理用に割り込み要求(IRQ)を1つ使用します。
- ・ ACPIモードに切り替えると、「ビットキャストブラウザ」「ADAMSナビ」「モジモジ-NX」が正常に動作しません。「ビットキャストブラウザ」「ADAMSナビ」「モジモジ-NX」を使用する場合は、APMモードでご利用ください。
- ・ ACPIモードに切り替えると、「Timer-NX」で電源が切れている状態から、時間を指定して電源を入れることができません。このような使い方をする場合は、APMモードでご利用ください。
- ・ モードの切り替えは、購入時のセットアップ直後か、再セットアップ直後のみできます。
- ・ APMモード(購入時)からACPIモードに切り替えたあと、ACPIモードからAPMモードに戻すには再セットアップが必要です。
- ・ モードの切り替え時にドライバを要求された場合は、画面の指示にしたがって、C: ¥Windows¥Options¥Cabsよりドライバを組み込んでください。



参照
再セットアップ 『困ったときのQ&A』の「PART2 再セットアップするには」

モードの切り替え

「ACPIモードに切り替える準備をする」、「ACPIモードに必要なデバイスを組み込む」、「ディスプレイの表示の設定を元に戻す」の順に設定をしてください。

ACPIモードに切り替える準備をする

1 「C:¥Modechg」フォルダを開く。
(「マイコンピュータ」「Windows 98(C:)」「Modechg」)

2 「acpi_apm.vbs」をダブルクリックする。

次の画面が表示されます。



3 「OK」をクリックする。

次の画面が表示されます。



4 「OK」をクリックする。

ACPIモードに必要なデバイスを組み込む

続いて、ACPIモードに必要なデバイスを組み込みます。

- 1 「ハードウェアの追加」を起動する。
(「スタート」「設定」「コントロールパネル」「ハードウェアの追加」)
「新しいハードウェアの追加ウィザード」ウィンドウが表示されます。
- 2 「次へ」をクリックする。
- 3 「次へ」をクリックする。
しばらくお待ちください。
「インストールするデバイスは一覧にありますか?」と表示されたら、「デバイスは一覧にない」を選んで「次へ」をクリックしてください。
- 4 「はい」が選ばれていることを確認して、「次へ」をクリックする。
- 5 「次へ」をクリック。
ハードウェアの検出が始まります。しばらくお待ちください。
- 6 「ハードウェアの検出が完了し、インストールの準備ができました。」と表示されたら、「完了」をクリックする。
- 7 「今すぐ再起動しますか?」と表示されたら「はい」をクリックする。
本機が再起動します。
もう一度「今すぐ再起動しますか?」と表示されたら「はい」をクリックし、再起動してください。
- 8 「C:\Modechg」フォルダを開く。
(「マイコンピュータ」「Windows 98(C:)」「Modechg」)
- 9 「Apmoff2.reg」をダブルクリックする。
「C:\MODECHG\APMOFF2.REGの情報をレジストリに追加しますか?」と表示されます。
- 10 「はい」をクリックする。
「C:\MODECHG\APMOFF2.REGの情報が、レジストリに正しく入力されました。」と表示されます。
- 11 「OK」をクリックする。
- 12 本機を再起動する。
(「スタート」「Windowsの終了」「再起動する」「OK」)

これで本機がACPIモードになりました。

ACPI モードに切り替えた後の注意

- ・ ACPIモードから APM モードに切り替えるには、再セットアップが必要です。
- ・ 本機がスタンバイ状態から復帰しようとしているときに、キーボードの【スリープ】ボタンを押すと、復帰した後にキーボードの【スリープ】ボタンが使えなくなります。この場合、「スタート」「Windowsの終了」をクリックし、「再起動する」を選んで、「OK」をクリックして、Windowsを再起動してください。再起動後、キーボードの【スリープ】ボタンが使えるようになります。
- ・ 別売の 98 配列 USB キーボードをご利用の場合、ACPI/APM モードの切り替えを実行すると、キーボードの設定が「106 日本語(A01)」に変わってしまいます。切り替え完了後、98 配列 USB キーボードドライバを再設定してください。設定方法は、「スタート」「プログラム」「追加情報」の「周辺機器を使おうとしたら...」の「Q:別売の98配列USBキーボード(PK-KB011)を使いたい」をご覧ください。
- ・ 「MS-DOS プロンプト」がアクティブ(いちばん手前にある状態)のときにスタンバイ状態になると、スタンバイ状態から復帰したときに、画面が表示されない場合があります。この場合は、【Alt】を押しながら【Tab】キーを何度か押すと、画面が表示されます。
- ・ Windows 98 の起動時に、「コンピュータは何度か待機状態になり、応答を停止しました。今後、待機状態にならないようにしますか？」のメッセージが表示された場合は「いいえ」を選んでください。



再セットアップ 『困ったときの Q&A』の「PART2 再セットアップするには」

ACPI モードでタイマー機能を利用する場合の注意

Timer-NX を利用するときの注意

ACPIモードでは、Timer-NXを使って、指定した時間に電源が切れている状態から電源を入れることはできません。電源が切れている状態から電源を入れる場合は、APM モードでご利用ください。

ホームページスクラップブック EX で、Timer-NX と連携してオートパイロットするときの注意

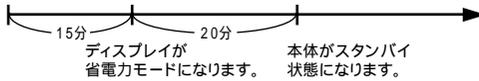
ACPIモードでは、Timer-NXと連携してオートパイロットする場合、電源が切れている状態からのオートパイロットはできません。電源が切れている状態からオートパイロットする場合は、APMモードでご利用ください。

ACPI モードで自動スタンバイ機能を利用する場合の注意

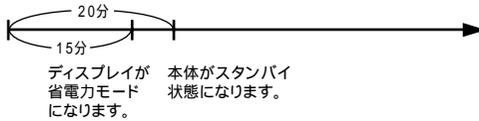
ACPI モード時に、「コントロールパネル」「電源の管理」「電源設定」タブで、例として

- ・ モニタの電源を切る...15 分後
- ・ システムスタンバイ...20 分後

のように「システムスタンバイ」の設定時間を「モニタの電源を切る」の設定時間よりも長くした場合、マウスやキーボードからの入力がない状態が続くと、実際には次のような動きになります。



APM モードで上記のように設定した場合は、次のようになります。



その他の注意

電源スイッチで、電源を切るときの動作

電源スイッチを押して電源を切るときの動作は、APM モードの場合と ACPI モードの場合で違います。

APM モードの場合(* 1)	終了確認のメッセージが表示されます。
ACPI モードの場合(* 2)	終了確認のメッセージは表示されず、シャットダウン処理を行い、そのまま電源が切れます。 アプリケーションを使用中の場合は、アプリケーションの終了確認のメッセージ「保存しますか？」などが表示されることがあります。

(* 1): BIOS セットアップメニューの「省電力管理」-「システムスイッチ」で「パワーボタン」に設定されている場合。

(* 2): 「コントロールパネル」の「電源の管理」「詳細」タブ 「コンピュータの電源ボタンを押したとき」で、「シャットダウン」に設定されている場合。

付 録

本体の各部の名称

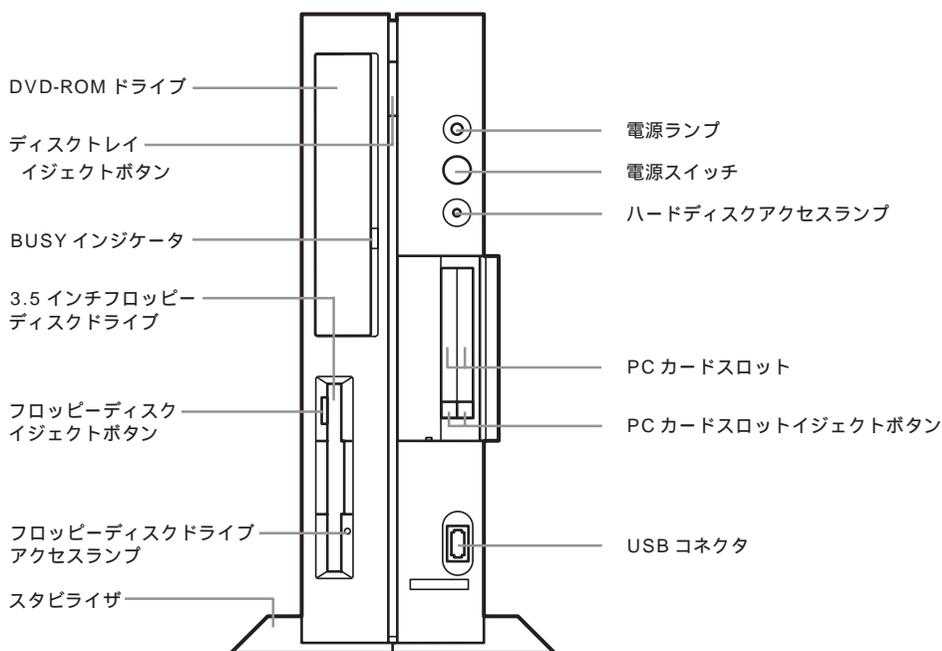
機能仕様

このパソコンが使用しているリソース

本体の各部の名称

本体の各部の名称とその役割について説明しています。

本体前面



電源スイッチ (①)

電源を入れるスイッチ。電源を切るときは、Windows 98 の「スタート」メニューで「Windows の終了」をクリックして「電源を切れる状態にする」を選んで「OK」をクリックします。電源スイッチを切る / 入れる操作はコンピュータに負担をかけるので、少なくとも 5 秒以上の間隔をあけてください。

☑ チェック!!

ソフトウェアが明らかに停止している状態になった場合は、電源スイッチを 4 秒以上押し続けることで、強制的に電源を切ることができます。なお、この場合、作成中のデータなどは消えてしまいます。

停電や、電源ケーブルを抜いているために本体に電源が供給されていないときは、電源スイッチを押しても電源を入れることはできません。

電源ランプ

電源の入/切状態を表示するランプ。電源を入れると緑色に、スタンバイ状態ではオレンジ色に点灯します。

ハードディスクアクセスランプ ()

ハードディスクの動作中に点灯するランプ。

☑ チェック!!

点灯中は電源スイッチを押さないでください。ハードディスクの内容が壊れることがあります。

PC カードスロット

PC カードを取り付けるスロット。

左右に 2 スロットあります。

PC カードには、メモ리카ードやモデムカード、SCSI インターフェイス対応機器とつなげるための SCSI カードなど、いろいろな種類があります。

PC カードイジェクトボタン

PC カードを PC カードスロットから取り出すときに使うボタン。

USB コネクタ ()

USB 対応機器を接続するためのコネクタ。

Windows 98でのみ使用可能。USBコネクタに接続する周辺機器が本機で使用できるかどうかは、周辺機器の製造元または発売元にご確認ください。

 チェック!!

添付のキーボードとマウスは、Windows NT 4.0 でも使用できます。

DVD-ROM ドライブ

DVD-ROM や CD-ROM、音楽 CD を入れるところ。なお、DVD-ROM ドライブ各部の位置や形状は、図と多少異なることがあります。

ディスクトレイイジェクトボタン

ディスクをセットするディスクトレイを出し入れするためのボタン。

BUSY インジケータ

DVD-ROM ドライブからデータを読み出しているときに点灯します。

 チェック!!

点灯中は電源を切ったり、CD-ROM や DVD-ROM を取り出したりしないでください。DVD-ROM ドライブの故障の原因となります。

3.5 インチフロッピーディスクドライブ

3.5 インチサイズのフロッピーディスクを入れるところ。

フロッピーディスクイジェクトボタン

フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブから取り出すときに使うボタン。

フロッピーディスクドライブアクセスランプ

フロッピーディスクドライブの動作中に点灯するランプ。

 チェック!!

点灯中は電源を切ったり、フロッピーディスクを取り出したりしないでください。フロッピーディスクの内容が壊れることがあります。

スタビライザ

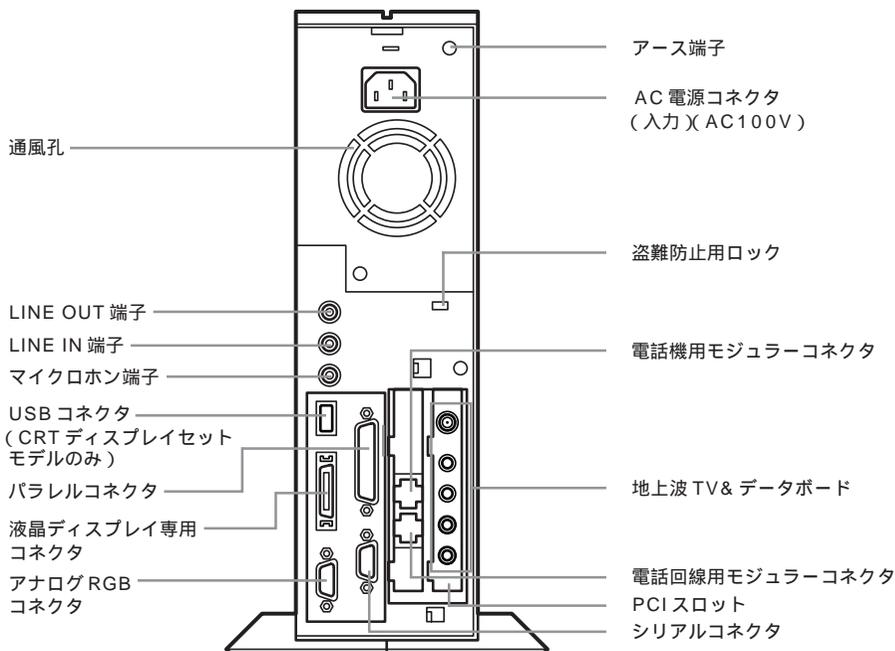
本体を安定して設置するための脚。

 チェック!!

スタビライザは必ず付属のネジで本体に固定してください。また、本体を横置きにする場合は、ネジとスタビライザをなくさないよう大切に保管してください。

本体背面

各アイコンの向きは、下の説明と異なることがあります。



AC 電源コネクタ(入力) (AC100V)
ACコンセントから本体に電源を供給するためのコネクタ。添付の電源ケーブルを接続します。本体添付の電源ケーブルは、AC コンセント側が普通の 2 ピン、本体側が特殊な 3 ピンになっています。

アース端子 (⏚)
アース線を接続するための端子。

盗難防止用ロック (K)
市販の盗難防止用ケーブル (Kensington 社製など) を接続できます。盗難防止用ロックを使用することで、ルーフカバーがロックされるため、本体内部のハードディスクや RAM サブボードなどの盗難を予防できます。

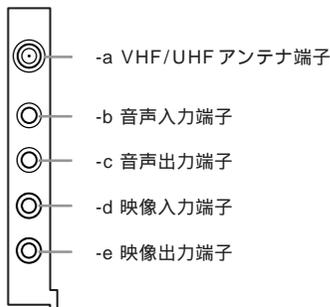
✓チェック!

盗難防止用ロックは、Kensington 社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。日本国内総販売代理店の連絡先は、次の通りです。(1999年9月現在)

日本ポラロイド株式会社
電子映像事業部
〒105-8456 東京都港区虎ノ門3丁目2番2号
第30森ビル
Tel : 03-3438-8879
Fax : 03-5473-1630

電話機用モジュラーコネクタ (☎)
電話機を接続するためのコネクタ。

地上波 TV & データボード



-a VHF/UHF アンテナ端子()
テレビ放送を受信するためのアンテナ端子。VHF
と UHF の共用端子です。

-b 音声入力端子()
テレビやビデオの音声を入力するための端子。

✓チェック!!

- ・音声入力端子にビデオなどを接続した場合に、ビットキャストローダ - が起動していない状態では、スピーカから音声が出力されることがあります。この場合は、ビデオなどの電源を切るか、音声入力端子から外してください。
- ・ビットキャストローダ(p.30)が起動していない場合は、地上波 TV & データボードの音声入力端子は、本体の音声入力端子として扱えます。外部機器から本機に音声を入力する必要がある場合は、地上波 TV & データボードの音声入力端子に接続してください。

-c 音声出力端子()
VHF/UHF アンテナ端子、または音声入力端子に入力された音声を出力する端子。LINE ケーブルで、本機の LINE IN 端子と接続します。

-d 映像入力端子()
テレビやビデオの映像を入力するための端子。

-e 映像出力端子()
本機で受信したテレビ放送や、本機に入力したビデオ映像を出力するための端子。

電話回線用モジュラーコネクタ()
電話回線を接続するためのコネクタ。

PCI スロット

本機の機能を強化したり拡張したりするための各種ボードを、挿入するためのスロット。高速なデータ転送ができる PCI バスに対応。

このパソコンの PCI スロットには、PCI ボードの増設はできません。地上波 TV & データボードが標準で取り付けられています。

シリアルコネクタ()
周辺機器を接続するためのコネクタ。
通信を行うときに必要な通信機器や、イメージスキャナなどの周辺機器を接続します。

✓チェック!!

- ・PC-9800 シリーズ用の機器を接続する場合は、別売の RS-232C 変換アダプタ(PK-CA102)が必要です。PK-CA102 は別売のプリンタインタフェース変換アダプタ(PK-CA101)と同時に取り付けることはできません。
- ・周辺機器によっては、変換アダプタを使用すると動作しないことがあります。

通風孔

本体内部の熱を逃がすための孔です。壁などでふさがないように注意してください。

LINE OUT 端子(ステレオ)()
添付の外付けスピーカや市販のオーディオ機器などに、音声信号(ステレオ)を出力するためのミニジャック端子。

LINE IN 端子(ステレオ)()
市販のオーディオ機器などから、音声信号(ステレオ)を本体に入力するためのミニジャック端子。

マイクロホン端子(モノラル)()
市販のマイクロホンを接続するためのミニジャック端子。

USB コネクタ()
(CRT ディスプレイセットモデルのみ)
USB 対応機器を接続するためのコネクタ。
Windows 98 でのみ使用可能。USB コネクタに接続する周辺機器が本機で使用できるかどうかは、周辺機器の製造元または発売元にご確認ください。

✓チェック!!

- ・液晶ディスプレイセットモデルの背面には USB コネクタはありません。USB 機器は、本体前面または液晶ディスプレイ左側面の USB コネクタに接続してください。
- ・添付のキーボードとマウスは、Windows NT 4.0 でも使用できます。

パラレルコネクタ()
プリンタなどを接続するためのコネクタ。

✓チェック!!

PC-9800シリーズ用のプリンタケーブルを接続する場合は、別売のプリンタインタフェース変換アダプタ(PK-CA101)が必要です。PK-CA101は、別売のRS-232C変換アダプタ(PK-CA102)と同時に取り付けることはできません。

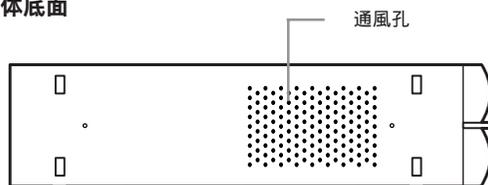
液晶ディスプレイ専用コネクタ( LCD)
セットの液晶ディスプレイを接続するためのコネクタ。セットの液晶ディスプレイ以外は接続できません。

アナログRGBコネクタ()
アナログRGB対応ディスプレイを接続するためのコネクタ。

✓チェック!!

液晶ディスプレイセットモデルの場合、このコネクタに別売のディスプレイを接続して2台のディスプレイを接続してもマルチモニタサポート機能は使えません。

本体底面



通風孔

本体内部の熱を逃がすための孔。
底面にスタビライザを取り付けることで、通風孔をふさがり状態になります。

✓チェック!!

パソコン本体を横置きにする場合は、通風孔をふさがらないようにしてください。

機能仕様

VT500J/1

モデル		VT500J/1FC,D	VT500J/17C,D	
CPU		Intel®Pentium® プロセッサ (500MHz) キャッシュメモリ32Kバイト セカンドキャッシュメモリ512Kバイト (CPUに内蔵)		
BIOS ROM		512Kバイト、プラグ&プレイ対応		
メモ リ	メインRAM	128Mバイト 2 *ユーザーズメモリ127.6Mバイト		
	RAM 1	DIMMスロット×2 (うち1スロットに128Mバイトメモリを取り付け済) 最大256Mバイト		
	ディスプレイキャッシュ	4Mバイト (SDRAM)		
	ビデオRAM	8~11Mバイト 2		
表 示 機 能	グラフィックアクセラレータ	Intel®810e Chipset内蔵		
	グラフィック表示	640×480ドット	16色/256色/65,536色/1,677万色	4
		800×600ドット	256色/65,536色/1,677万色	4
		1,024×768ドット	256色/65,536色/1,677万色	4
		1,280×1,024ドット	256色/65,536色/1,677万色	4
入 力 装 置	キーボード	USBコネクタに接続、セパレートタイプ、JIS標準配列 (英数、かな) 109キーレイアウト、CD/DVD制御ボタン、スリープボタン、ワンタッチスタートボタン、テンキー・12ファンクションキー・Windowsキー・アプリケーションキー付、USBパスワードハブ (2ポート) 付き		
	マウス	スクロール機能付きマウス標準装備 (添付のキーボードに接続)		
映 像 開 係 機 能	TVチューナ	音声多重対応、 受信チャンネル：VHF (1~12ch)、UHF (13~62ch)		
	データ放送受信	地上波データ放送 (Bitcast、ADAMS)、文字多重放送受信可能		
	映像合成表示機能	DirectShow™により任意サイズで合成表示可能 (全画面表示可能) ただし、Bitcast browser使用時は240×180ドット以上 (縦横比3:4固定)		
	ビデオキャプチャ機能	TV放送および外部ビデオの動画像 (最大320×240ドット、30フレーム) および静止画像 (320×240ドット) 取り込み可能		
	ビデオ出力機能	映像出力端子より、TV画面およびビデオ入力画面を出力可能 (パソコン画面は出力不可)		
補 助 記 憶 装 置	フロッピーディスクドライブ	3.5型フロッピーディスクドライブ1台内蔵 720Kバイト、1.2Mバイト、1.44Mバイトフロッピーディスク使用可能		
	ハードディスク	約13Gバイト Microsoft Windows 98 Second Editionをインストール済		
	DVD-ROM	DVD-ROMドライブ標準搭載 DVD-ROM読み込み最大6倍速 CD-ROM読み込み最大3.2倍速		
	5型ベイ	1スロット (DVD-ROMで1スロット占有済) [空きスロット0]		
	内蔵3.5型ベイ	1スロット (ハードディスクで1スロット占有済) [空きスロット0]		
PCIスロット		1スロット (地上波TV&データボードで1スロット占有済) [空きスロット0]		
PCカードスロット		TYPE ×2スロット (TYPE ×1も可) PC Card Standard準拠 Card Bus対応		
サ ウ ン ド 機 能	サウンドチップ	YAMAHA製 YMF740		
	音源	FM音源32音		
		PCM録音/再生機能 PCM 8/16ビット 5~48KHz ウェーブテーブルシンセサイザー機能搭載 (XG、GM演奏モード対応)		
	サラウンド	エンハンスドステレオ対応		
スピーカ	液晶ディスプレイに内蔵	ステレオスピーカ添付		
通 信 機 能	モデム	データ転送速度 最大送信33.6Kbps / 最大受信56Kbps、V.90、K56flex、V.34、V.32bis、V.32、V.22bis、V.22、V.21 エラー訂正V.42/MNP4、データ圧縮V.42bis/MNP5		
		データ転送速度 最大14.4Kbps (V.17)、FAX制御 CLASS 1		
	FAX	データ転送速度 最大14.4Kbps (V.17)、FAX制御 CLASS 1		

VT500J/1

モデル		VT500J/1FC,D	VT500J/17C,D
インターフェイス	ディスプレイ	アナログRGBセパレート信号出力(75 アナログインターフェイス、カラー、ミニD-Sub 15ピン) 液晶ディスプレイ専用(専用30ピン) 6	
	オーディオ	入力	マイク入力(モノラル) 入力インピーダンス 10K 入力レベル最大100mVrms ゲイン20dB ライン入力(ステレオ) 入力インピーダンス 10K 入力レベル最大2Vrms ゲイン - 6dB 本体に1ポート、地上波TV&データボードに1ポート
		出力	ライン出力(ステレオ) 出力レベル最大1Vrms(負荷インピーダンス47k) 本体に1ポート、地上波TV&データボードに1ポート
	プリンタ	パラレルインターフェイス(D-Sub25ピン)	
	シリアル	最大115,200bps(D-Sub 9 ピン)	
	USB 7	本体	1ポート内蔵
	キーボード	2ポート内蔵	
カレンダー時計	電池によるバックアップ		
電源	AC 100V±10%、50/60Hz		
温湿度条件	10～35、20～80% 8(ただし結露しないこと)		
外形寸法	本体	86(W)×320(D)×305(H)mm(ゴム足、突起部除く) 155(W)×320(D)×316(H)mm(スタビライザ取り付け時)	
	キーボード	454(W)×186(D)×41(H)mm	
質量	本体	約7.5kg	
	キーボード	約1.2kg	
消費電力 9		標準構成時 約67W 内蔵オプション最大接続時 94W スタンバイモード時 約30W	標準構成時 約37W 内蔵オプション最大接続時 53W スタンバイモード時 約27W

- 1 利用 OS により、使用可能なメモリ容量は異なります。
- 2 ビデオ RAM は、メイン RAM を使用します。
- 3 本機にセットの液晶ディスプレイでは、表示できません。
- 4 本機にセットの液晶ディスプレイでは、ディザリングにより 1,611 万色表示となります。
- 5 サウンド機能を利用したアプリケーションソフトのうちハードウェアを直接制御しているものは、一部使用できないものがあります。アプリケーションソフト購入に際しては、発売元に確認してください。
- 6 液晶ディスプレイセットモデルにセットの液晶ディスプレイを接続する専用ポートです。セットの液晶ディスプレイ以外は接続できません。
- 7 Windows 98 でのみサポート。接続する周辺機器の使用可否については、周辺機器の製造元または発売元にご確認ください。
- 8 18～28、45～75% での使用を推奨します。
- 9 液晶ディスプレイセットモデルの場合、セットの液晶ディスプレイの消費電力を含みます。

セットのスピーカの機能仕様(CRT ディスプレイセットモデルのみ)

	フラットパネルスピーカ
最大定格出力	1.2W + 1.2W
ヘッドホン出力	5mW + 5mW
外形寸法	約108(W)×72(D)×178.7(H)mm(片側)
質量	約727g(ケーブル、ACアダプタ含む)

このパソコンが使用しているリソース

このパソコンは、ご購入時の設定では次のようにリソースを使用しています。

割り込みレベル(IRQ)

IRQ	機能
0	システムタイマ
1	キーボード
2	割り込みコントローラ
3	(空)
4	シリアルポート (COM1)
5	(空)
6	フロッピーディスクコントローラ
7	パラレルポート
8	リアルタイムクロック
9	FAXモデムボード/アクセラレータ
10	サウンド/USBインターフェイス/SMBus/CardBus
11	地上波TV&データボード
12	マウス
13	数値データプロセッサ
14	IDEコントローラ (プライマリ)
15	IDEコントローラ (セカンダリ)

DMA チャンネル

DMA	機能
#0	(空)
#1	(空)
#2	フロッピーディスクコントローラ
#3	(空)
#4	DMAコントローラ
#5	(空)
#6	(空)
#7	(空)

索引

英数字

3.5インチフロッピーディスクドライブ	130
5型ベイ	135
AC電源コネクタ	132
ACPIモード	123
ADAMSナビ	36
ADAMS放送	36
APMモード	123
AVI(エーブイアイ)	69
BMP(ビーエムピー)	64
BUSYインジケータ	130
DMAチャンネル	137
DVD-ROMドライブ	130
F型コネクタブラグ	2,5
JPEG(ジェイペグ)	64
LINE IN端子	132
LINE OUT端子	132
LINEケーブル	3,8
Outlook Express	95
PCIスロット	132
PCカードスロット	130
PCカードスロットイジェクトボタン	131
ThumbsStudio	93
Timer-NX	100
VHF/UHFアンテナ端子	132
VideoStudio	81,90
Video Wizard	82
USBコネクタ	130,132

あ行

アーカイブ	50
アース端子	132
アナログRGBコネクタ	132
インターネット	28
映像出力端子	132
映像入力端子	132
液晶ディスプレイ専用コネクタ	132
オートパイロット	120
オフタイマー機能	114
オプション設定ボタン	10
音声切り替えボタン	15
音声出力端子	132
音声入力端子	132

か行

外部ビデオ機器	81
カラー調整	19
キャッシュ	50
キャッシュコントロール	13,24
キャプチャ	54
キャプチャの制限	69
コントロールバー	13

さ行

詳細モード	17
省電力機能	123
シリアルコネクタ	132
スタビライザ	130
ステータスパネル	26
【スリープ】ボタン	126
静止画キャプチャボタン	59
静止画を取り込む	54
静止画のサイズ変更	61
全画面表示ボタン	16,18

た行

タイマー機能	100
タイマプログラム	102
地上波TV&データボード	132
地上波データ放送	21
チャンネルの設定	10
チャンネルを変える	14
通風孔	132,134
ツールバー	17
ディスクトレイイジェクトボタン	130
テレビコントロール	13
テレビの音を消す	15
テレビをつける	9
電源管理モード	123
電源スイッチ	130
電源ランプ	130
電子メール	95
電話回線用モジュラーコネクタ	132
電話機用モジュラーコネクタ	132
動画キャプチャ設定ボタン	72
動画再生パネル	74
動画を取り込む	65,81

盗難防止用ロック	132
独立ウィンドウモード	17

な行

入力切り替えボタン	16
-----------------	----

は行

ハードディスク	135
ハードディスクアクセスランプ	130
パラレルコネクタ	132
ビットキャストインジケータ	17
ビットキャストバー	17
ビットキャストブラウザ	9,55
ビットキャストブラウザオンラインマニュアル	22
ビットキャスト放送	21
ビットキャストローダー	30,38,43
ビットマーク	24
ビットマークウィンドウ	17
表示モード	17,22
標準モード	17
ブラウザコントロール	13,26
フレーム	68
フロッピーディスクイジェクトボタン ...	130
フロッピーディスクドライブアクセスランプ	130
ホームページスクラップブックEX	120
ボリュームコントロール	47,79

ま行

マイクロホン端子	132
マルチキャプチャ機能	54
ミュート（消音）	15
文字放送	41
モジモジ-NX	41
メール用動画を取り込む	78

ら行

リソース	137
リング機能	109

わ行

割り込みレベル	137
---------------	-----

やりたいこと別マニュアルガイド

あなたのやりたいことがどのマニュアルに書いてあるか、このガイドを参考に探してください。

パソコンの接続とセットアップをしたい	まずこれ! 接続と準備
フロッピーディスクを使いたい	まずこれ! 接続と準備
CD-ROM や DVD-ROM (DVD-ROM モデルのみ) を使いたい	まずこれ! 接続と準備
サポートセンタについて知りたい	まずこれ! 接続と準備
インターネットでできることが知りたい	たのしもう! インターネット
インターネットを利用したい	たのしもう! インターネット
電子メールを使いたい	たのしもう! インターネット
BIGLOBE に入会したい	たのしもう! インターネット
マウスの使い方を知りたい	練習! パソコンの基本
キーボードで文字を打ってみたい / ワープロを使いたい	練習! パソコンの基本
パソコンのお手入れをしたい	練習! パソコンの基本
音声でパソコンを操作したい	練習! パソコンの基本
バックアップを取りたい	練習! パソコンの基本、困ったときの Q&A
どんなアプリケーションが入っているか知りたい	練習! パソコンの基本、サポートセンタ
パソコンが思うように動かない	困ったときの Q&A、サポートセンタ
再セットアップしたい	困ったときの Q&A
マニュアル総索引を使いたい	困ったときの Q&A
プリンタを使いたい	拡張!活用! バリュースター
PC カードを使いたい	拡張!活用! バリュースター
周辺機器を取り付けたい	拡張!活用! バリュースター
このパソコンの拡張性について知りたい	拡張!活用! バリュースター
このパソコンの機能について詳しく知りたい	拡張!活用! バリュースター
パソコン用語の意味を知りたい	サポートセンタ
アプリケーションの使い方が知りたい	サポートセンタ
アプリケーションを追加 / 削除したい	サポートセンタ
年賀状やあいさつ状を作りたい	サポートセンタ
受けられるサポートについて知りたい	サポートセンタ
デジタルカメラやインターネットの画像を加工したい	サポートセンタ
FAX を送受信したい	サポートセンタ
テレビや地上波データ放送を見たい (TV モデルのみ)	TV モデルガイド

TVモデルガイド



PC98-**NX** SERIES

VALUE STAR NX

初版 1999年10月

NEC

P

808-884475-009-A

このマニュアルはエコマーク認定の再生紙
(古紙率:表紙50%、本文100%)を使用しています。

